

米原市男女共同参画市民意識調査 調査報告書

(1) 調査の目的

米原市では、平成29年3月に「第3次米原市男女共同参画推進計画(ハートフルプランまいばら21)」を策定し皆様との協働、連携を図りながら、男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めているところです。

今回のアンケート調査は、現計画を見直し、「第4次米原市男女共同参画推進計画(ハートフルプランまいばら21)」を策定するに当たり広く市民の皆様のご意見をお聞きするために実施しました。

(2) 調査の対象

市内に居住する16歳以上の男女2,000人を対象に無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による配布・回収

(4) 調査期間

令和2年9月25日(金)～令和2年10月19日(月)

(5) 調査の配布数と回収数

	配布数	回収数	回答率
女性	1,019	541	53.1%
男性	981	384	39.1%
答えたくない	-	5	-
無回答	-	6	-
全体	2,000	936	46.8%

■調査対象者(アンケート配布) 2,000人

	山東	伊吹	米原	近江	配布枚数
女性	294	172	285	268	1,019
男性	301	137	266	277	981
全体	595	309	551	545	2,000

■地区別回収数(率)

	山東	伊吹	米原	近江	計	不明・無回答
女性	160	92	145	141	538	3
男性	115	55	101	112	383	1
答えたくない および無回答	1	1	2	1	5	6
全体	276	148	248	254	926	10
回収率	46.4%	47.9%	45.0%	46.6%		

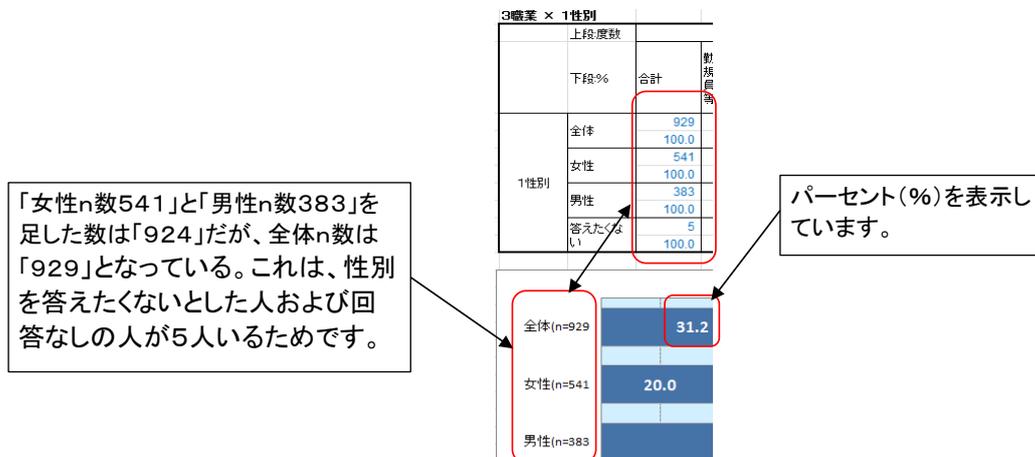
■ 調査内容

- I あなた自身について
- II 家庭生活について
- III 異性に対する暴力について
- IV 地域活動について
- V 職業に関する意識について
- VI 女性の活躍について
- VII 男女平等について
- VIII 仕事と生活の調和について
- IX 男女共同参画社会づくりについて



アンケート集計に関して

- 1、集計は、「性別」、「年齢別」、「性別×年齢別」に分類し、集計しています。
- 2、集計には、性別を「答えたくない」とした人(9人)および回答なし(記載なし)の人(6人)も含まれています。
- 3、設問3以降の集計は、回答なし(記載なし)の分は含まれていません。
従い、回答のあった人数が全体数(母数)となるため、設問により全体数(母数)が異なる場合があります。□
- 4、性別グラフには、「答えたくない」とした人および回答なし(記載なし)の人の分のグラフは、表示していません。
理由;「答えたくない」および回答なし(記載なし)の人の母数が小さいためです。
従い、グラフ中の「女性n数」と「男性n数」を足した数が「全体n数」と異なる場合があります(右図参照)
尚、「全体データ」グラフ中には、「答えたくない」とした人および回答なし(記載なし)の人の分も含まれています。
- 5、「年齢別」の集計には、性別を「答えたくない」とした人および回答なし(記載なし)の人も含まれています。
但し、年齢不明(回答なし)の分は、集計に含まれていません。
- 6、「性別×年齢別」グラフは、「女性」および「男性」と回答した分を表示しています。
理由;「答えたくない」および回答なし(記載なし)の人の母数が小さいため、統計的な有効性が疑問なためです。
- 7、グラフ中の数字は、パーセント(%)を表示しています。
尚、パーセントが小さい項目については、表示していない場合があります。



◆ あなた自身についておたずねします。

問1 あなたの性別は？（回答は一つ）

問2 あなたの年齢はおいくつですか？（回答は一つ）

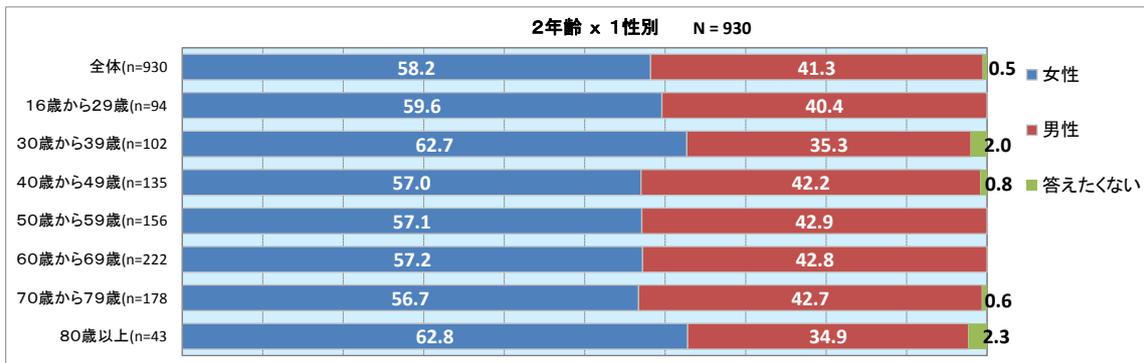
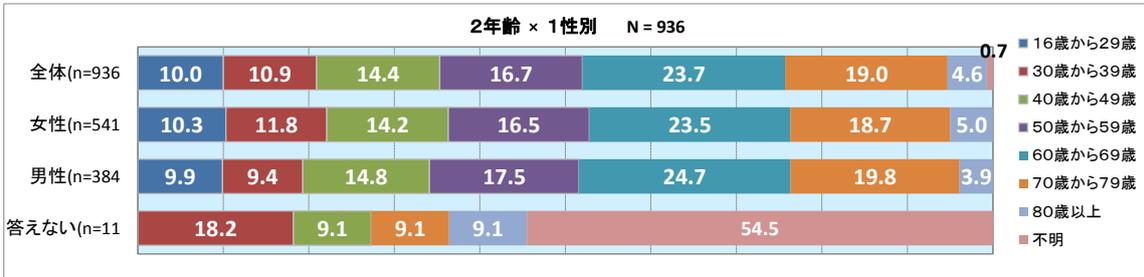
2年齢 × 1性別

各項目の集計は、「回答なし(不明)」は除く。従い、合計数は、有効回答数と

上段:度数 下段:%		2年齢								
		合計	16歳から 29歳	30歳から 39歳	40歳から 49歳	50歳から 59歳	60歳から 69歳	70歳から 79歳	80歳以上	不明 (回答無し)
1性別	全体	936 100.0	94 10.0	102 10.9	135 14.4	156 16.7	222 23.7	178 19.0	43 4.6	6 0.7
	女性	541 100.0	56 10.3	64 11.8	77 14.2	89 16.5	127 23.5	101 18.7	27 5.0	0 0.0
	男性	384 100.0	38 9.9	36 9.4	57 14.8	67 17.5	95 24.7	76 19.8	15 3.9	0 0.0
	答えたくない &不明(※)	11 100.0	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	6 54.5

50歳代以上が全体の64%を占めている。16歳から29歳までの若者層については、94人から回答が得られた。

(※)性別を「答えたくない」とした人が5人、回答なしの人が6人いました(合計11人)

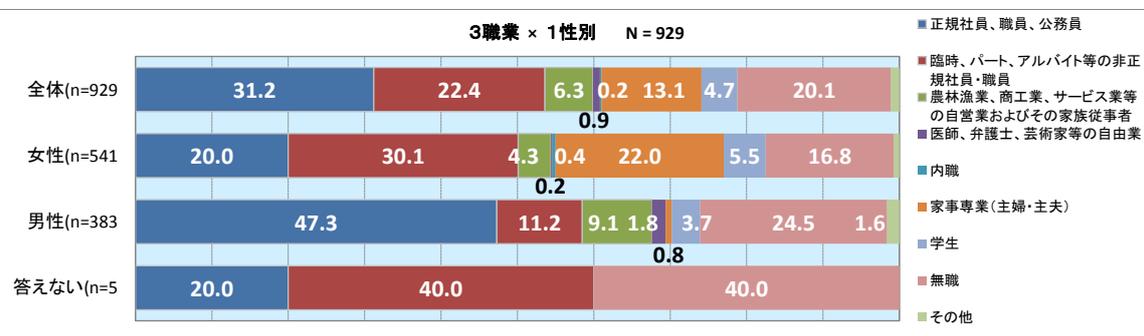


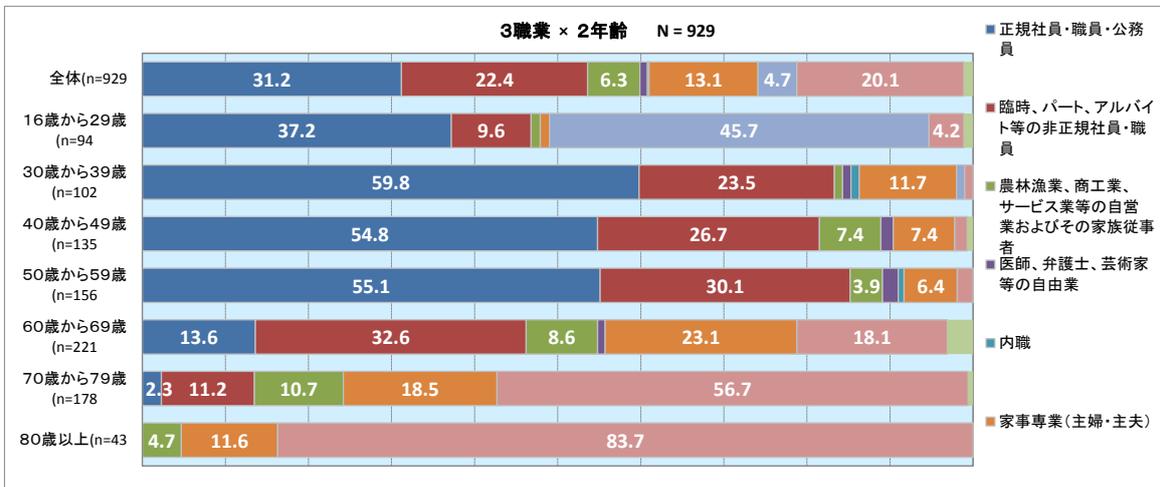
問3 あなたの職業は次のどれにあたりますか？（回答は一つ）

男性では、勤め人(正規社員・職員・公務員等)が約4割、女性では勤め人が(臨時、パート、アルバイト等の非正規社員・職員等)が約3割となった。女性は、家事専業が22%を占めている。

3職業 × 1性別

上段:度数 下段:%		3職業									
		合計	正規社員・ 職員・公務員	臨時、パート、 アルバイト等の非 正規社員・職 員	農林漁業、 商工業、 サービス業 等の自営業 およびその 家族従事者	医師、弁 護士、芸術家 等の自由 業	内職	家事専業 (主婦・主 夫)	学生	無職	その他
1性別	全体	929 100.0	290 31.2	208 22.4	58 6.3	8 0.9	2 0.2	122 13.1	44 4.7	187 20.1	10 1.1
	女性	541 100.0	108 20.0	163 30.1	23 4.3	1 0.2	2 0.4	119 22.0	30 5.5	91 16.8	4 0.7
	男性	383 100.0	181 47.3	43 11.2	35 9.1	7 1.8	0 0.0	3 0.8	14 3.7	94 24.5	6 1.6
	答えたくない	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0





問4 あなたのお住まいの地域はどちらですか？（回答は一つ）

4地域 × 1性別

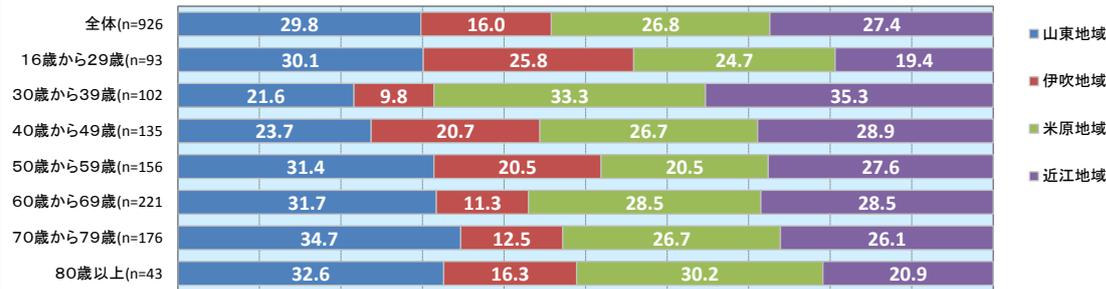
上段:度数 下段:%	4 地域					
	合計	山東地域	伊吹地域	米原地域	近江地域	不明
全体	936	276	148	248	254	10
女性	541	160	92	145	141	3
男性	384	115	55	101	112	1
答えたくない & 不明	11	1	1	2	1	6
	100.0	29.5	15.8	26.5	27.1	1.1
	100.0	29.6	17.0	26.8	26.1	0.5
	100.0	29.9	14.3	26.3	29.2	0.3
	100.0	9.1	9.1	18.2	9.1	54.5

地域別では、一部、回答率の低い地域があったが、他の3地域では、ほぼ均等に回答が得られた。

4地域 × 1性別 N = 936



4地域 × 2年齢 N = 926



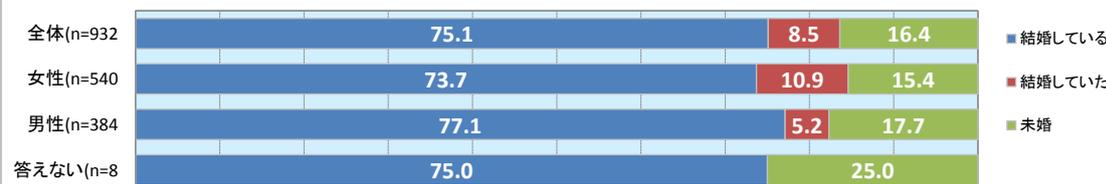
問5 あなたは現在、結婚(事実婚を含む。)していますか？（回答は一つ）

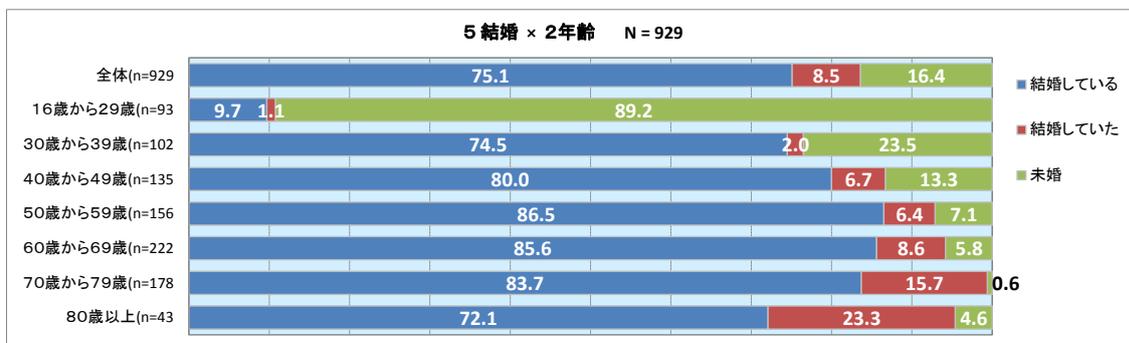
5結婚 × 1性別

上段:度数 下段:%	5 結婚			
	合計	結婚している	結婚していた	未婚
全体	932	700	79	153
女性	540	398	59	83
男性	384	296	20	68
答えたくない	8	6	0	2
	100.0	75.1	8.5	16.4
	100.0	73.7	10.9	15.4
	100.0	77.1	5.2	17.7
	100.0	75.0	0.0	25.0

「結婚している」が全体で、75.1%を占めている。

5結婚 × 1性別 N = 932



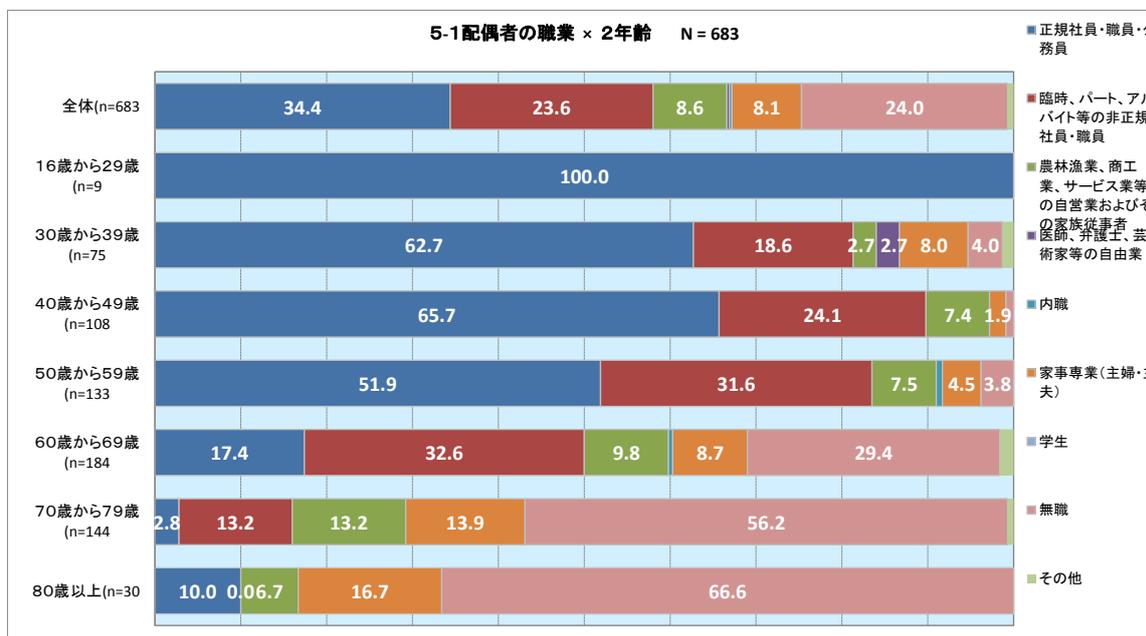
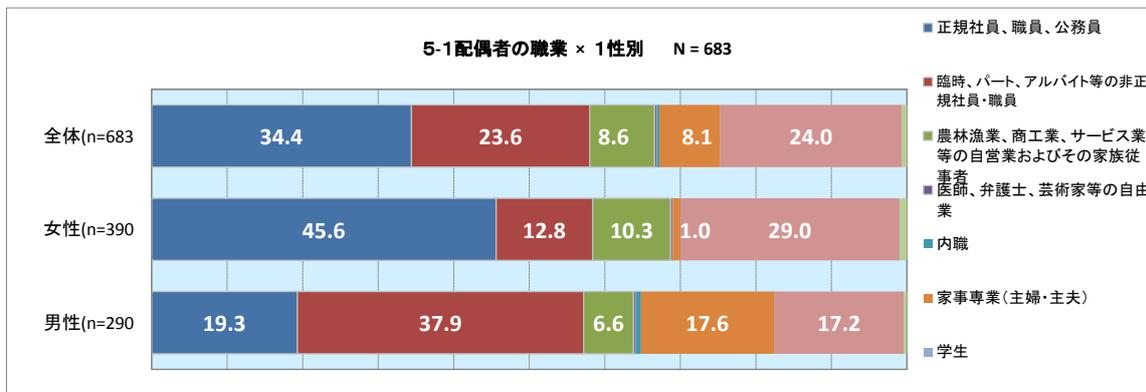


問5-1 配偶者の主な職業は次のどれにあたりますか？（回答は一つ）

配偶者の主な職業は、「勤め人(正規社員・職員・公務員等)」が全体で34.4%で一番多く、次に「無職」が24%を占めている。

5-1 配偶者の職業 × 1性別

上段:度数	下段:%	5-1 配偶者の職業									
		合計	正規社員、職員、公務員	臨時、パート、アルバイト等の非正規社員・職員	農林漁業、商工業、サービス業等の自営業およびその家族従事者	医師、弁護士、芸術家等の自由業	内職	家事専業(主婦・主夫)	学生	無職	その他
1性別	全体	683	235	161	59	2	2	55	0	164	5
		100.0	34.4	23.6	8.6	0.3	0.3	8.1	0.0	24.0	0.7
	女性	390	178	50	40	1	0	4	0	113	4
		100.0	46	13	10	0	0	1	0	29.0	1.0
男性	290	56	110	19	1	2	51	0	50	1	
	100.0	19.3	37.9	6.6	0.3	0.7	17.6	0.0	17.2	0.4	
答えたくない	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.4	0.0	



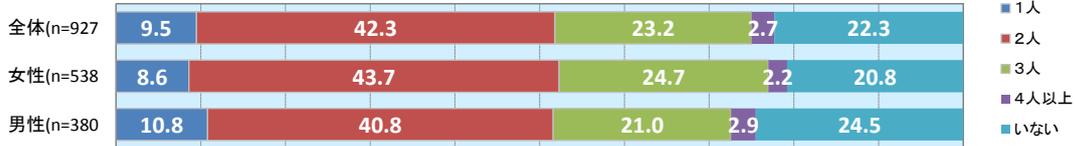
問6 あなたはお子さんがいますか？（回答は一つ）

6子ども × 1性別

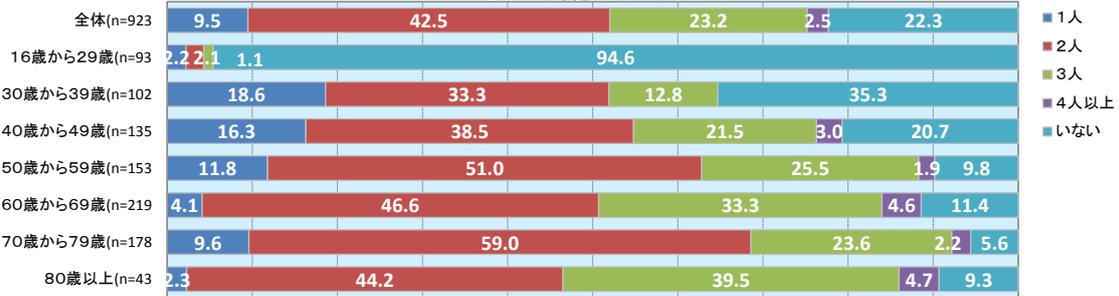
上段:度数 下段:%	6子ども						
	合計	1人	2人	3人	4人以上	いない	
全体	927	88	392	215	25	207	
	100.0	9.5	42.3	23.2	2.7	22.3	
女性	538	46	235	133	12	112	
	100.0	8.6	43.7	24.7	2.2	20.8	
男性	380	41	155	80	11	93	
	100.0	10.8	40.8	21.0	2.9	24.5	
答えたくない & 不明	9	1	2	2	2	2	
	100.0	11.2	22.2	22.2	22.2	22.2	

「子どもがいる」は全体で、77.7%を占めている。

6子ども × 1性別 N = 854



6子ども × 2年齢 N = 924



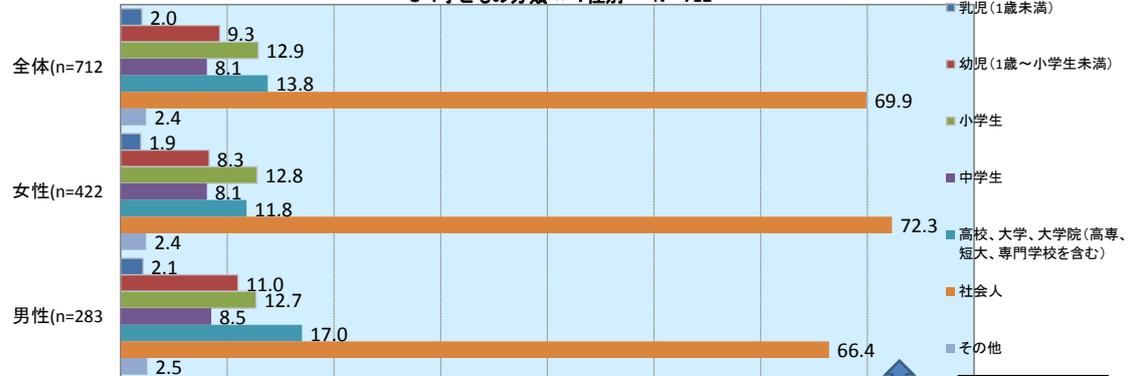
問6-1 お子さんは次のどれにあたりますか？（複数回答）

6-1子どもの分類 × 1性別

上段:度数 下段:%	6-1子どもの分類							
	合計	乳児(1歳未満)	幼児(1歳~小学生未満)	小学生	中学生	高校、大学、大学院(高専、短大、専門学校を含む)	社会人	その他
全体	712	14	66	91	58	97	499	17
	—	2.0	9.3	12.9	8.1	13.8	69.9	2.4
女性	422	8	35	53	34	49	306	10
	—	1.9	8.3	12.8	8.1	11.8	72.3	2.4
男性	283	6	31	36	24	48	188	7
	—	2.1	11.0	12.7	8.5	17.0	66.4	2.5
答えたくない & 不明	7	0	0	2	0	0	5	0
	—	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0

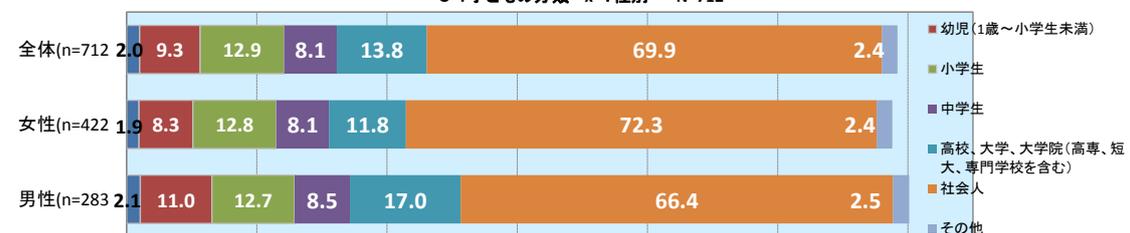
「子どもの年齢」は、社会人が全体の約7割となっている。

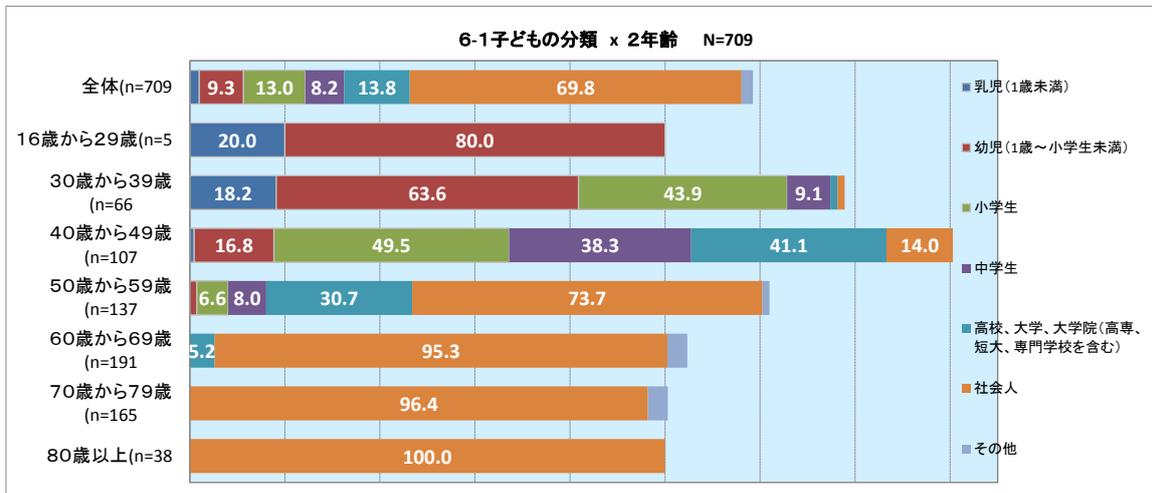
6-1子どもの分類 × 1性別 N = 712



グラフ形式相違

6-1子どもの分類 × 1性別 N = 712



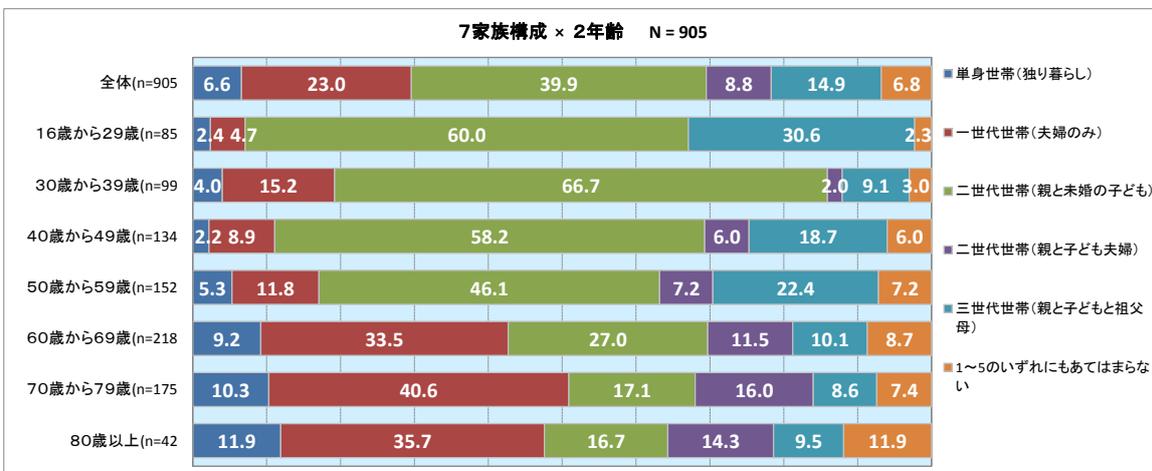
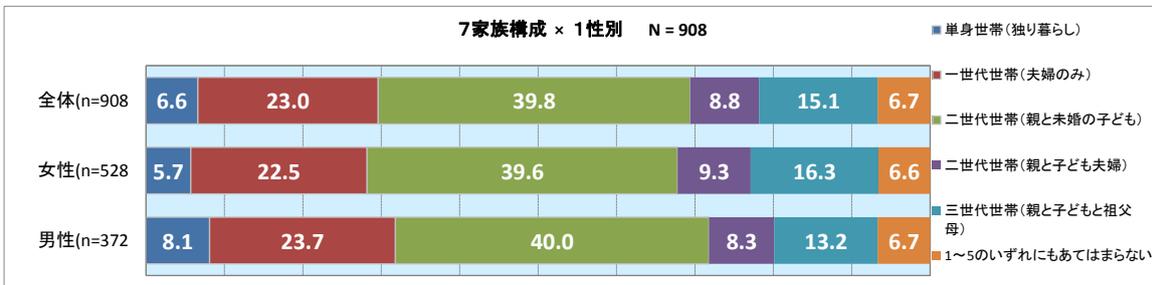


問7 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか？（回答は一つ）

7家族構成 × 1性別

上段:度数	下段:%	7 家族構成						
		合計	単身世帯(独り暮らし)	一世代世帯(夫婦のみ)	二世代世帯(親と未婚の子ども)	二世代世帯(親と子ども夫婦)	三世代世帯(親と子どもと祖父母)	1～5のいずれにもあてはまらない
1性別	全体	908	60	209	361	80	137	61
		100.0	6.6	23.0	39.8	8.8	15.1	6.7
	女性	528	30	119	209	49	86	35
		100.0	5.7	22.5	39.6	9.3	16.3	6.6
	男性	372	30	88	149	31	49	25
	100.0	8.1	23.7	40.0	8.3	13.2	6.7	
	答えたくない&不明	8	0	2	3	0	2	1
		100.0	0.0	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5

家族構成は、二世代世帯が最も多く、全体の48.6%を占めている。



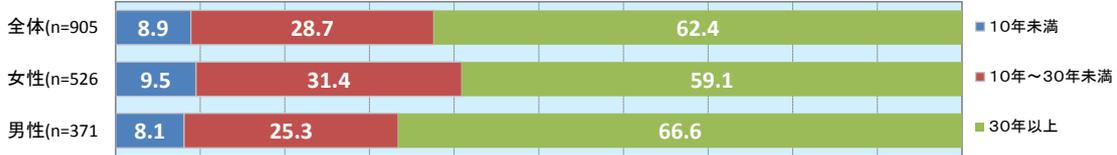
問8 あなたの米原市でのお住まいは通算何年ですか？（回答は一つ）

8市内居住年数 × 1性別

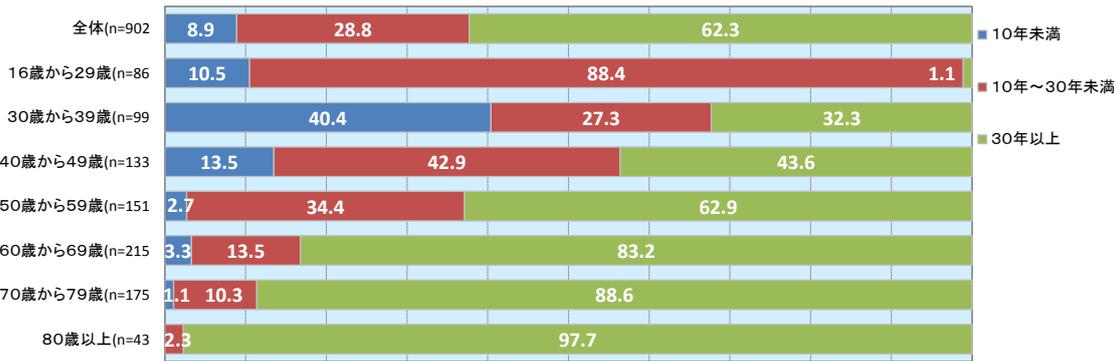
上段:度数 下段:%		8 市内居住年数			
		合計	10年未満	10年～30年未満	30年以上
1性別	全体	905	80	260	565
		100.0	8.9	28.7	62.4
	女性	526	50	165	311
		100.0	9.5	31.4	59.1
	男性	371	30	94	247
		100.0	8.1	25.3	66.6
	答えたくない & 不明	8	0	1	7
		100.0	0.0	12.5	87.5

市内居住年数では、「30年以上」が全体で62.4%を占めている。

8市内居住年数 × 1性別 N = 905



8市内居住年数 × 2年齢 N = 902



◆ 家庭生活についておたずねします。

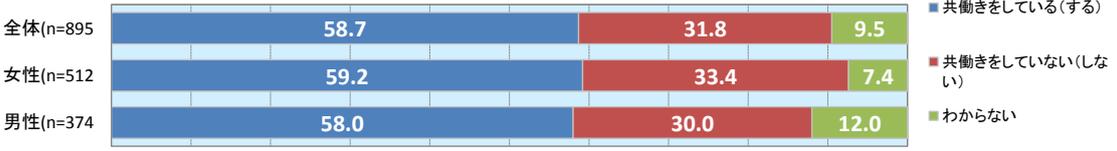
問9 あなたは、現在共働きをしていますか？未婚の方は、結婚したら共働きをしたいと思いますか？また、配偶者が退職または死別の方は、在職中または存命中の状況でお答えください。（回答は一つ）

9共働きの有無 × 1性別

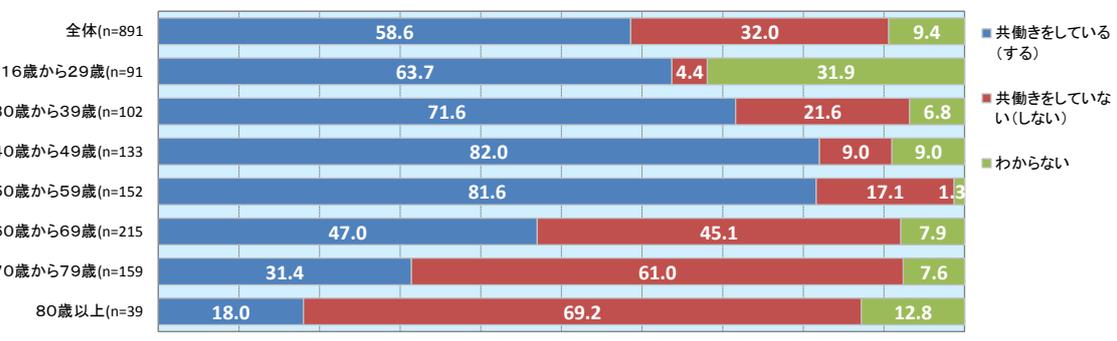
上段:度数 下段:%		9 共働きの有無			
		合計	共働きをしている(する)	共働きをしていない(しない)	わからない
1性別	全体	895	525	285	85
		100.0	58.7	31.8	9.5
	女性	512	303	171	38
		100.0	59.2	33.4	7.4
	男性	374	217	112	45
		100.0	58.0	30.0	12.0
	答えたくない & 不明	9	5	2	2
		100.0	55.6	22.2	22.2

共働きの有無については、「共働きをしている(する)」が、全体の58.7%を占めている。

9共働きの有無 × 1性別 N = 895



9共働きの有無 × 2年齢 N = 891

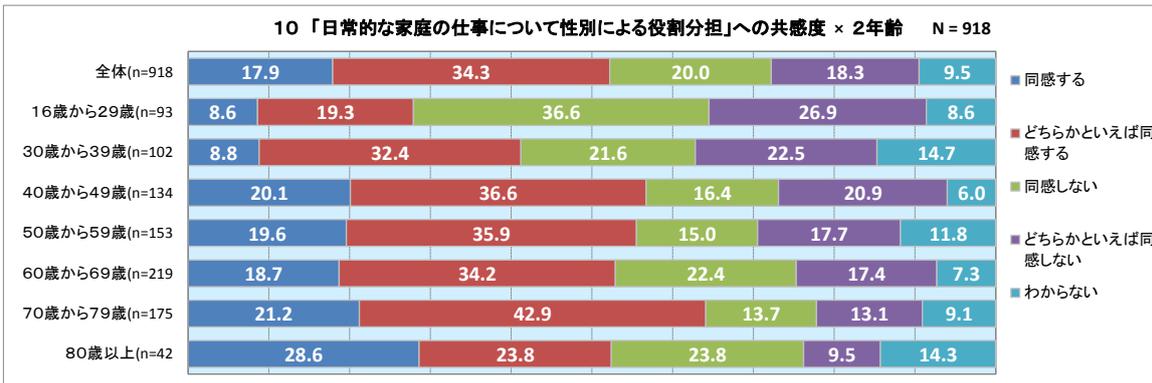
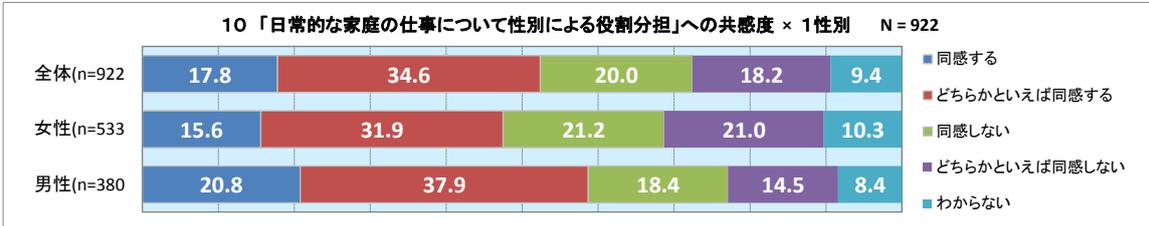


問10 日常的な家庭の仕事について性別によって役割の分担があるといった考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。(回答は一つ)

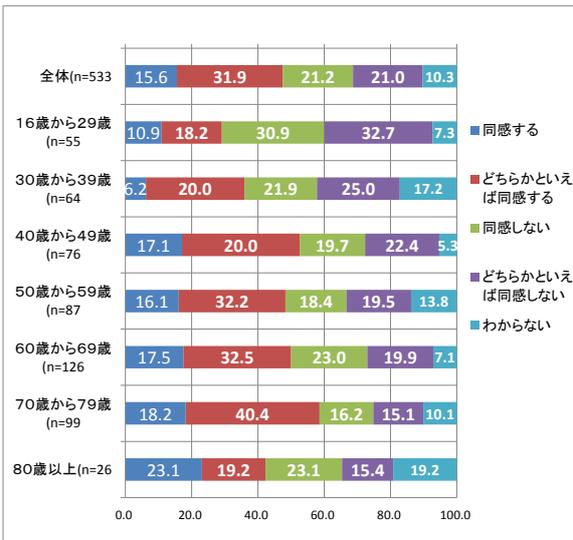
10 「日常的な家庭の仕事について性別による役割分担」への共感度 × 1性別

上段:度数	下段:%	10「男性は仕事、女性は家庭」への共感度					
		合計	同感する	どちらかといえば同感する	同感しない	どちらかといえば同感しない	わからない
1性別	全体	922	164	319	184	168	87
		100.0	17.8	34.6	20.0	18.2	9.4
	女性	533	83	170	113	112	55
		100.0	15.6	31.9	21.2	21.0	10.3
	男性	380	79	144	70	55	32
		100.0	20.8	37.9	18.4	14.5	8.4
	答えたくない&不明	9	2	5	1	1	0
		100.0	22.2	55.6	11.1	11.1	0.0

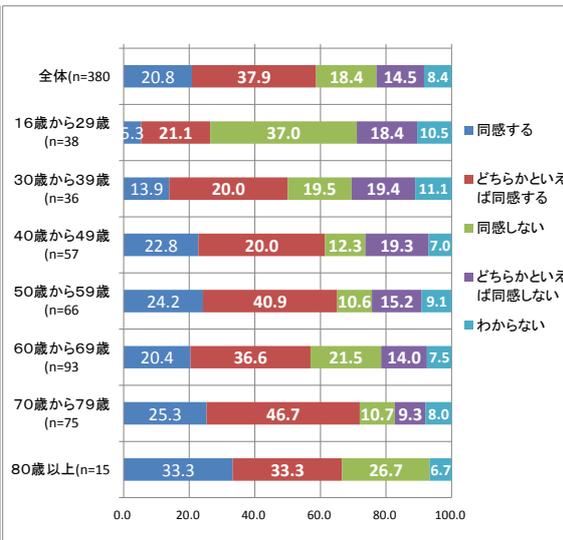
「同感する」、「どちらかといえば同感する」を合わせると、52.4%となった。男女別に見ると、女性の47.5%に対して、男性は58.7%となり、11.2ポイントの差が生じている。



10 「日常的な家庭の仕事について性別による役割分担」への共感度 女性



男性



問11 あなたのご家庭では、次のようなことを実際に主としてどちらがされていますか。
また、理想はどうされたいですか。（回答は一つ）

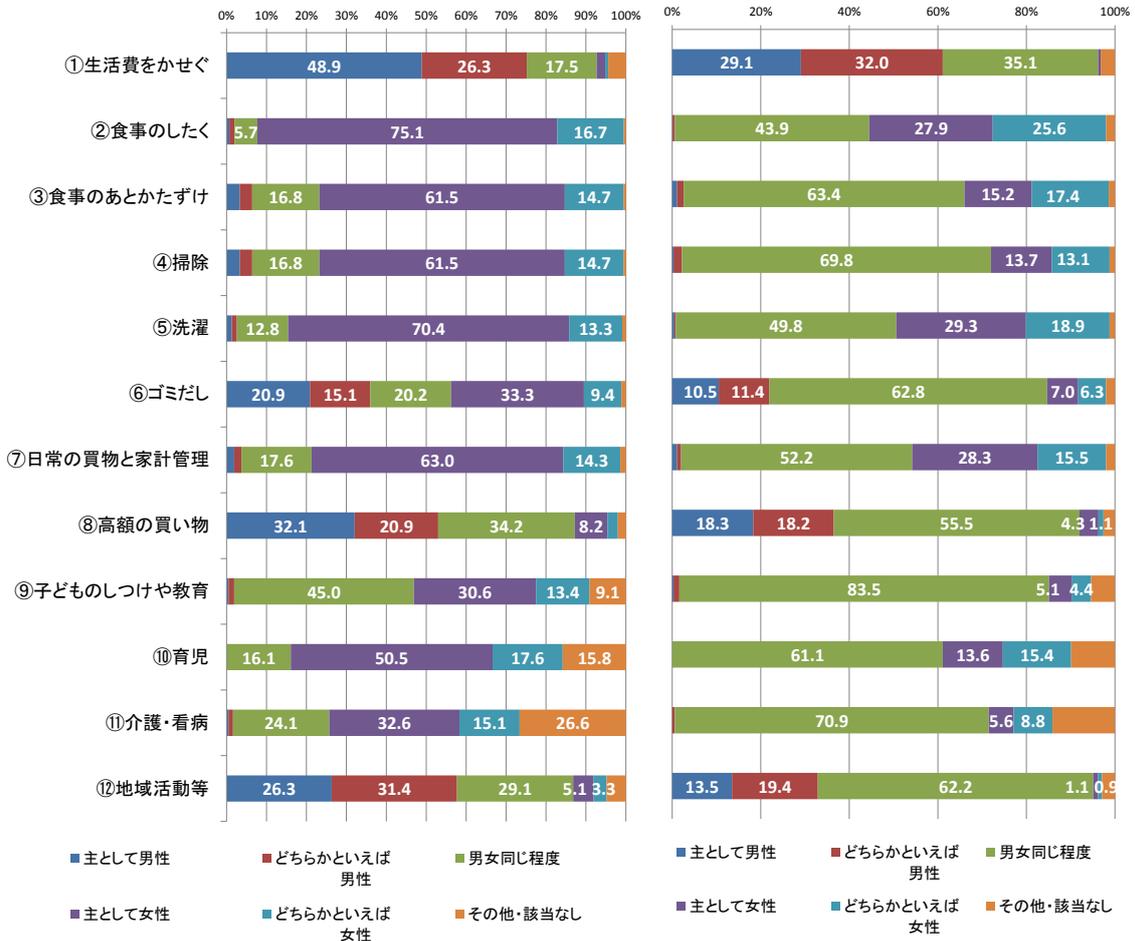
家事などの分担における現状と理想では、多くの項目で「男女同じ程度」を理想とする回答が多いものの、現状は「主として女性」と「どちらかといえば女性」が多くを占めており、女性の家事負担が大きいことがわかる。また、「食事のしたく」、「洗濯」、「日常の買い物と家計管理」といった項目において、3割以上の方が「主として女性」を理想と回答しており、固定的な性別役割分担意識が表れている。現状認識では、「掃除」や「洗濯」など、多くの項目において、男女差が見られるのも特徴

	100.0						(%)					
	(1) 現 状 (全体)						(2) 理 想 (全体)					
	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
①生活費をかせぐ	48.9	26.3	17.5	2.1	0.8	4.4	29.1	32.0	35.1	0.6	0.0	3.2
②食事のしたく	0.7	1.3	5.7	75.1	16.7	0.5	0.1	0.5	43.9	27.9	25.6	2.0
③食事のあとかたづけ	3.3	3.1	16.8	61.5	14.7	0.6	1.1	1.5	63.4	15.2	17.4	1.4
④掃除	3.3	3.1	16.8	61.5	14.7	0.6	0.3	1.9	69.8	13.7	13.1	1.2
⑤洗濯	1.3	1.3	12.8	70.4	13.3	0.9	0.5	0.3	49.8	29.3	18.9	1.2
⑥ゴミだし	20.9	15.1	20.2	33.3	9.4	1.1	10.5	11.4	62.8	7.0	6.3	2.0
⑦日常の買い物と家計管理	1.9	1.8	17.6	63.0	14.3	1.4	1.1	0.9	52.2	28.3	15.5	2.0
⑧高額の買い物	32.1	20.9	34.2	8.2	2.6	2.0	18.3	18.2	55.5	4.3	1.1	2.6
⑨子どものしつけや教育	0.5	1.4	45.0	30.6	13.4	9.1	0.3	1.3	83.5	5.1	4.4	5.4
⑩育児	0.0	0.0	16.1	50.5	17.6	15.8	0.0	0.0	61.1	13.6	15.4	9.9
⑪介護・看病	0.5	1.1	24.1	32.6	15.1	26.6	0.0	0.6	70.9	5.6	8.8	14.1
⑫地域活動等	26.3	31.4	29.1	5.1	3.3	4.8	13.5	19.4	62.2	1.1	0.9	2.9

《家事などの分担における現状と理想》

【現状】

【理想】

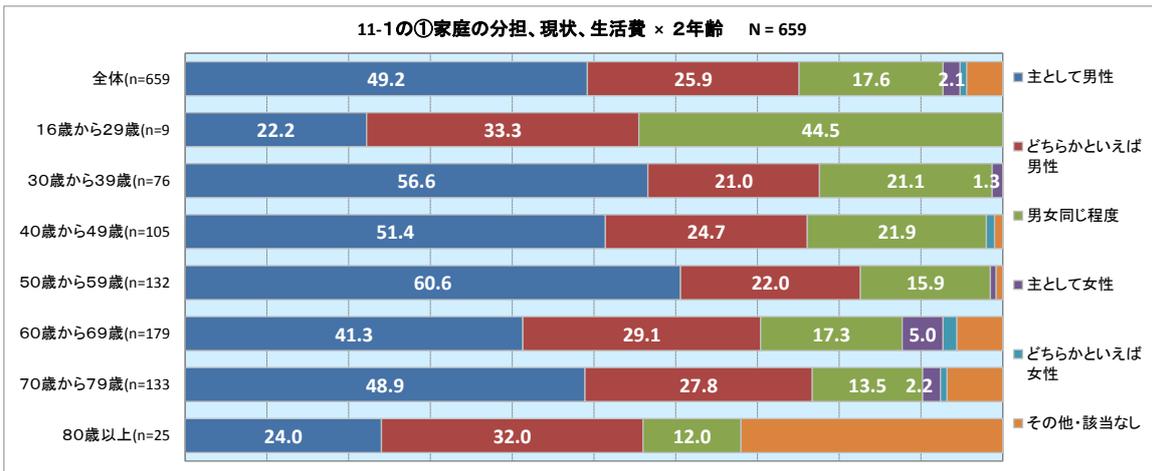
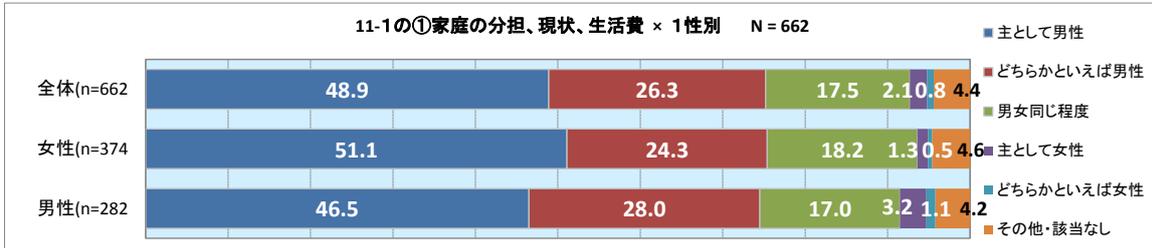


問11 あなたのご家庭では、次のようなことを実際に主としてどちらがされていますか。
また、理想はどうされたいですか。（回答は一つ）

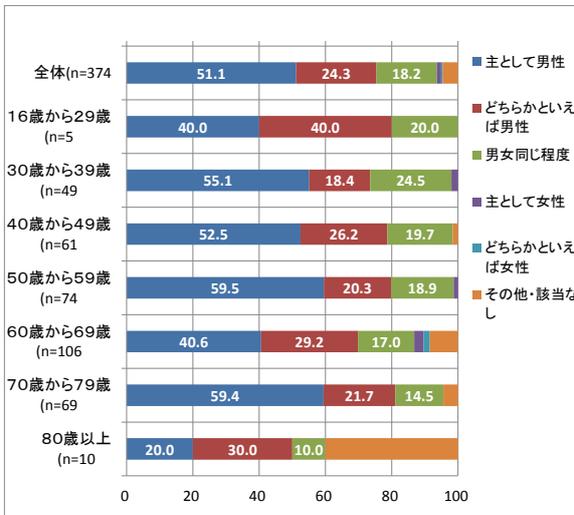
11-1の①家庭の分担、現状、生活費 × 1性別

上段:度数		11-1の①家庭の分担、現状、生活費						
下段:%		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	662	324	174	116	14	5	29
		100.0	48.9	26.3	17.5	2.1	0.8	4.4
	女性	374	191	91	68	5	2	17
		100.0	51.1	24.3	18.2	1.3	0.5	4.6
	男性	282	131	79	48	9	3	12
		100.0	46.5	28.0	17.0	3.2	1.1	4.2
	答えたくない&不明	6	2	4	0	0	0	0
		100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

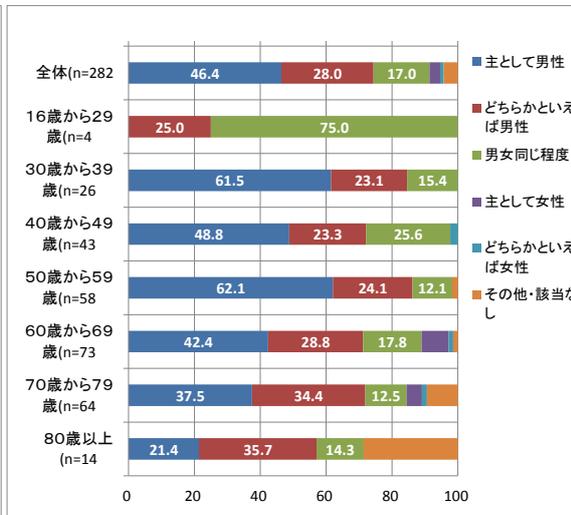
「①生活費を稼ぐ」の現状では、「主として男性」、「どちらかといえば男性」を合わせると、75.2%となった。男女別では、ほとんど差は見られない。



11-1の①家庭の分担、現状、生活費 女性



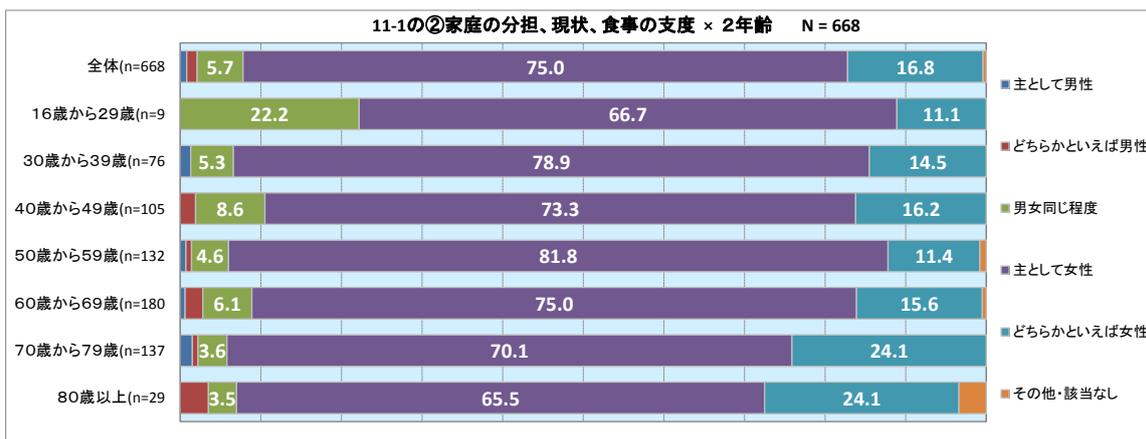
11-1の①家庭の分担、現状、生活費 男性



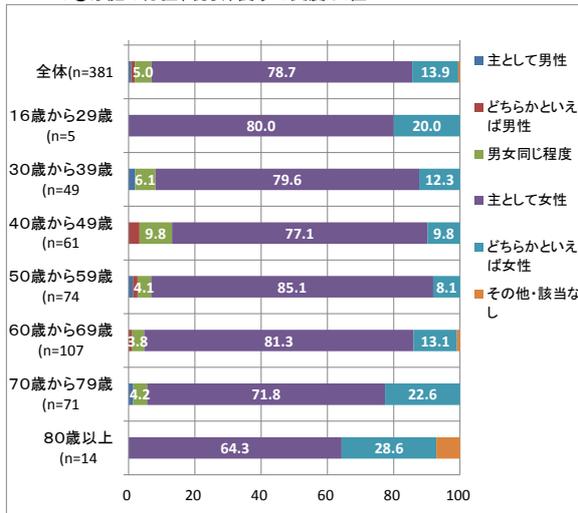
11-1の②家庭の分担、現状、食事の支度 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の②家庭の分担、現状、食事の支度						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	671 100.0	5 0.7	9 1.3	38 5.7	504 75.1	112 16.7	3 0.5
	女性	381 100.0	3 0.8	4 1.1	19 5.0	300 78.7	53 13.9	2 0.5
	男性	284 100.0	2 0.7	5 1.8	19 6.7	199 70.1	58 20.4	1 0.3
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0

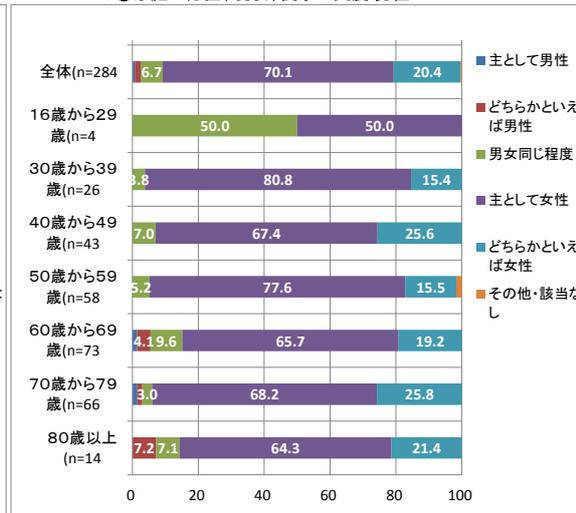
「②食事のしたく」の現状では、「主として女性」が75.1%と高い。



11-1の②家庭の分担、現状、食事の支度 女性



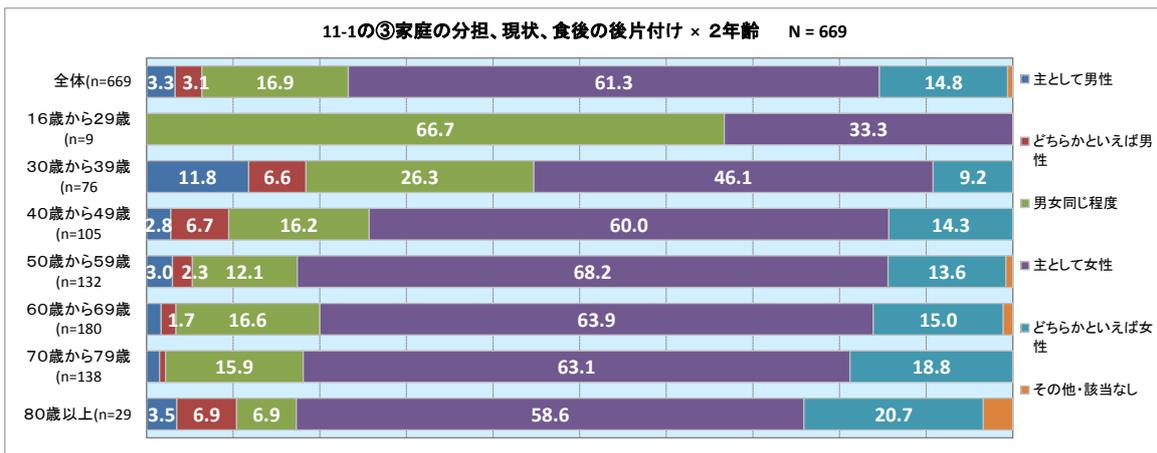
11-1の②家庭の分担、現状、食事の支度 男性



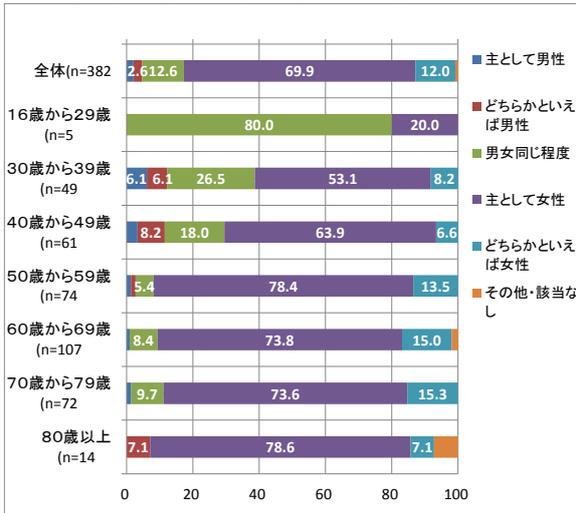
11-1の③家庭の分担、現状、食後の後片付け × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の③家庭の分担、現状、食後の後片付け						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	672 100.0	22 3.3	21 3.1	113 16.8	413 61.5	99 14.7	4 0.6
	女性	382 100.0	8 2.1	10 2.6	48 12.6	267 69.9	46 12.0	3 0.8
	男性	284 100.0	14 4.9	11 3.9	65 22.9	141 49.6	52 18.3	1 0.4
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0

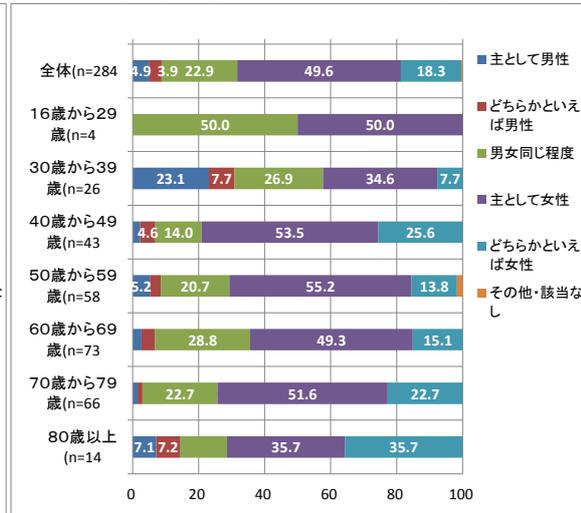
「③食事の後かたづけ」の現状では、「主として女性」、「どちらかといえば女性」を合わせると、76.2%となった。「主として女性」は男性よりも女性の方が20.3ポイント高く、現状認識に差が見られる。



11-1の③家庭の分担、現状、食後の後片付け 女性



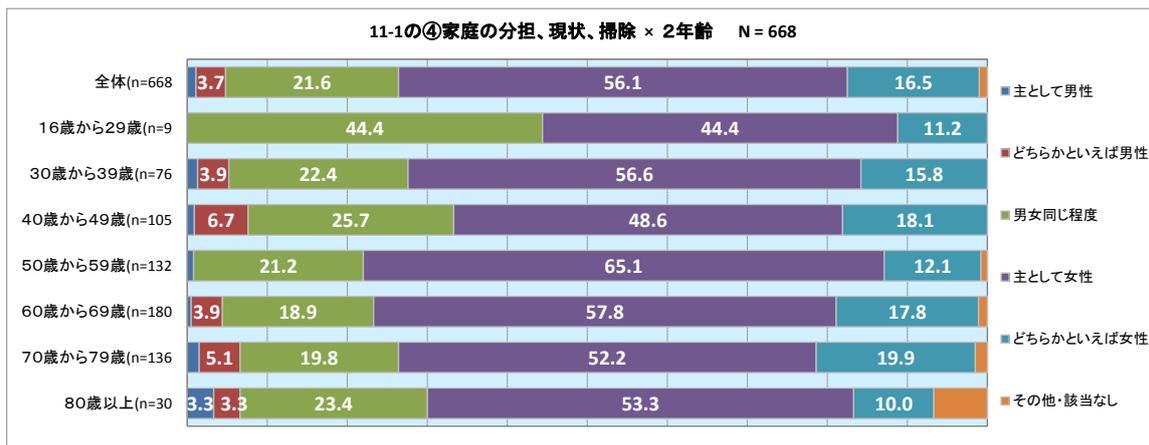
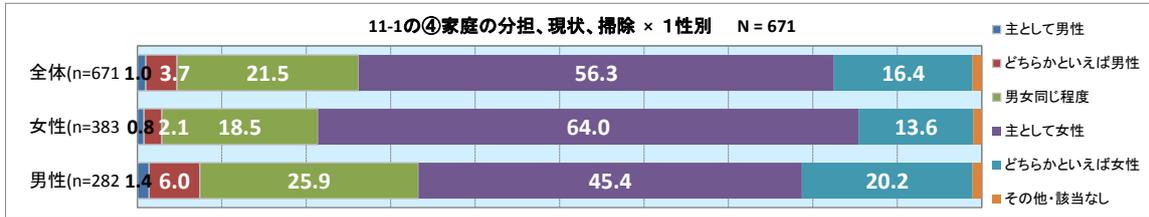
11-1の③家庭の分担、現状、食後の後片付け 男性



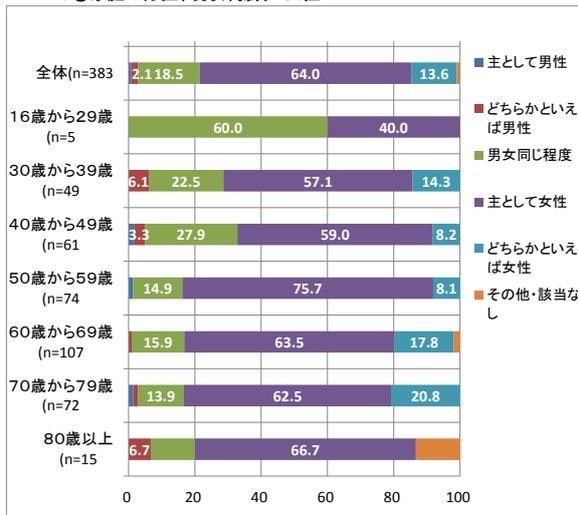
11-1の④家庭の分担、現状、掃除 × 1性別

上段:度数 下段:%	11-1の④家庭の分担、現状、掃除							
	合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし	
1性別	全体	671	7	25	144	378	110	7
		100.0	1.0	3.7	21.5	56.3	16.4	1.1
	女性	383	3	8	71	245	52	4
		100.0	0.8	2.1	18.5	64.0	13.6	1.0
	男性	282	4	17	73	128	57	3
		100.0	1.4	6.0	25.9	45.4	20.2	1.1
	答えたくない & 不明	6	0	0	0	5	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0

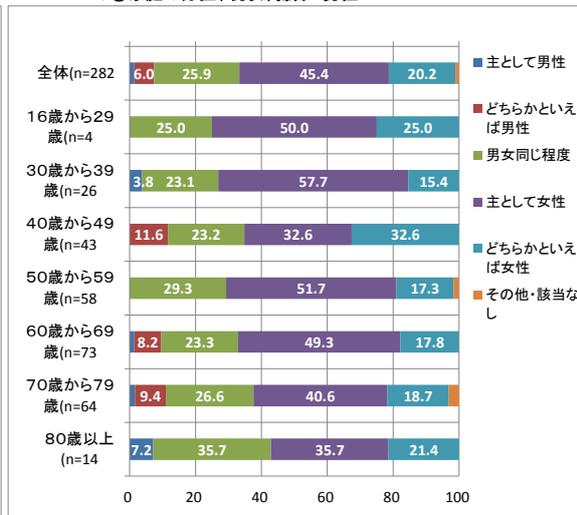
「④掃除」の現状では、「主として女性」、「どちらかといえば女性」を合わせると、72.7%となった。「主として女性」は、男性よりも女性の方が12ポイント高く、現状認識に差が見られる。



11-1の④家庭の分担、現状、掃除 女性



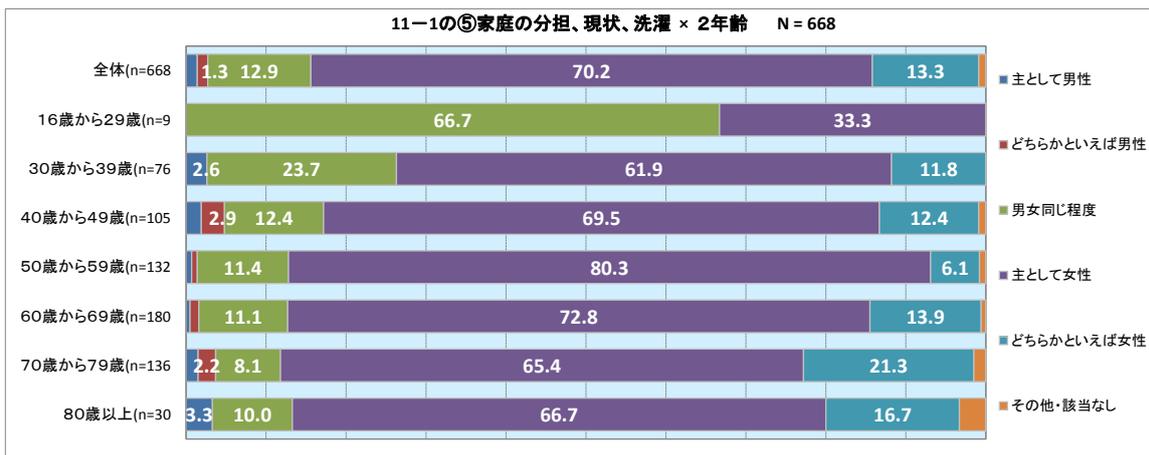
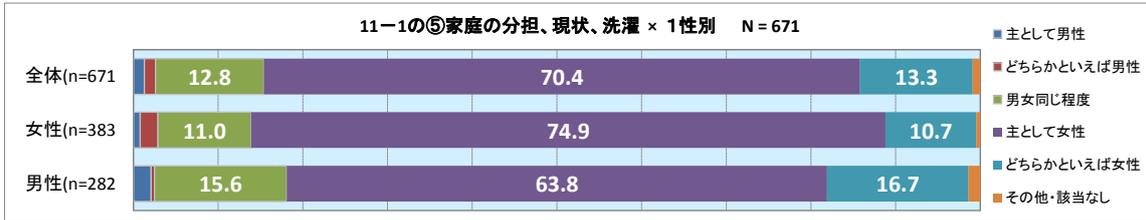
11-1の④家庭の分担、現状、掃除 男性



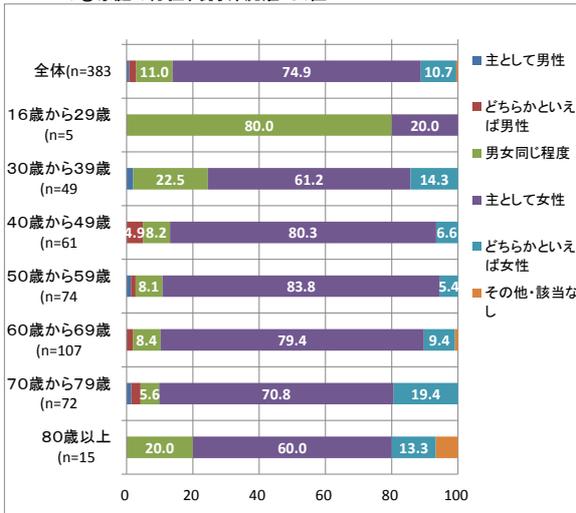
11-1の⑤家庭の分担、現状、洗濯 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の⑤家庭の分担、現状、洗濯						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	671 100.0	9 1.3	9 1.3	86 12.8	472 70.4	89 13.3	6 0.9
	女性	383 100.0	3 0.8	8 2.1	42 11.0	287 74.9	41 10.7	2 0.5
	男性	282 100.0	6 2.1	1 0.4	44 15.6	180 63.8	47 16.7	4 1.4
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0

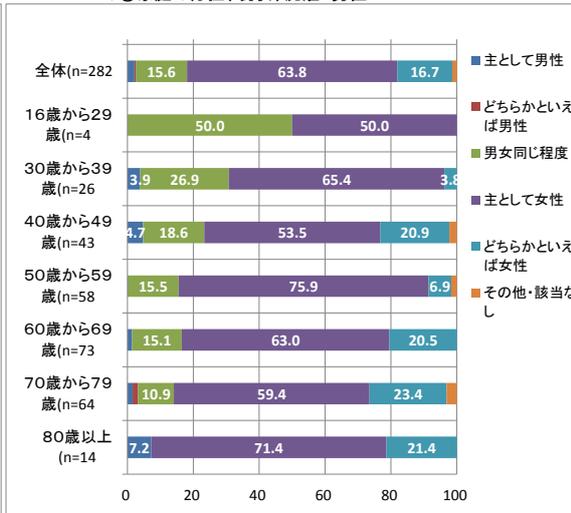
「⑤洗濯」の現状では、「主として女性」、「どちらかといえば女性」を合わせると、83.7%となった。「主として女性」は、男性よりも女性の方が5.1ポイント高く、現状認識に差が見られる。



11-1の⑤家庭の分担、現状、洗濯 女性



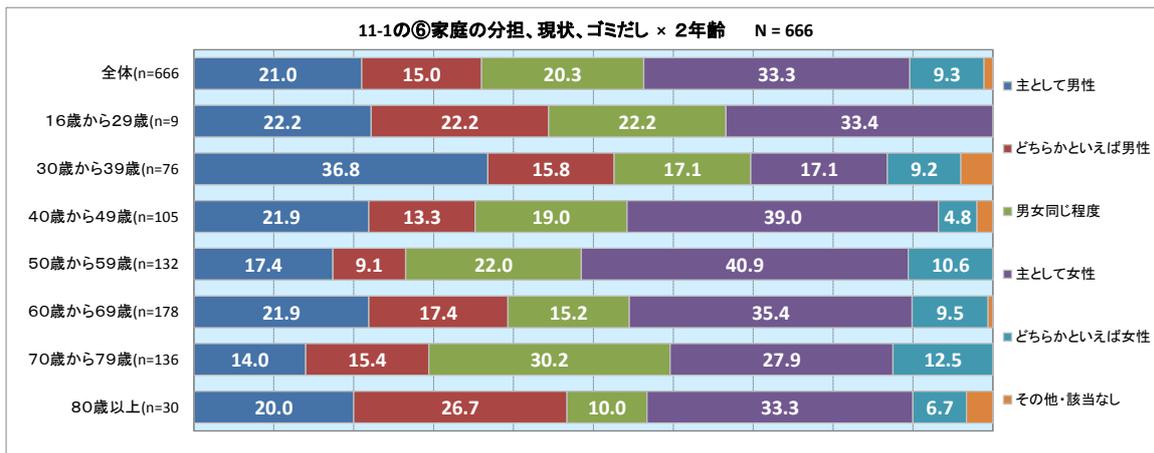
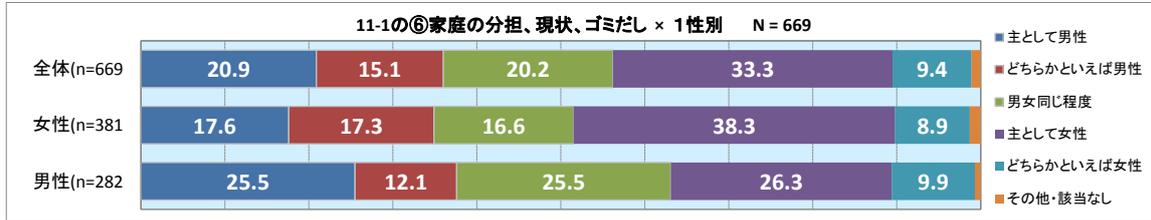
11-1の⑤家庭の分担、現状、洗濯 男性



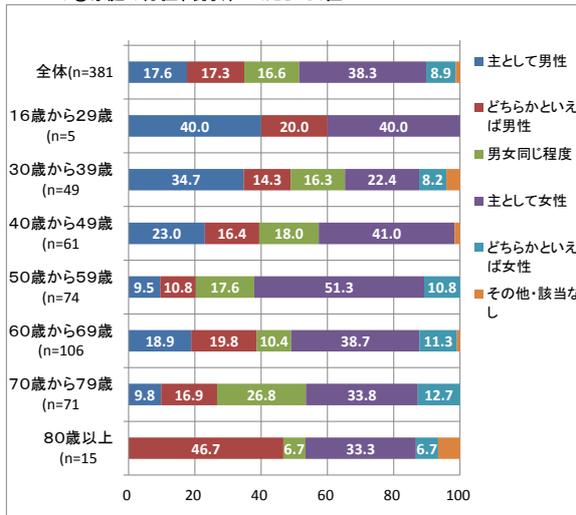
11-1の⑥家庭の分担、現状、ゴミだし × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の⑥家庭の分担、現状、ゴミだし						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	669 100.0	140 20.9	101 15.1	135 20.2	223 33.3	63 9.4	7 1.1
	女性	381 100.0	67 17.6	66 17.3	63 16.6	146 38.3	34 8.9	5 1.3
	男性	282 100.0	72 25.5	34 12.1	72 25.5	74 26.3	28 9.9	2 0.7
	答えたくない & 不明	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	3 50.0	1 16.6	0 0.0

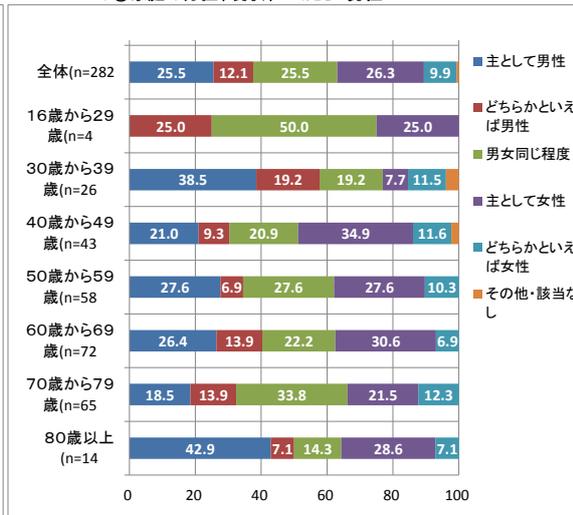
「⑥ゴミだし」の現状では、「主として女性」が42.7%となった。「主として男性」は、女性よりも男性の方が5.0ポイント高く、「主として女性」は男性よりも女性の方が11ポイント高い。



11-1の⑥家庭の分担、現状、ゴミだし 女性



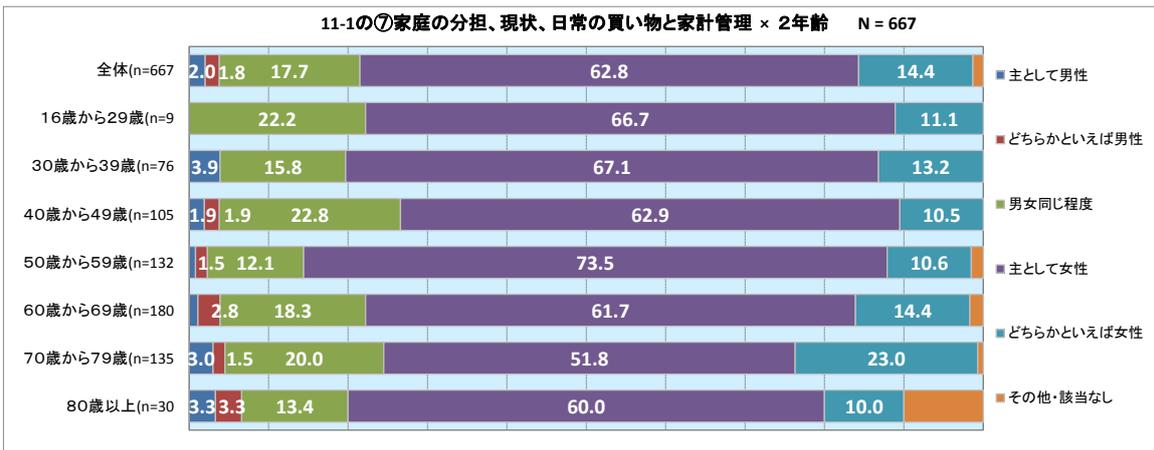
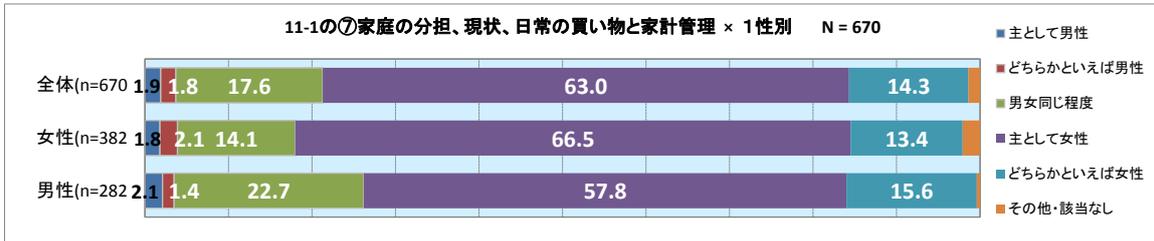
11-1の⑥家庭の分担、現状、ゴミだし 男性



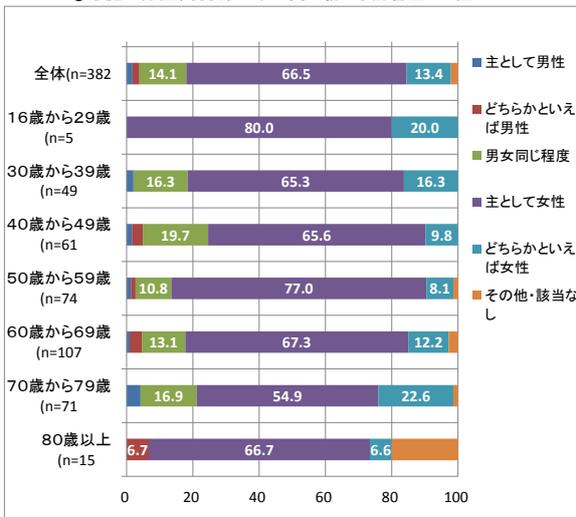
11-1の⑦家庭の分担、現状、日常の買い物と家計管理 × 1性別

上段:度数		11-1の⑦家庭の分担、現状、日常の買い物と家計管理						
下段:%		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	670	13	12	118	422	96	9
		100.0	1.9	1.8	17.6	63.0	14.3	1.4
	女性	382	7	8	54	254	51	8
		100.0	1.8	2.1	14.1	66.5	13.4	2.1
	男性	282	6	4	64	163	44	1
		100.0	2.1	1.4	22.7	57.8	15.6	0.4
	答えたくない & 不明	6	0	0	0	5	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0

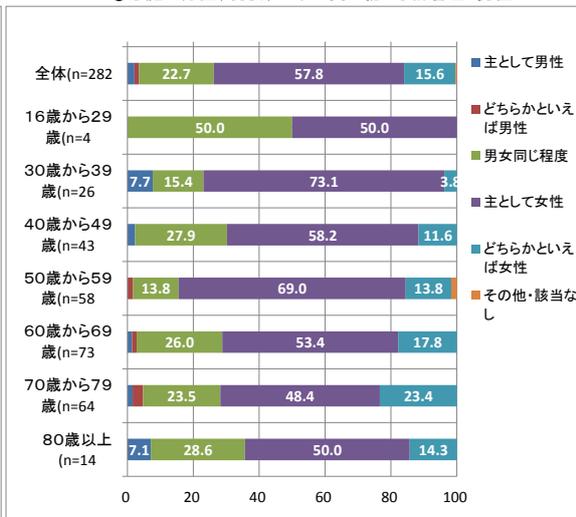
「⑦日常の買い物等」の現状では、「主として女性」が63%となった。



11-1の⑦家庭の分担、現状、日常の買い物と家計管理 女性



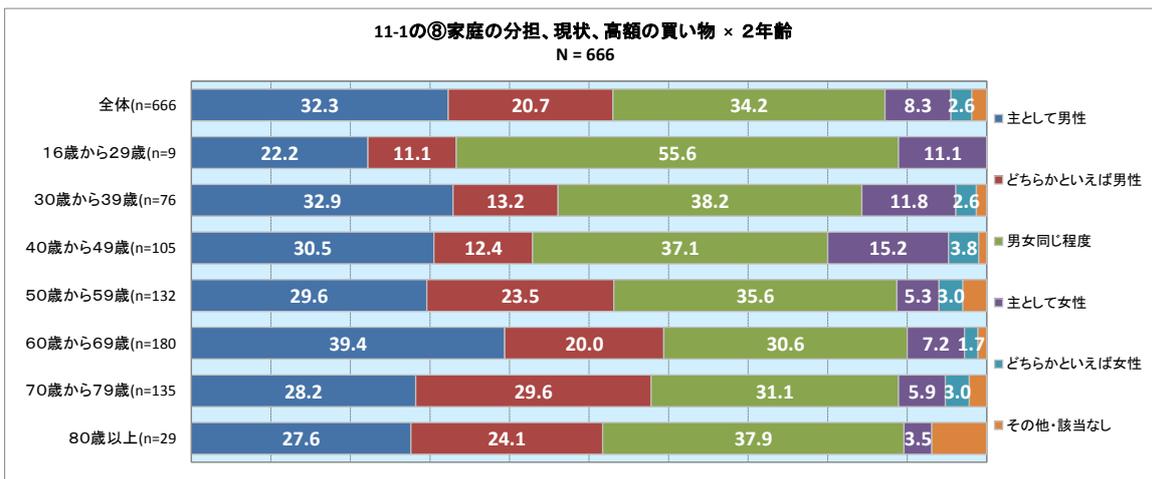
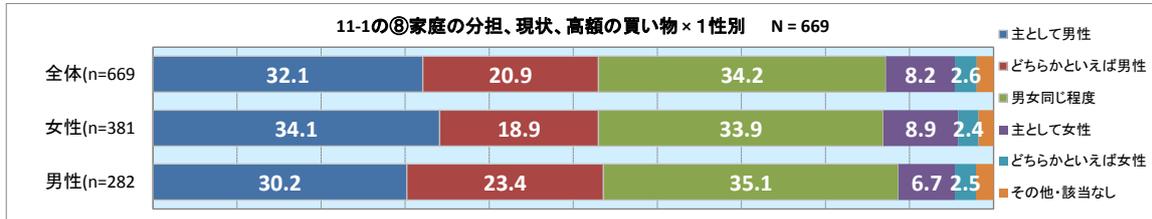
11-1の⑦家庭の分担、現状、日常の買い物と家計管理 男性



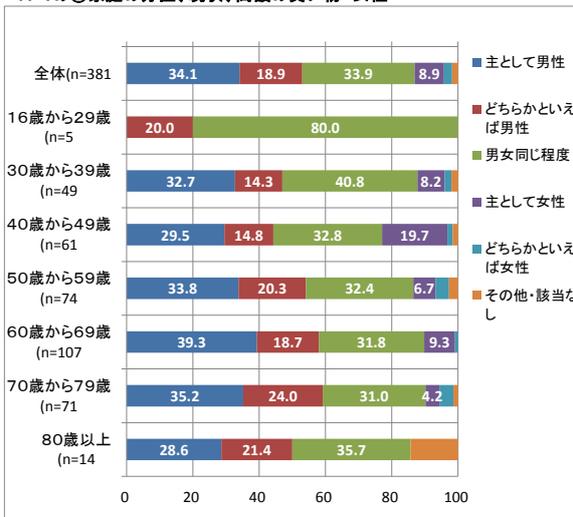
11-1の⑧家庭の分担、現状、高額の買い物 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の⑧家庭の分担、現状、高額の買い物						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	669 100.0	215 32.1	140 20.9	229 34.2	55 8.2	17 2.6	13 2.0
	女性	381 100.0	130 34.1	72 18.9	129 33.9	34 8.9	9 2.4	7 1.8
	男性	282 100.0	85 30.2	66 23.4	99 35.1	19 6.7	7 2.5	6 2.1
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0

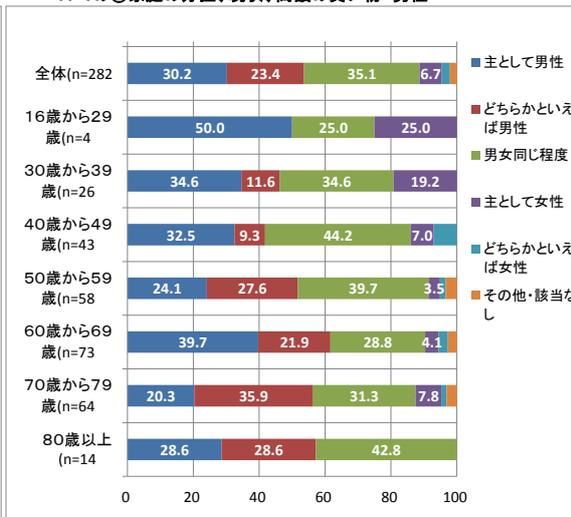
「⑧高額の買い物」の現状では、「主として男性」と「どちらかといえば男性」の合計が53%と半数を超えた。「男女同じ程度」も3分の1程度となった。



11-1の⑧家庭の分担、現状、高額の買い物 女性



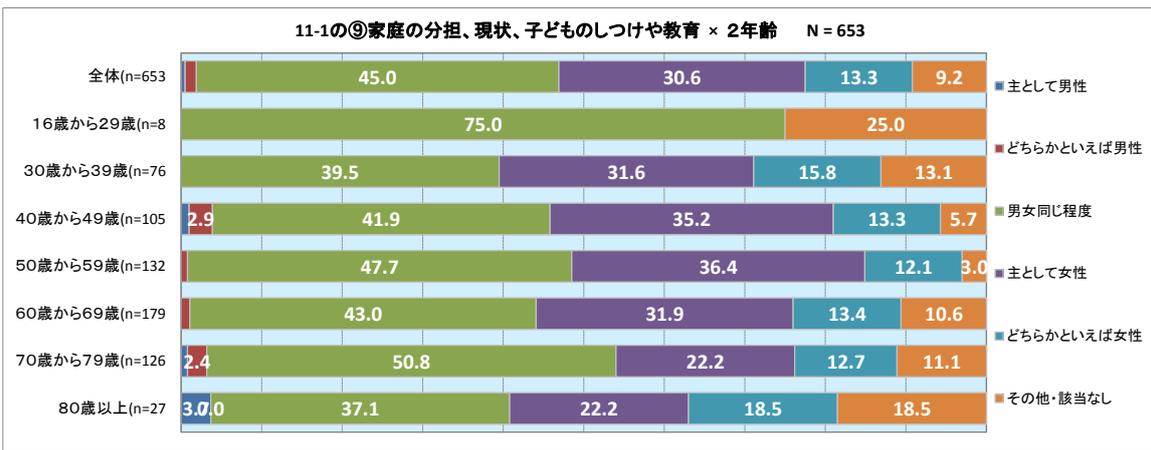
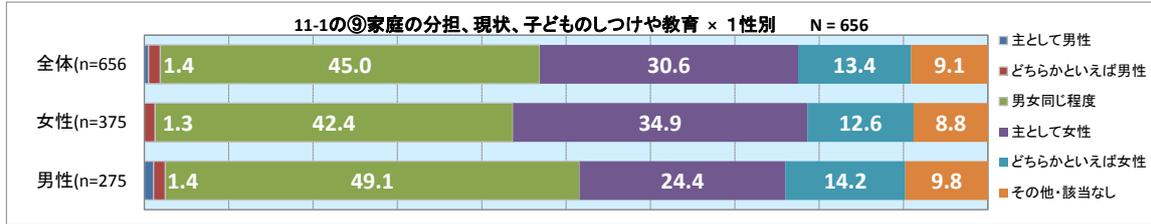
11-1の⑧家庭の分担、現状、高額の買い物 男性



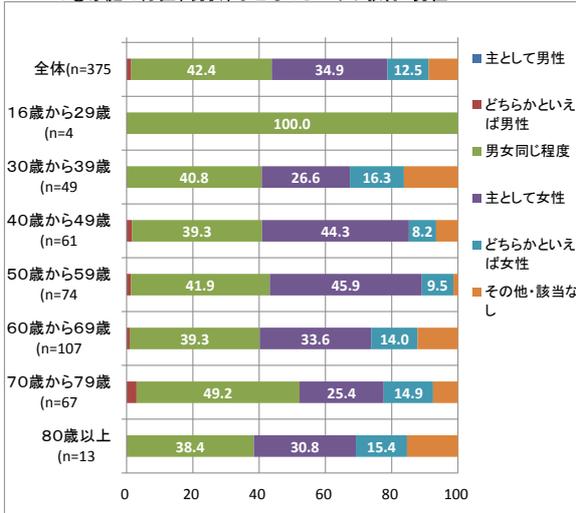
11-1の⑨家庭の分担、現状、子どものしつけや教育 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の⑨家庭の分担、現状、子どものしつけや教育						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	656 100.0	3 0.5	9 1.4	295 45.0	201 30.6	88 13.4	60 9.1
	女性	375 100.0	0 0.0	5 1.3	159 42.4	131 34.9	47 12.6	33 8.8
	男性	275 100.0	3 1.1	4 1.4	135 49.1	67 24.4	39 14.2	27 9.8
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0

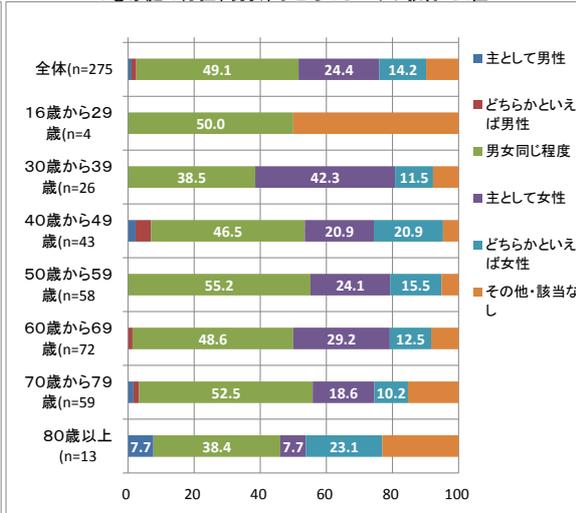
「子どものしつけや教育」の現状では、「男女同じ程度」が45%となった。「主として女性」は、男性よりも女性の方が10.5ポイント高い。



11-1の⑨家庭の分担、現状、子どものしつけや教育 男性



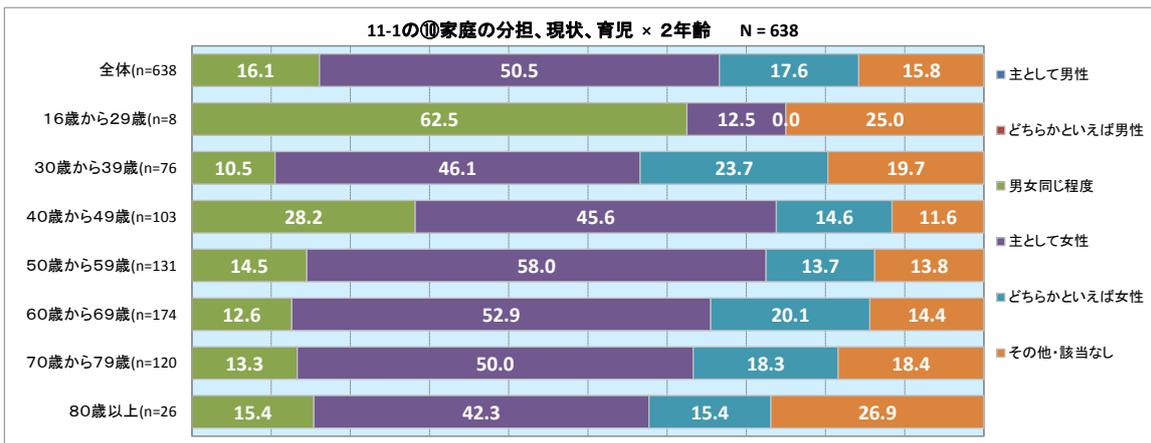
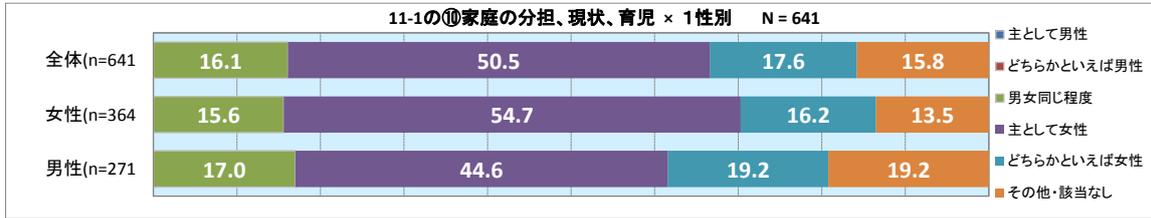
11-1の⑨家庭の分担、現状、子どものしつけや教育 女性



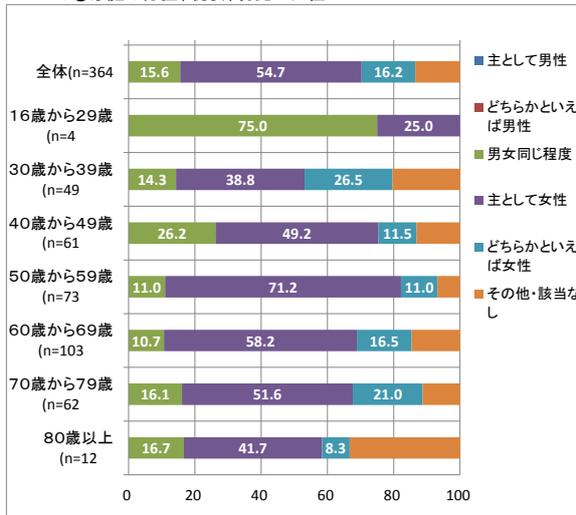
11-1の⑩家庭の分担、現状、育児 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の⑩家庭の分担、現状、育児						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	641 100.0	0 0.0	0 0.0	103 16.1	324 50.5	113 17.6	101 15.8
	女性	364 100.0	0 0.0	0 0.0	57 15.6	199 54.7	59 16.2	49 13.5
	男性	271 100.0	0 0.0	0 0.0	46 17.0	121 44.6	52 19.2	52 19.2
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0

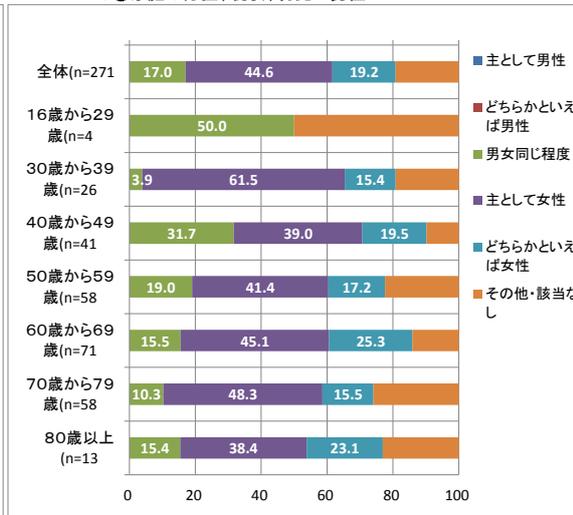
「⑩育児等」の現状では、「主として女性」が50.5%と過半数となった。全体で「主として男性」、「どちらかといえば男性」について0%と低い結果になった。



11-1の⑩家庭の分担、現状、育児 女性



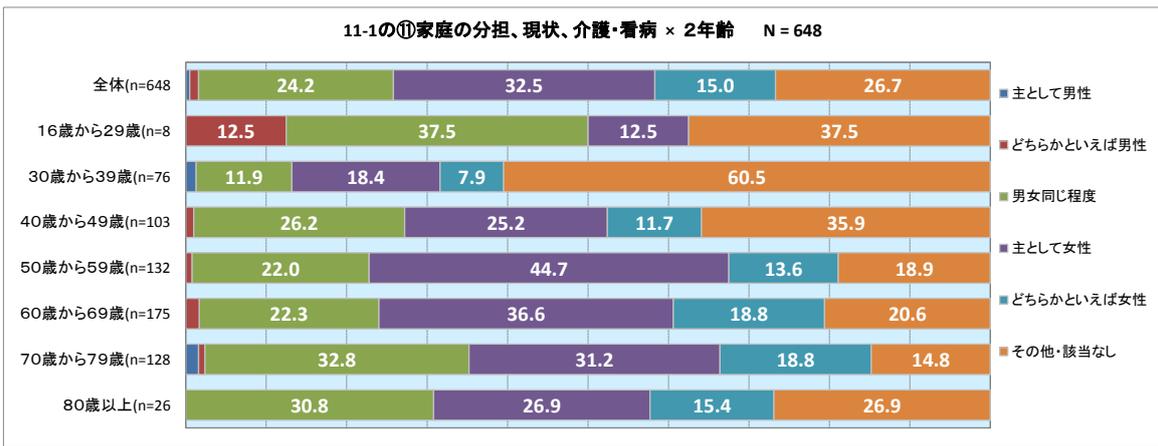
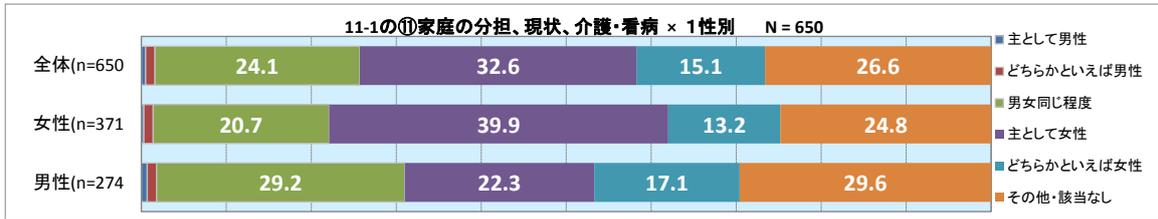
11-1の⑩家庭の分担、現状、育児 男性



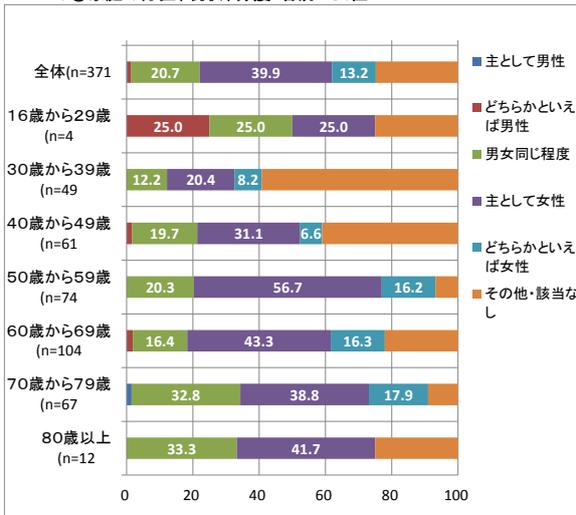
11-1の①家庭の分担、現状、介護・看病 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-1の①家庭の分担、現状、介護・看病						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	650 100.0	3 0.5	7 1.1	157 24.1	212 32.6	98 15.1	173 26.6
	女性	371 100.0	1 0.3	4 1.1	77 20.7	148 39.9	49 13.2	92 24.8
	男性	274 100.0	2 0.7	3 1.1	80 29.2	61 22.3	47 17.1	81 29.6
	答えたくない & 不明	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0

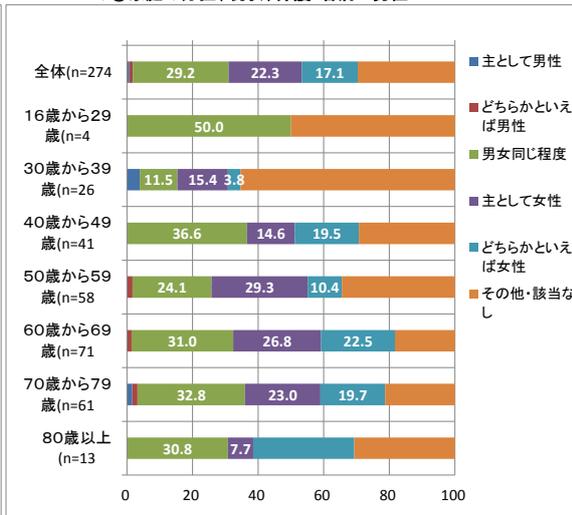
「①介護・看病」の現状では、「主として女性」と「どちらかといえば女性」の合計が47.7%とほぼ半数を占めている。



11-1の①家庭の分担、現状、介護・看病 女性



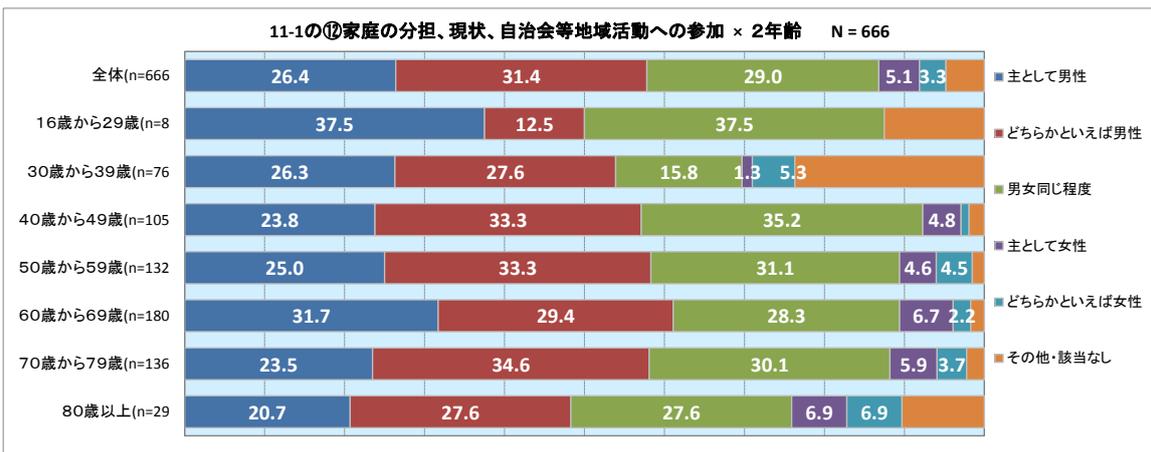
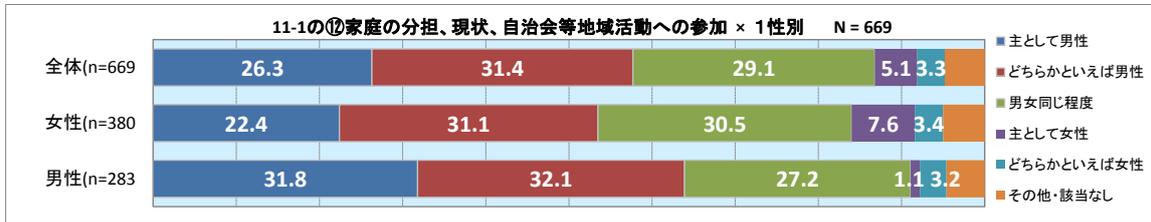
11-1の①家庭の分担、現状、介護・看病 男性



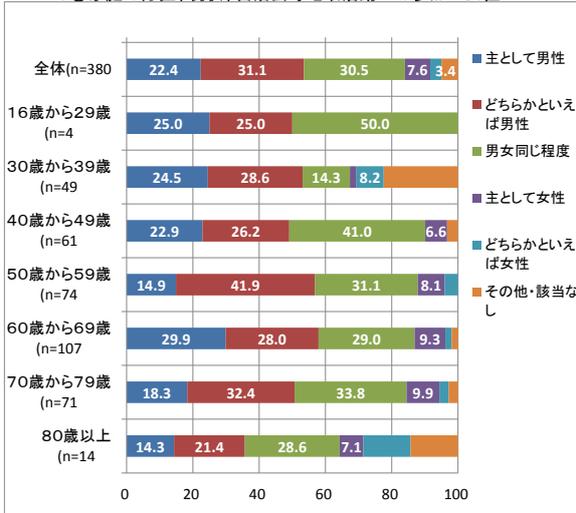
11-1の⑩家庭の分担、現状、自治会等地域活動への参加 × 1性別

上段:度数 下段:%	11-1の⑩家庭の分担、現状、自治会等地域活動への参加							
	合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし	
1性別	669	176	210	195	34	22	32	
	100.0	26.3	31.4	29.1	5.1	3.3	4.8	
女性	380	85	118	116	29	13	19	
	100.0	22.4	31.1	30.5	7.6	3.4	5.0	
男性	283	90	91	77	3	9	13	
	100.0	31.8	32.1	27.2	1.1	3.2	4.6	
答えたくない & 不明	6	1	1	2	2	0	0	
	100.0	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	

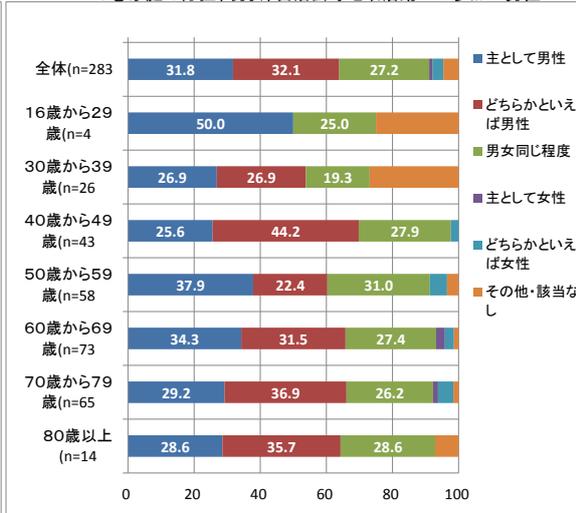
「⑩地域活動への参加」の現状では、「主として男性」と「どちらかといえば男性」の合計が57.7%と過半数を占めた。「主として男性」は女性よりも男性の方が9.5ポイント高く、現状認識に差が見られる。



11-1の⑩家庭の分担、現状、自治会等地域活動への参加 女性



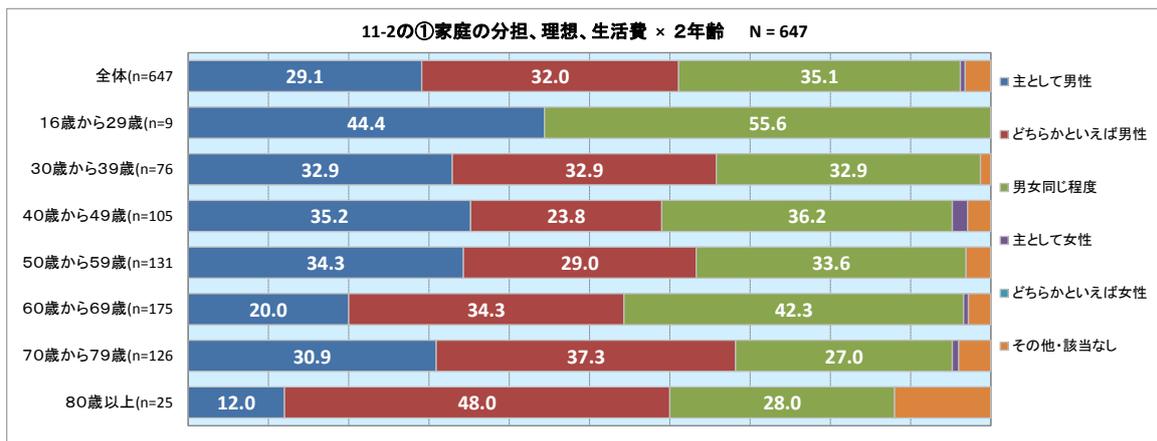
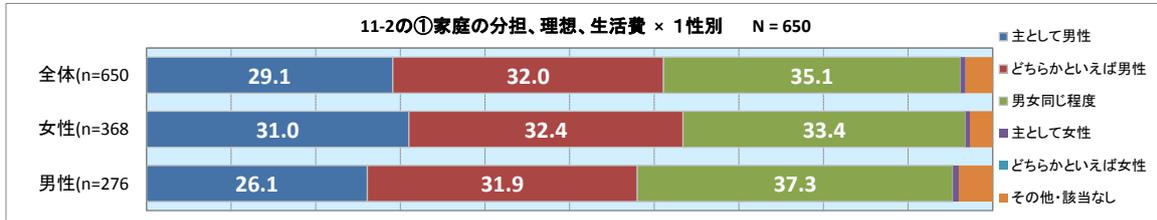
11-1の⑩家庭の分担、現状、自治会等地域活動への参加 男性



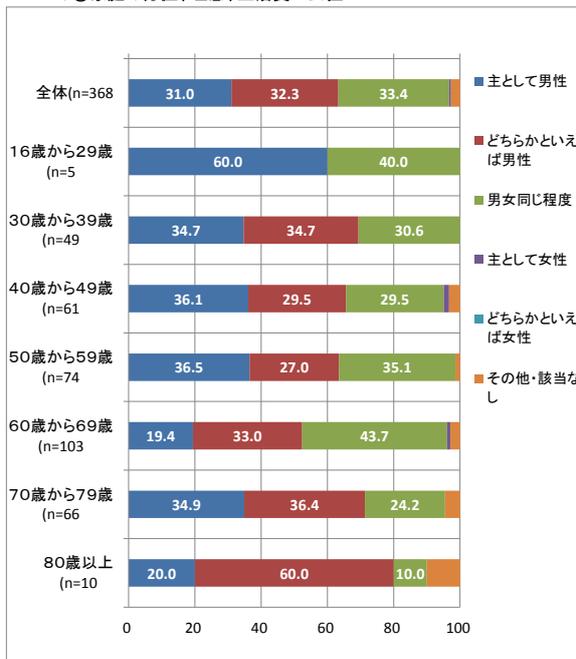
11-2の①家庭の分担、理想、生活費 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の①家庭の分担、理想、生活費						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	650 100.0	189 29.1	208 32.0	228 35.1	4 0.6	0 0.0	21 3.2
	女性	368 100.0	114 31.0	119 32.4	123 33.4	2 0.5	0 0.0	10 2.7
	男性	276 100.0	72 26.1	88 31.9	103 37.3	2 0.7	0 0.0	11 4.0
	答えたくない & 不明	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

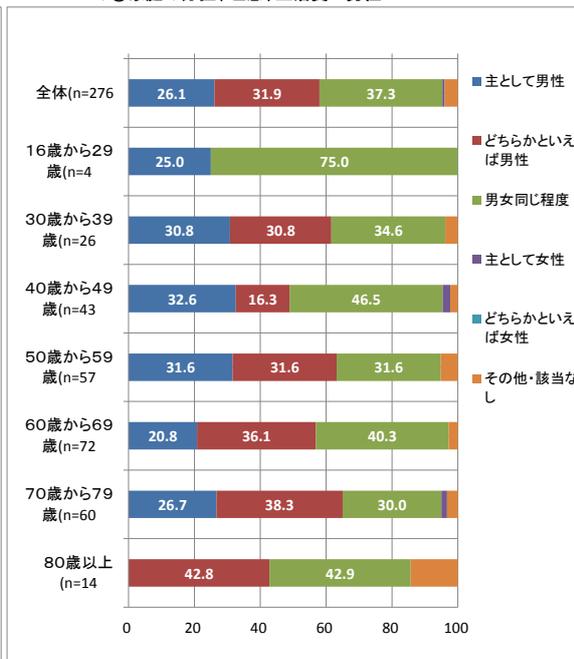
「①生活費を稼ぐ」の理想では、「主として男性」と「どちらかといえば男性」の合計が6割を超え、「男女同じ程度」が約3分の1を占めました。



11-2の①家庭の分担、理想、生活費 女性



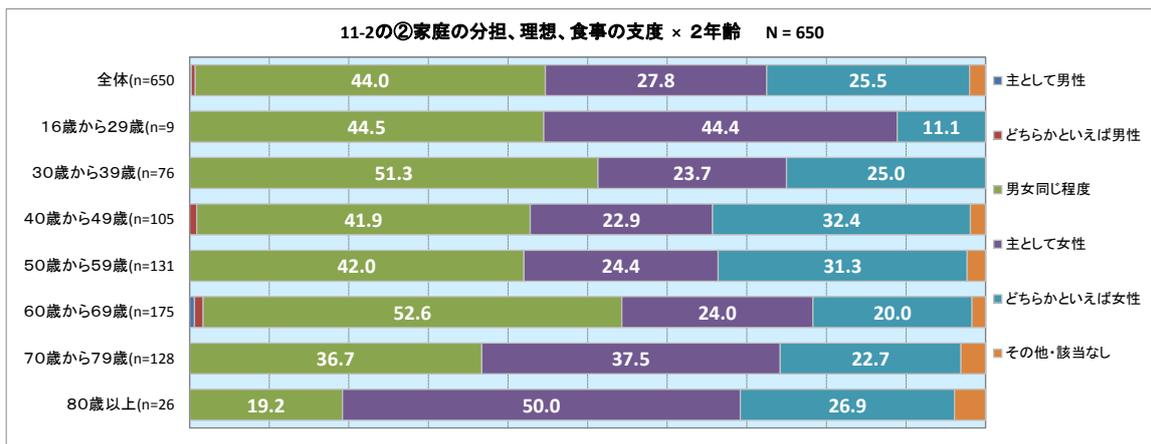
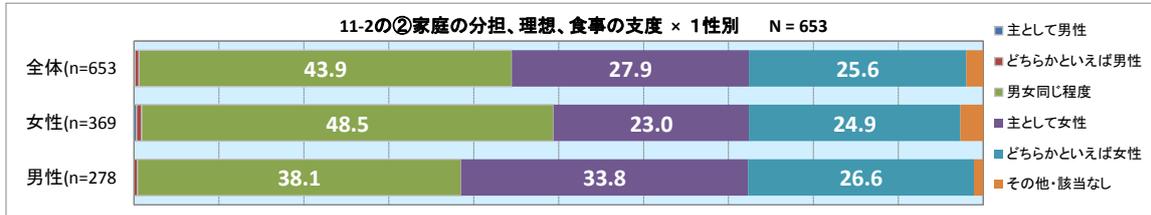
11-2の①家庭の分担、理想、生活費 男性



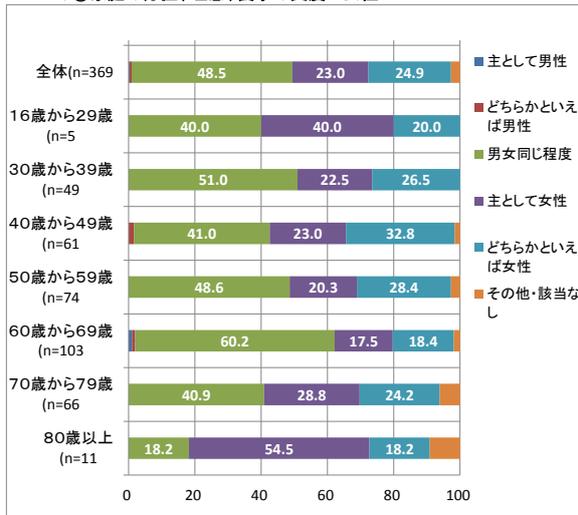
11-2の②家庭の分担、理想、食事の支度 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の②家庭の分担、理想、食事の支度						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	653 100.0	1 0.1	3 0.5	287 43.9	182 27.9	167 25.6	13 2.0
	女性	369 100.0	1 0.3	2 0.6	179 48.5	85 23.0	92 24.9	10 2.7
	男性	278 100.0	0 0.0	1 0.4	106 38.1	94 33.8	74 26.6	3 1.1
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0

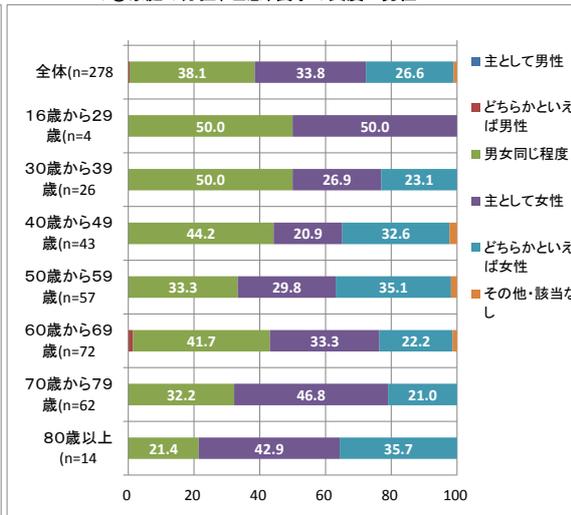
「②食事のしたく」の理想では、「男女同じ程度」が43.9%を占めているものの、「主として女性」と「どちらかといえば女性」を合わせると、5割を超えている。



11-2の②家庭の分担、理想、食事の支度 女性



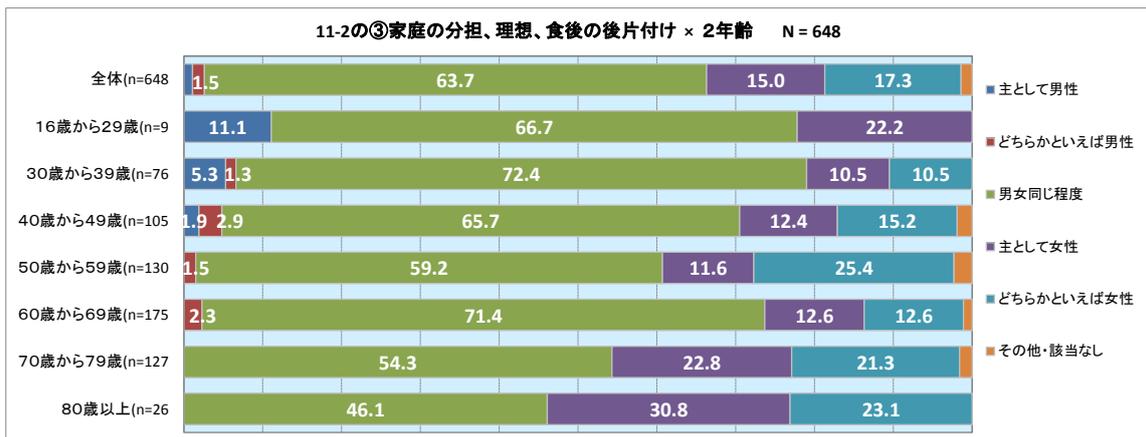
11-2の②家庭の分担、理想、食事の支度 男性



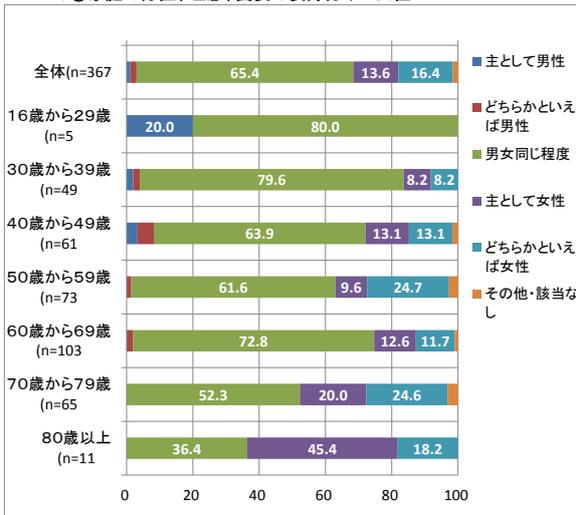
11-2の③家庭の分担、理想、食後の後片付け × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の③家庭の分担、理想、食後の後片付け						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	651 100.0	7 1.1	10 1.5	413 63.4	99 15.2	113 17.4	9 1.4
	女性	367 100.0	4 1.1	7 1.9	240 65.4	50 13.6	60 16.4	6 1.6
	男性	278 100.0	3 1.1	3 1.1	172 61.8	45 16.2	52 18.7	3 1.1
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	4 66.6	1 16.7	0 0.0

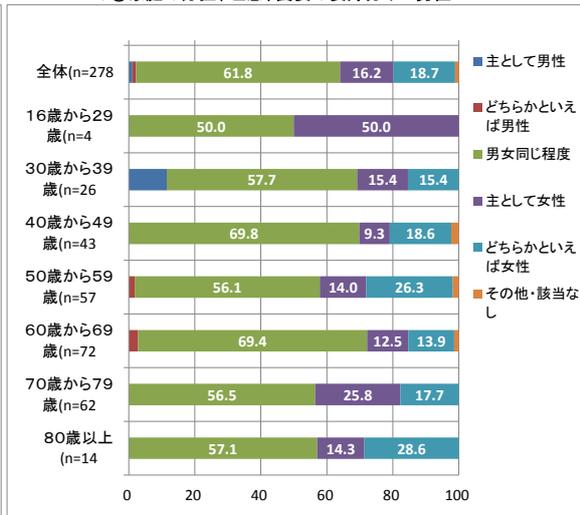
「③食事の後かたづけ」の理想では、「男女同じ程度」が63.4%を占めているものの、「主として女性」と「どちらかといえば女性」を合わせると、3割を超えている。



11-2の③家庭の分担、理想、食後の後片付け 女性



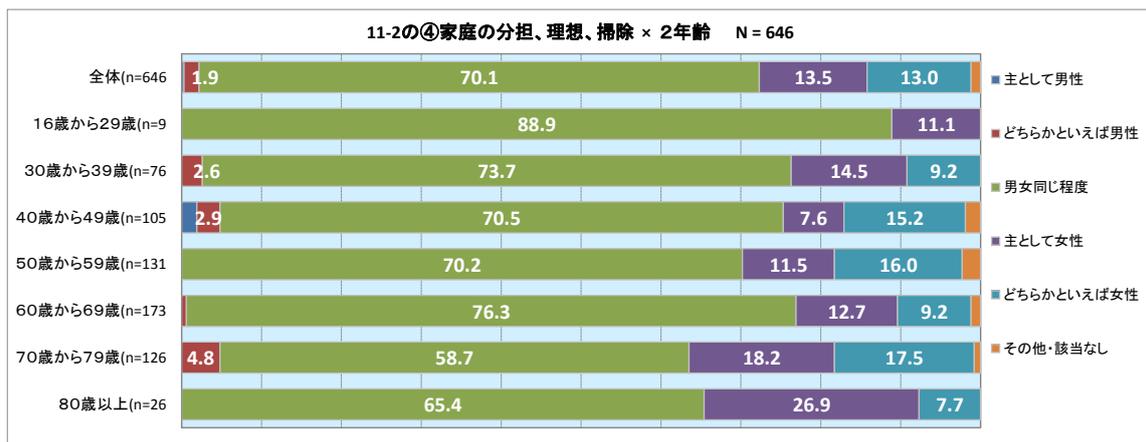
11-2の③家庭の分担、理想、食後の後片付け 男性



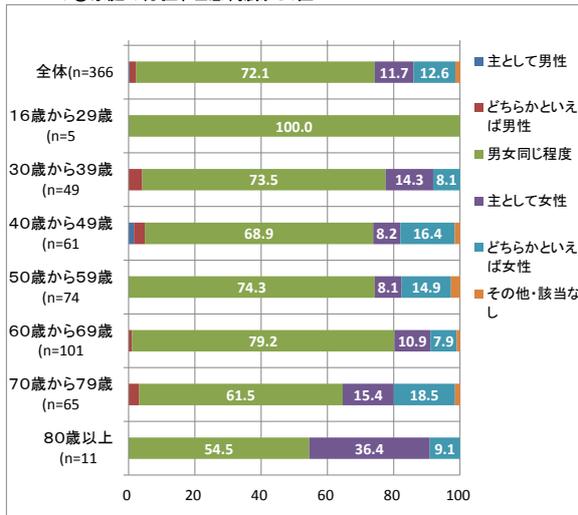
11-2の④家庭の分担、理想、掃除 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の④家庭の分担、理想、掃除						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	649 100.0	2 0.3	12 1.9	453 69.8	89 13.7	85 13.1	8 1.2
	女性	366 100.0	1 0.3	7 1.9	264 72.1	43 11.7	46 12.6	5 1.4
	男性	277 100.0	1 0.3	5 1.8	188 67.9	42 15.2	38 13.7	3 1.1
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	4 66.6	1 16.7	0 0.0

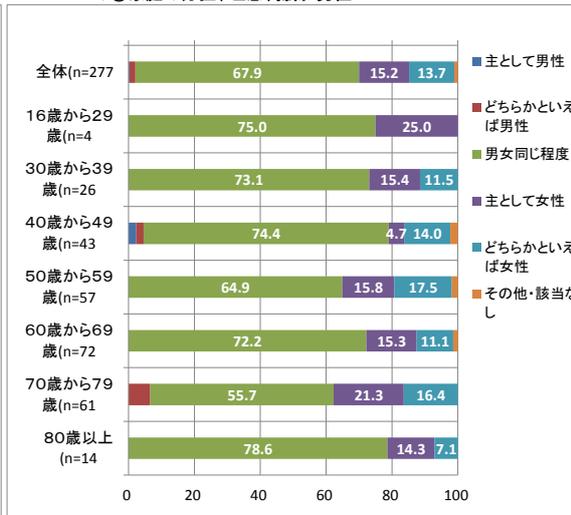
「④掃除」の理想では、「男女同じ程度」が69.8%を占めているものの、「主として女性」と「どちらかといえば女性」を合わせると、26.8%を占めている。



11-2の④家庭の分担、理想、掃除 女性



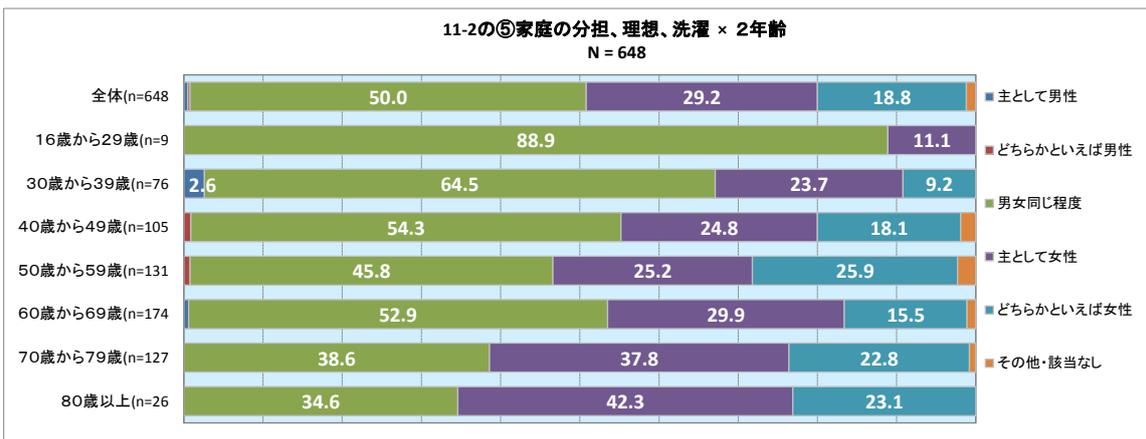
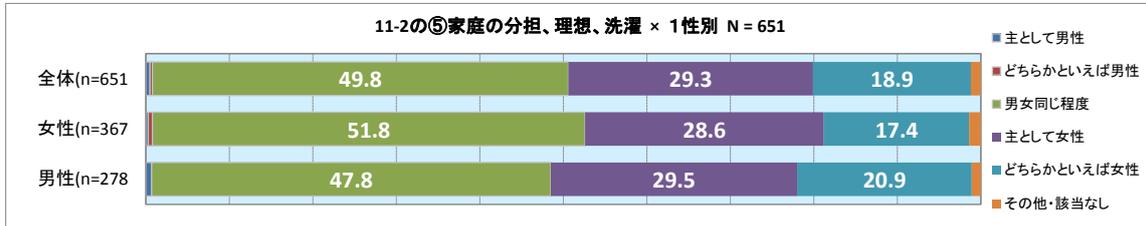
11-2の④家庭の分担、理想、掃除 男性



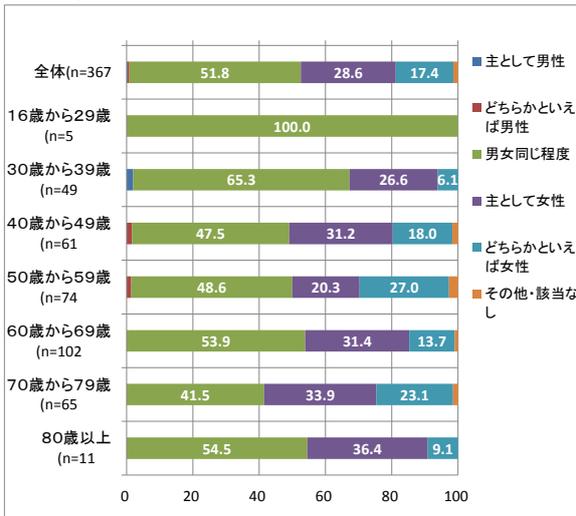
11-2の⑤家庭の分担、理想、洗濯 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の⑤家庭の分担、理想、洗濯						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	651 100.0	3 0.5	2 0.3	324 49.8	191 29.3	123 18.9	8 1.2
	女性	367 100.0	1 0.3	2 0.5	190 51.8	105 28.6	64 17.4	5 1.4
	男性	278 100.0	2 0.7	0 0.0	133 47.8	82 29.5	58 20.9	3 1.1
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	4 66.6	1 16.7	0 0.0

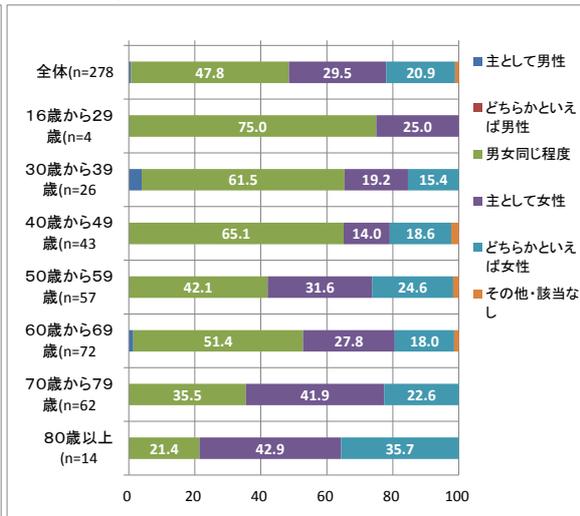
「⑤洗濯」の理想では、「男女同じ程度」が49.8%を占めているものの、「主として女性」と「どちらかといえば女性」を合わせると、48.2%を占めている。



11-2の⑤家庭の分担、理想、洗濯 女性



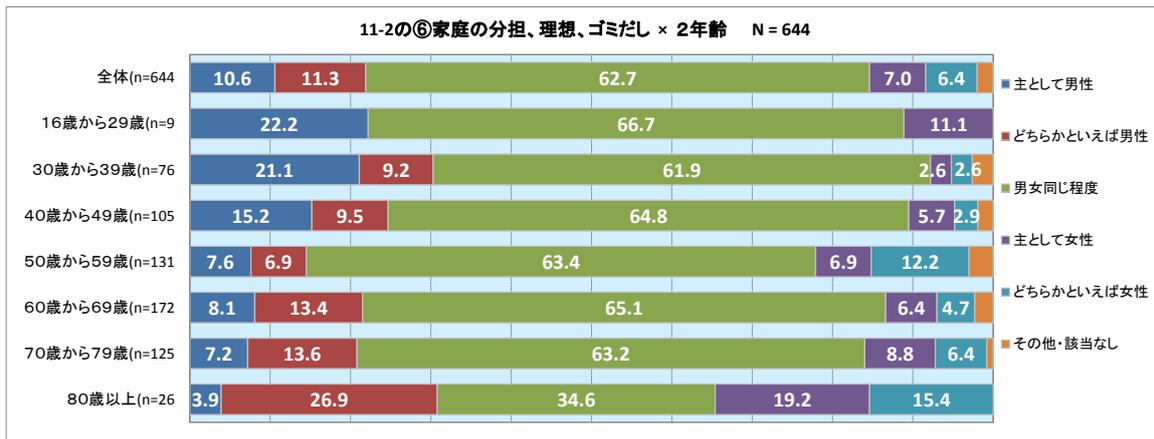
11-2の⑤家庭の分担、理想、洗濯 男性



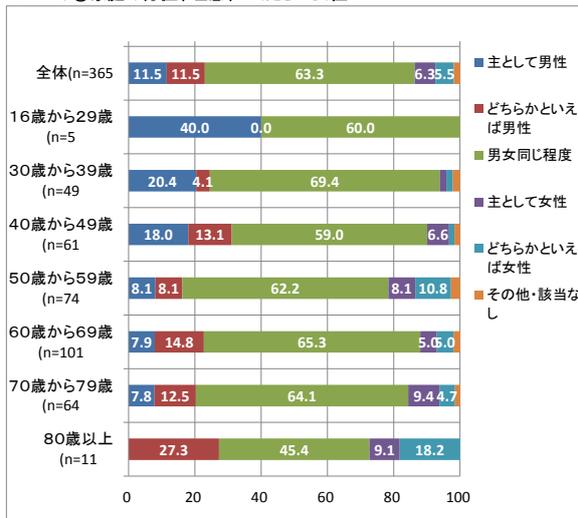
11-2の⑥家庭の分担、理想、ゴミだし × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の⑥家庭の分担、理想、ゴミだし						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	647 100.0	68 10.5	74 11.4	406 62.8	45 7.0	41 6.3	13 2.0
	女性	365 100.0	42 11.5	42 11.5	231 63.3	23 6.3	20 5.5	7 1.9
	男性	276 100.0	25 9.1	31 11.2	172 62.3	21 7.6	21 7.6	6 2.2
	答えたくない & 不明	6 100.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	1 16.6	0 0.0	0 0.0

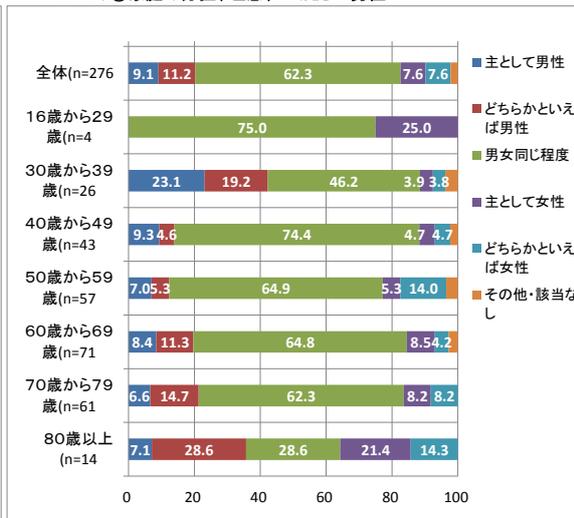
「⑥ゴミだし」の理想では、「男女同じ程度」が62.8%を占めている。



11-2の⑥家庭の分担、理想、ゴミだし 女性



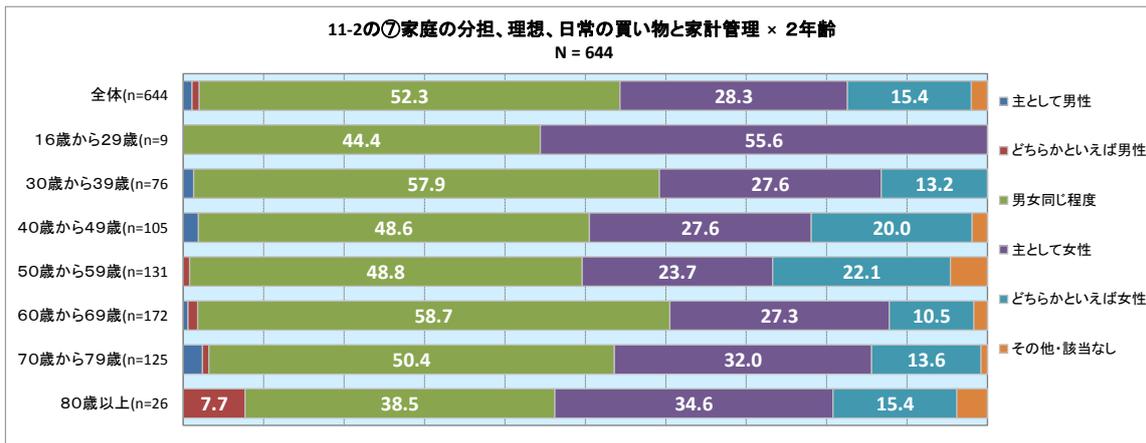
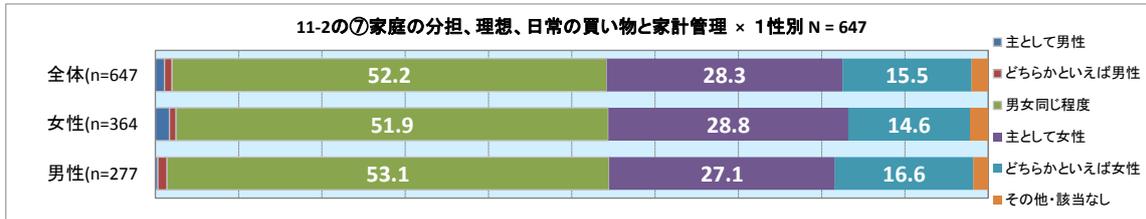
11-2の⑥家庭の分担、理想、ゴミだし 男性



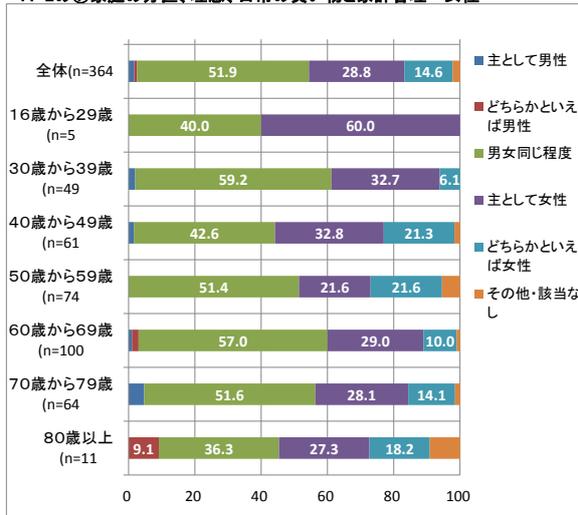
11-2の⑦家庭の分担、理想、日常の買い物と家計管理 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の⑦家庭の分担、理想、日常の買い物と家計管理						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	647 100.0	7 1.1	6 0.9	338 52.2	183 28.3	100 15.5	13 2.0
	女性	364 100.0	6 1.7	3 0.8	189 51.9	105 28.8	53 14.6	8 2.2
	男性	277 100.0	1 0.3	3 1.1	147 53.1	75 27.1	46 16.6	5 1.8
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0

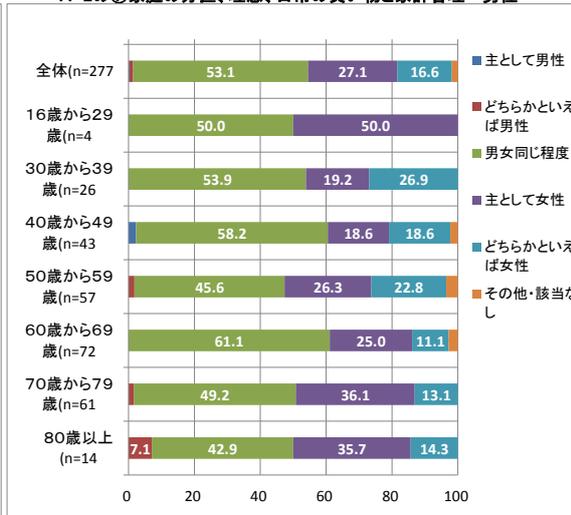
「⑦日常の買い物と家計管理」の理想では、「男女同じ程度」が52.2%を占めているものの、「主として女性」と「どちらかといえば女性」を合わせると、43.8%を占めました。



11-2の⑦家庭の分担、理想、日常の買い物と家計管理 女性



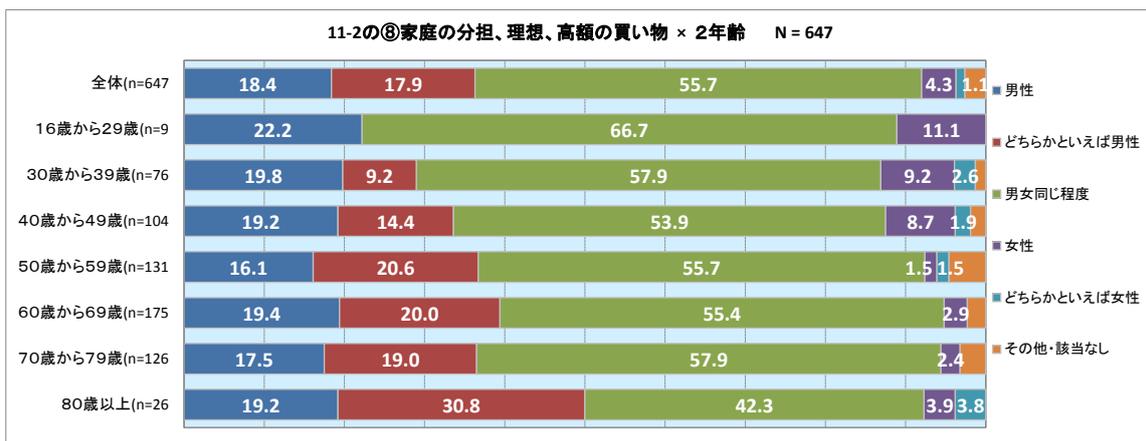
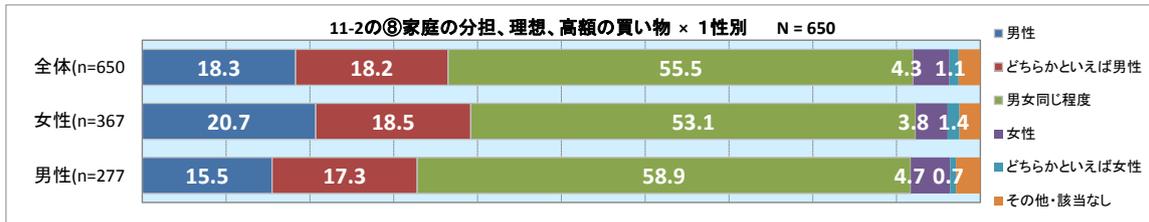
11-2の⑦家庭の分担、理想、日常の買い物と家計管理 男性



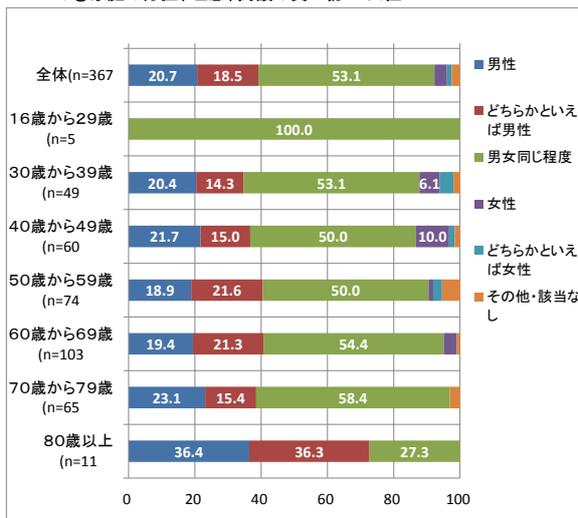
11-2の⑧家庭の分担、理想、高額の買い物 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の⑧家庭の分担、理想、高額の買い物						
		合計	男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	650 100.0	119 18.3	118 18.2	361 55.5	28 4.3	7 1.1	17 2.6
	女性	367 100.0	76 20.7	68 18.5	195 53.1	14 3.8	5 1.4	9 2.5
	男性	277 100.0	43 15.5	48 17.3	163 58.9	13 4.7	2 0.7	8 2.9
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0

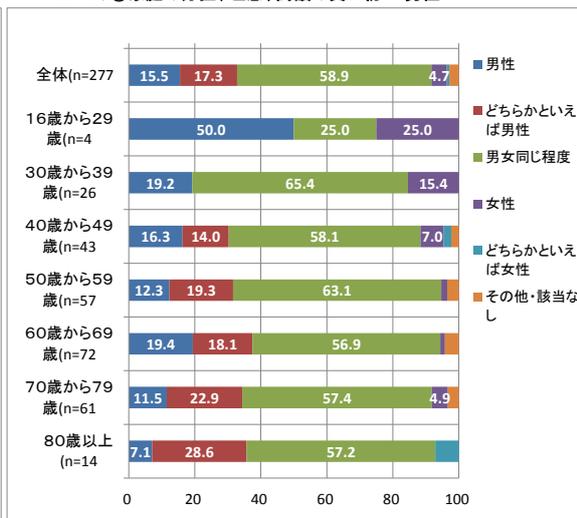
「⑧高額の買い物」の理想では、「主として男性」と「どちらかといえば男性」の合計が36.5%を占め、「男女同じ程度」が過半数を占めている。



11-2の⑧家庭の分担、理想、高額の買い物 女性



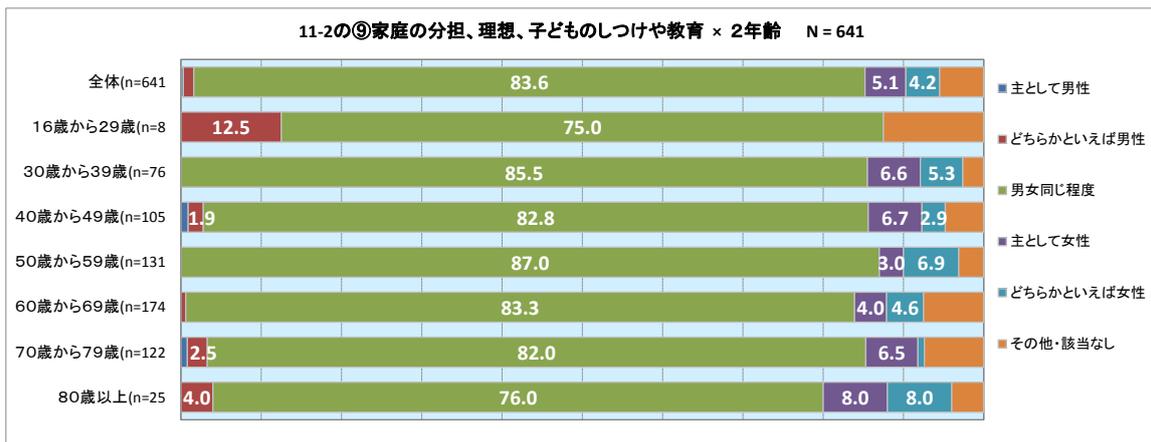
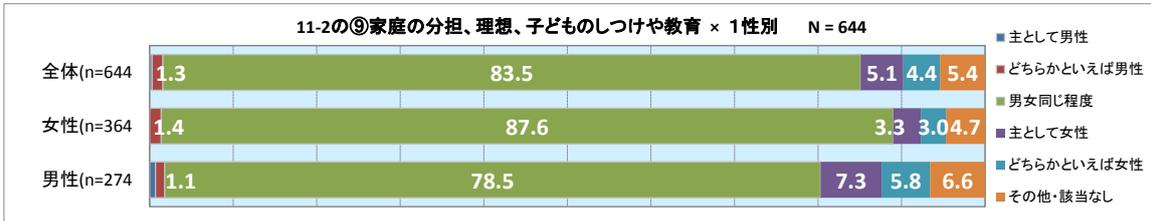
11-2の⑧家庭の分担、理想、高額の買い物 男性



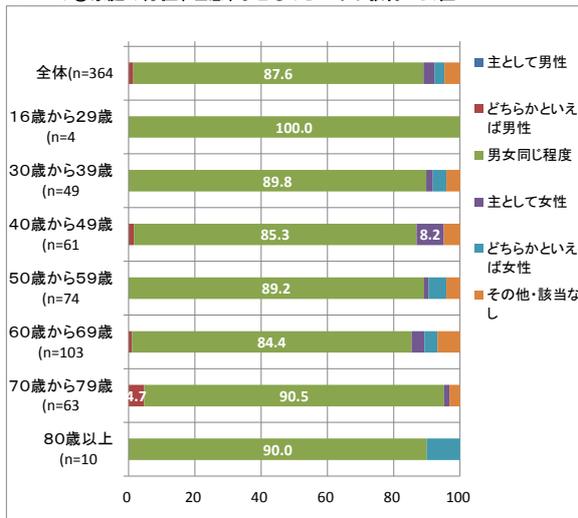
11-2の⑨家庭の分担、理想、子どものしつけや教育 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の⑨家庭の分担、理想、子どものしつけや教育						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	644 100.0	2 0.3	8 1.3	538 83.5	33 5.1	28 4.4	35 5.4
	女性	364 100.0	0 0.0	5 1.4	319 87.6	12 3.3	11 3.0	17 4.7
	男性	274 100.0	2 0.7	3 1.1	215 78.5	20 7.3	16 5.8	18 6.6
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	4 66.6	1 16.7	1 16.7	0 0.0

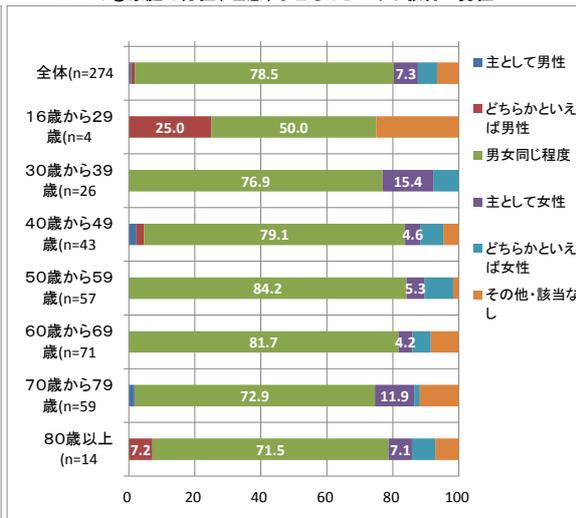
「⑨子どものしつけや教育」の理想では、「男女同じ程度」が全体で8割を超えている。



11-2の⑨家庭の分担、理想、子どものしつけや教育 女性



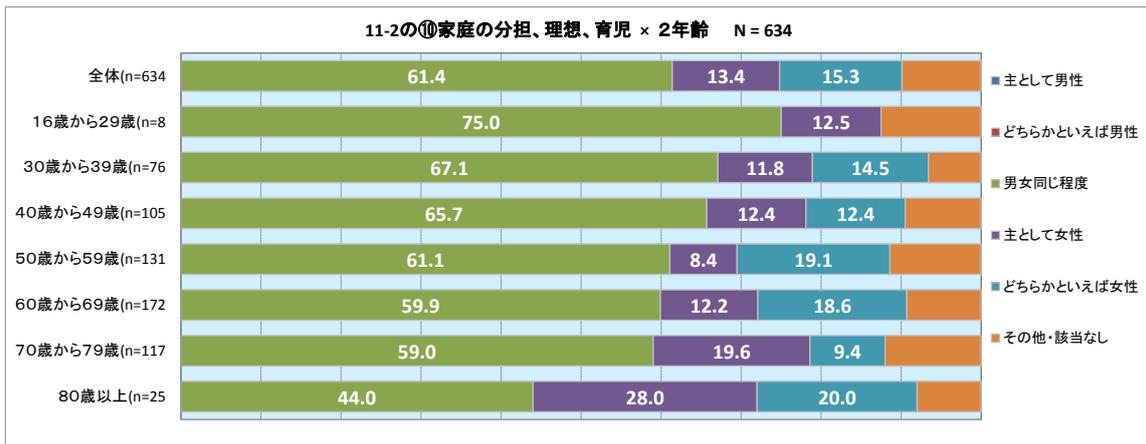
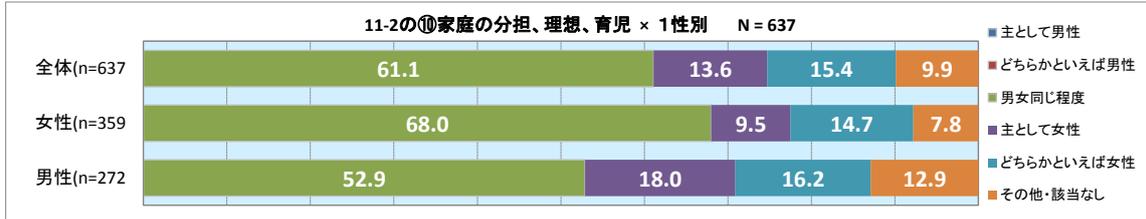
11-2の⑨家庭の分担、理想、子どものしつけや教育 男性



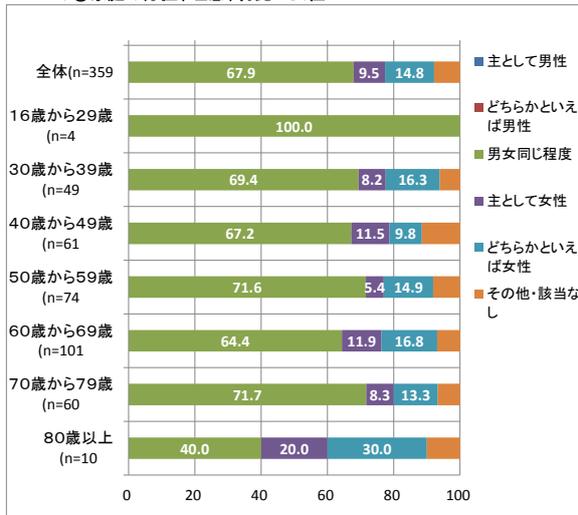
11-2の⑩家庭の分担、理想、育児 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の⑩家庭の分担、理想、育児						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	637 100.0	0 0.0	0 0.0	389 61.1	87 13.6	98 15.4	63 9.9
	女性	359 100.0	0 0.0	0 0.0	244 68.0	34 9.5	53 14.7	28 7.8
	男性	272 100.0	0 0.0	0 0.0	144 52.9	49 18.0	44 16.2	35 12.9
	答えたくない & 不明	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	4 66.6	1 16.7	0 0.0

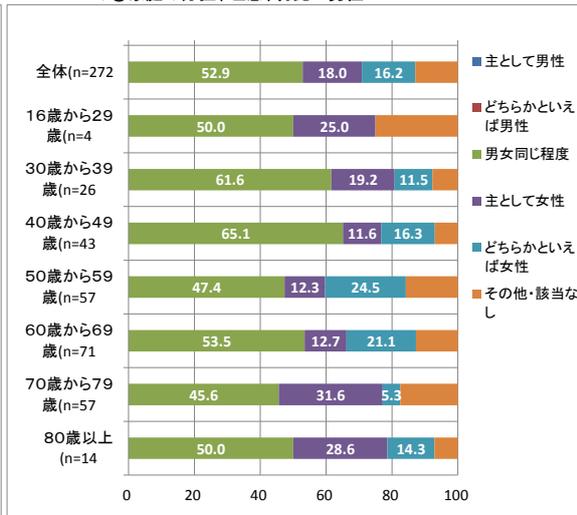
「⑩育児」の理想では、「男女同じ程度」が61.1%を占めているものの、「主として女性」と「どちらかといえば女性」を合わせると、15.4%を占めている。



11-2の⑩家庭の分担、理想、育児 女性



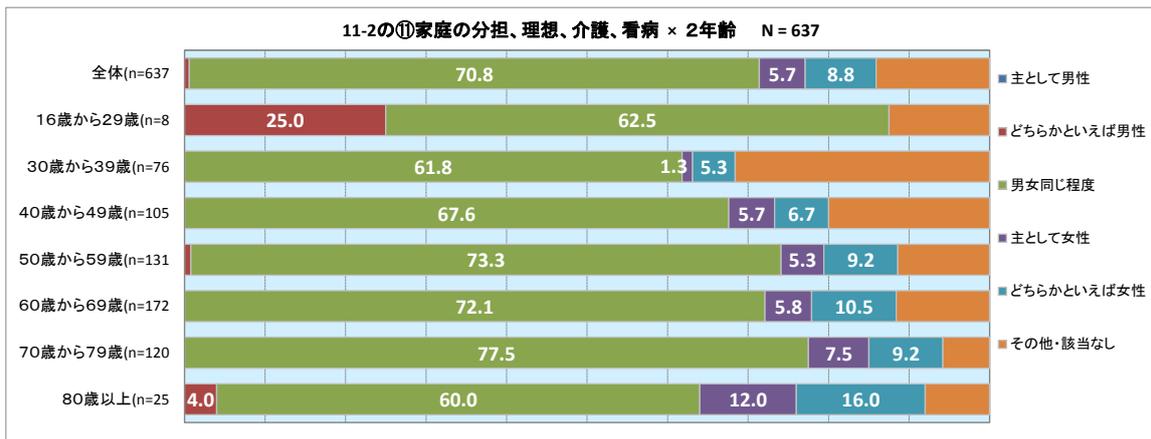
11-2の⑩家庭の分担、理想、育児 男性



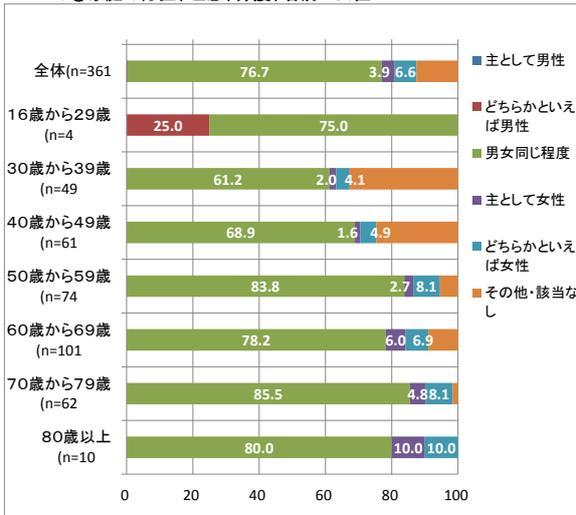
11-2の①家庭の分担、理想、介護、看病 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の①家庭の分担、理想、介護、看病						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	639 100.0	0 0.0	4 0.6	453 70.9	36 5.6	56 8.8	90 14.1
	女性	361 100.0	0 0.0	1 0.3	277 76.7	14 3.9	24 6.6	45 12.5
	男性	273 100.0	0 0.0	3 1.1	173 63.4	20 7.3	32 11.7	45 16.5
	答えたくない & 不明	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0

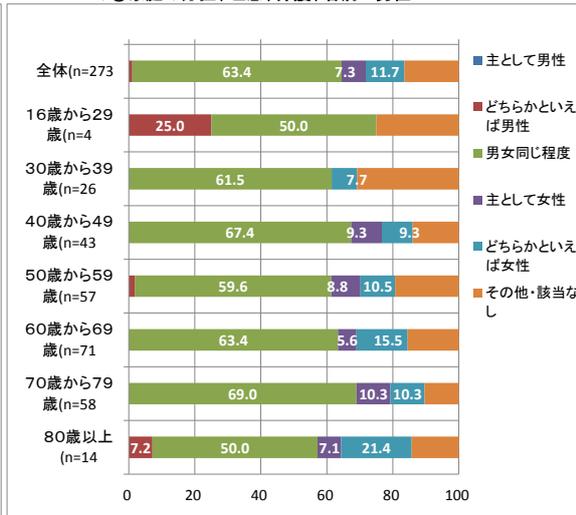
「①介護・看病」の理想では、「男女同じ程度」が70.9%を占めているものの、「主として女性」と「どちらかといえば女性」の合計が14.4%を占めている。



11-2の①家庭の分担、理想、介護、看病 女性



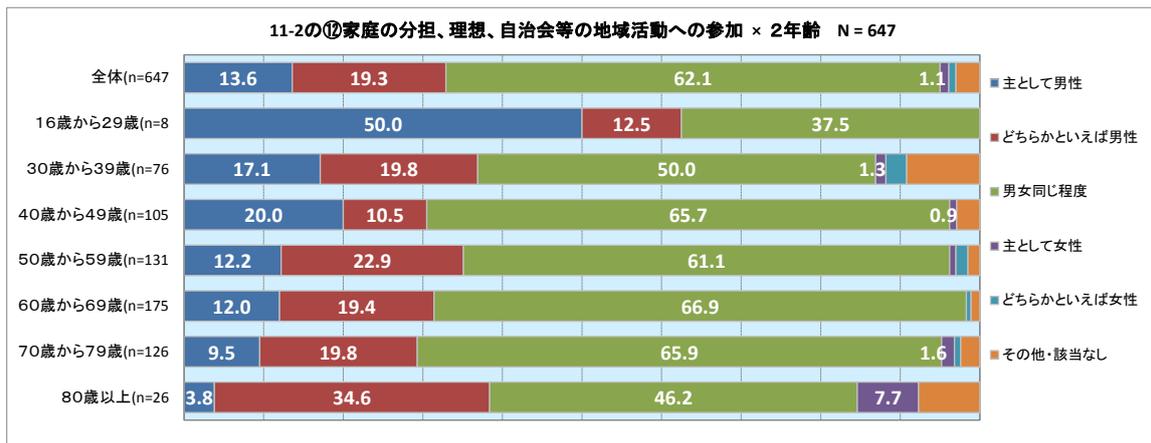
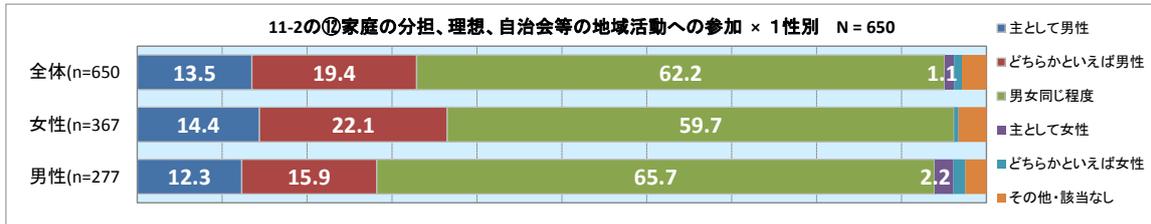
11-2の①家庭の分担、理想、介護、看病 男性



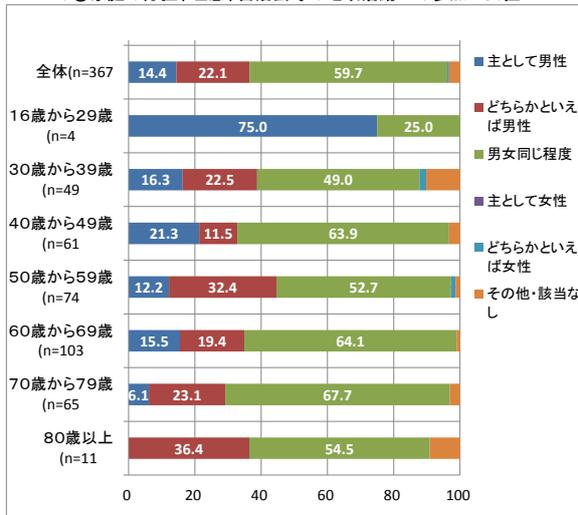
11-2の⑩家庭の分担、理想、自治会等の地域活動への参加 × 1性別

上段:度数 下段:%		11-2の⑩家庭の分担、理想、自治会等の地域活動への参加						
		合計	主として男性	どちらかといえば男性	男女同じ程度	主として女性	どちらかといえば女性	その他・該当なし
1性別	全体	650 100.0	88 13.5	126 19.4	404 62.2	7 1.1	6 0.9	19 2.9
	女性	367 100.0	53 14.4	81 22.1	219 59.7	0 0.0	2 0.5	12 3.3
	男性	277 100.0	34 12.3	44 15.9	182 65.7	6 2.2	4 1.4	7 2.5
	答えたくない & 不明	6 100.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	1 16.6	0 0.0	0 0.0

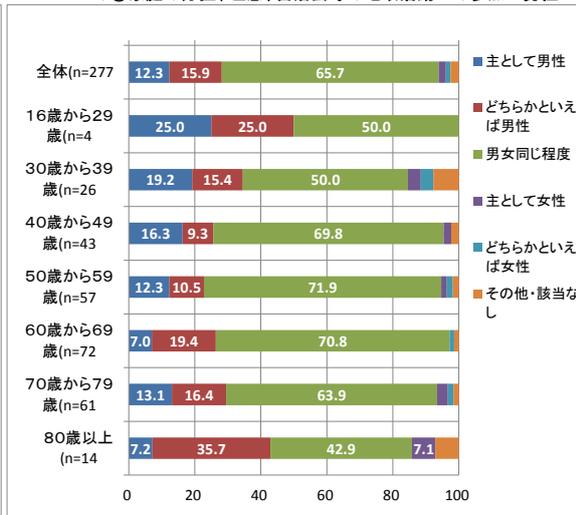
「⑩地域活動への参加」の理想では、「男女同じ程度」が62.2%を占めているものの、「主として男性」と「どちらかといえば男性」を合わせると、32.9%を占めている。



11-2の⑩家庭の分担、理想、自治会等の地域活動への参加 女性



11-2の⑩家庭の分担、理想、自治会等の地域活動への参加 男性



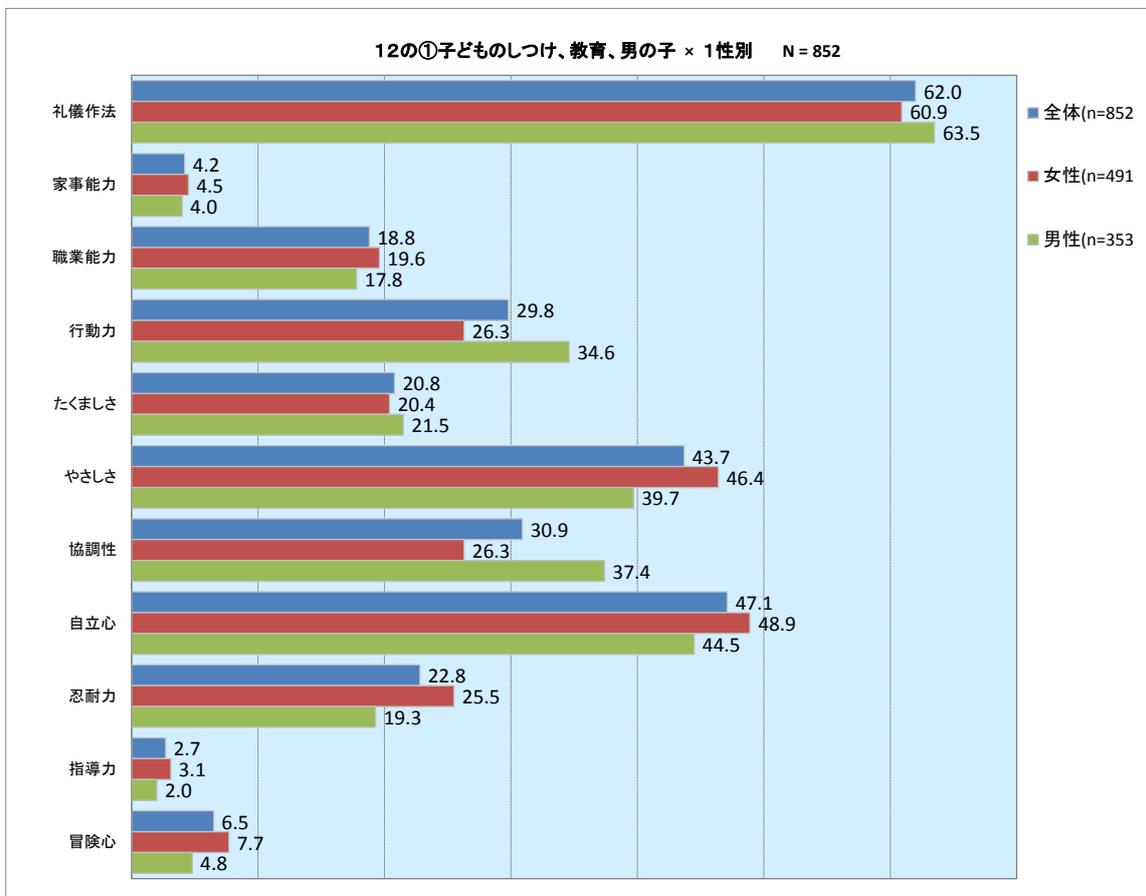
問12 あなたが子どものしつけ、教育で気づかっていることは何ですか？子どもがいるいないに関わらずお答えください。（〇は三つまで）

子どものしつけ、教育で気づかっていることについて、男の子に対しては、「礼儀作法」が全体で62%と最も多く、次に「自立心」が47.1%、「やさしさ」が43.7%で続きました。性別による回答の差が最も顕著だったのは「やさしさ」で、29.4ポイントの差があった。男の子に対しては、女性の方がより「やさしさ」を求める傾向が強いことがわかる。

12の①子どものしつけ、教育、男の子 × 1性別

上段:度数 下段:%		12の①子どものしつけ、教育、男の子						
		合計	礼儀作法	家事能力	職業能力	行動力	たくましさ	やさしさ
1性別	全体	852	528	36	160	254	177	372
		—	62.0	4.2	18.8	29.8	20.8	43.7
	女性	491	299	22	96	129	100	228
		—	60.9	4.5	19.6	26.3	20.4	46.4
1性別	男性	353	224	14	63	122	76	140
		—	63.5	4.0	17.8	34.6	21.5	39.7
	答えたくない &不明	8	5	0	1	3	1	4
		—	62.5	0.0	12.5	37.5	12.5	50.0

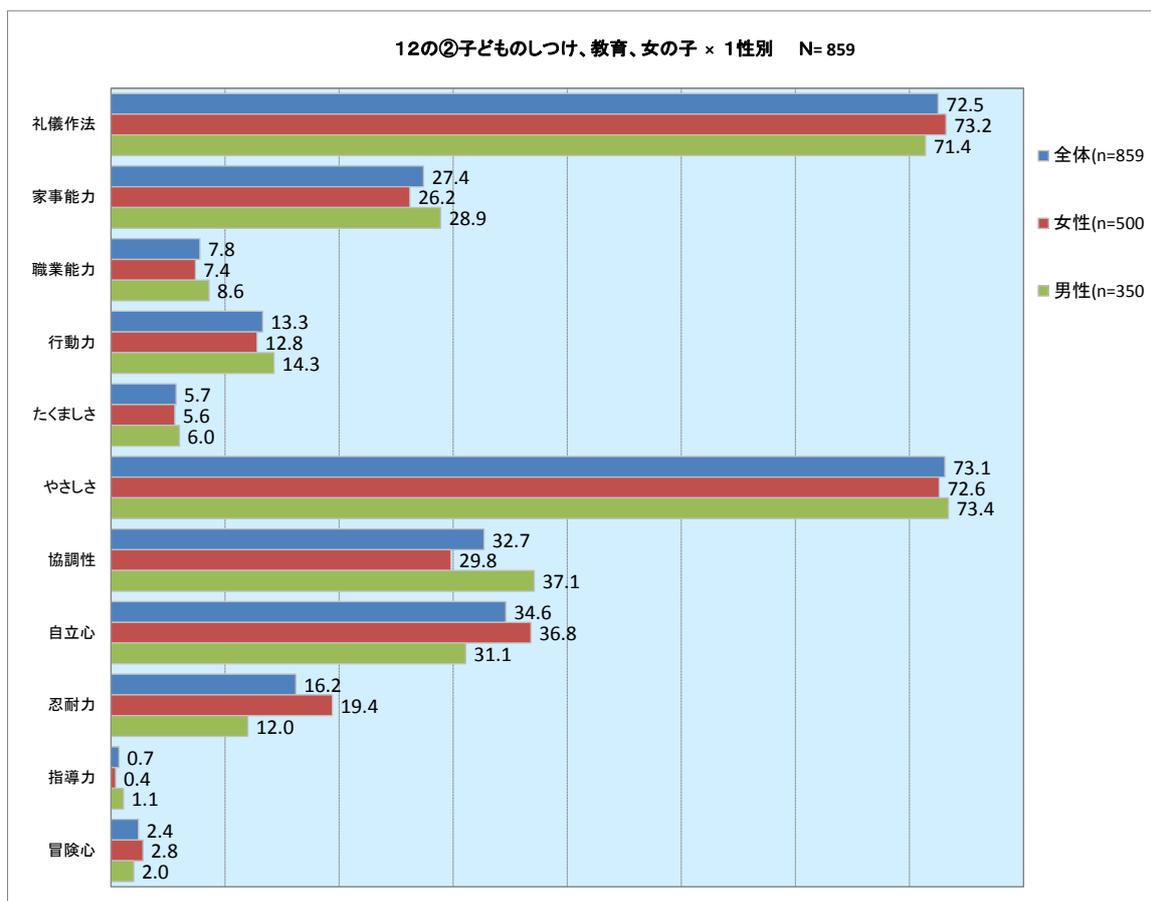
上段:度数 下段:%		12の①子どものしつけ、教育、男の子					
		合計	協調性	自立心	忍耐力	指導力	冒険心
1性別	全体	852	263	401	194	23	55
		—	30.9	47.1	22.8	2.7	6.5
	女性	491	129	240	125	15	38
		—	26.3	48.9	25.5	3.1	7.7
1性別	男性	353	132	157	68	7	17
		—	37.4	44.5	19.3	2.0	4.8
	答えたくない &不明	8	2	4	1	1	0
		—	25.0	50.0	12.5	12.5	0.0



12の②子どものしつけ、教育、女の子 × 1性別

上段:度数 下段:%		12の②子どものしつけ、教育、女の子						
		合計	礼儀作法	家事能力	職業能力	行動力	たくましさ	やさしさ
1性別	全体	859	623	235	67	114	49	628
	女性	500	366	131	37	64	28	363
	男性	350	250	101	30	50	21	257
	答えたくない &不明	9	7	3	0	0	0	8
		—	77.8	33.3	0.0	0.0	0.0	88.9

上段:度数 下段:%		12の②子どものしつけ、教育、女の子					
		合計	協調性	自立心	忍耐力	指導力	冒険心
1性別	全体	859	281	297	139	6	21
	女性	500	149	184	97	2	14
	男性	350	130	109	42	4	7
	答えたくない &不明	9	2	4	0	0	0
		—	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0



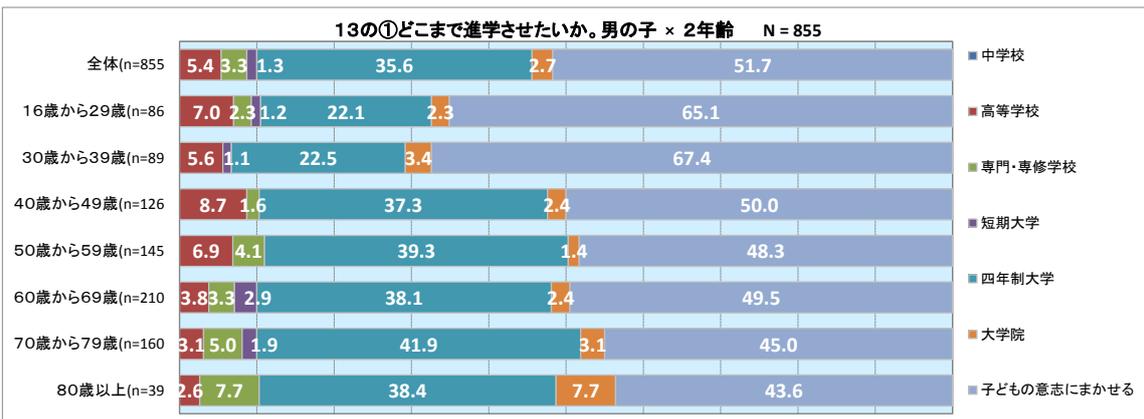
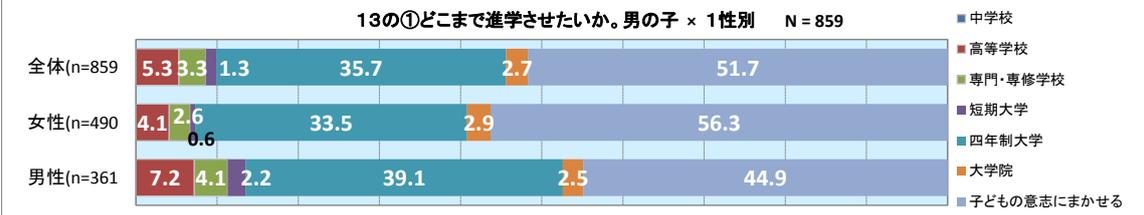
問13 あなたは自分の子どもを、どの学校まで進ませたいですか？子どもがいるいないに関わらずお答えください。

(回答は一つ)

13の①どこまで進学させたいか。男の子 × 1性別

上段:度数		13の①どこまで進学させたいか。男の子							
下段:%		合計	中学校	高等学校	専門・専修学校	短期大学	四年制大学	大学院	子どもの意志にまかせる
1性別	全体	859	0	46	28	11	307	23	444
		100.0	0.0	5.3	3.3	1.3	35.7	2.7	51.7
	女性	490	0	20	13	3	164	14	276
		100.0	0.0	4.1	2.6	0.6	33.5	2.9	56.3
男性	361	0	26	15	8	141	9	162	
	100.0	0.0	7.2	4.1	2.2	39.1	2.5	44.9	
答えたくない &不明	8	0	0	0	0	2	0	6	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	

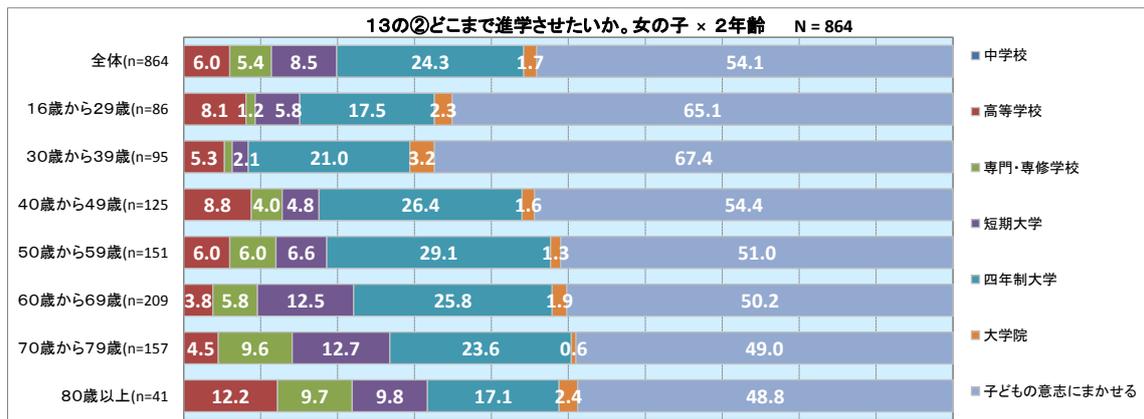
男の子に対しては、「四年生大学」と「子どもの意志にまかせる」を合わせると約8割で、最も高い割合を占めた。「子どもの意志にまかせる」は、次の「女の子」の場合と同様、女性に多い回答傾向が見られる。



13の②どこまで進学させたいか。女の子 × 1性別

上段:度数		13の②どこまで進学させたいか。女の子							
下段:%		合計	中学校	高等学校	専門・専修学校	短期大学	四年制大学	大学院	子どもの意志にまかせる
1性別	全体	868	0	52	48	73	210	15	470
		100.0	0.0	6.0	5.5	8.4	24.2	1.7	54.2
	女性	503	0	23	24	39	105	9	303
		100.0	0.0	4.6	4.8	7.7	20.9	1.8	60.2
男性	356	0	29	23	34	105	6	159	
	100.0	0.0	8.1	6.5	9.5	29.5	1.7	44.7	
答えたくない &不明	9	0	0	1	0	0	0	8	
	100.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	88.9	

「子どもの意志にまかせる」が全体で54.2%と最も高くなった。「四年生大学」については、前掲の「男の子」よりも、1ポイント程度低くなり、その分「短期大学」が7ポイント程度増えている。

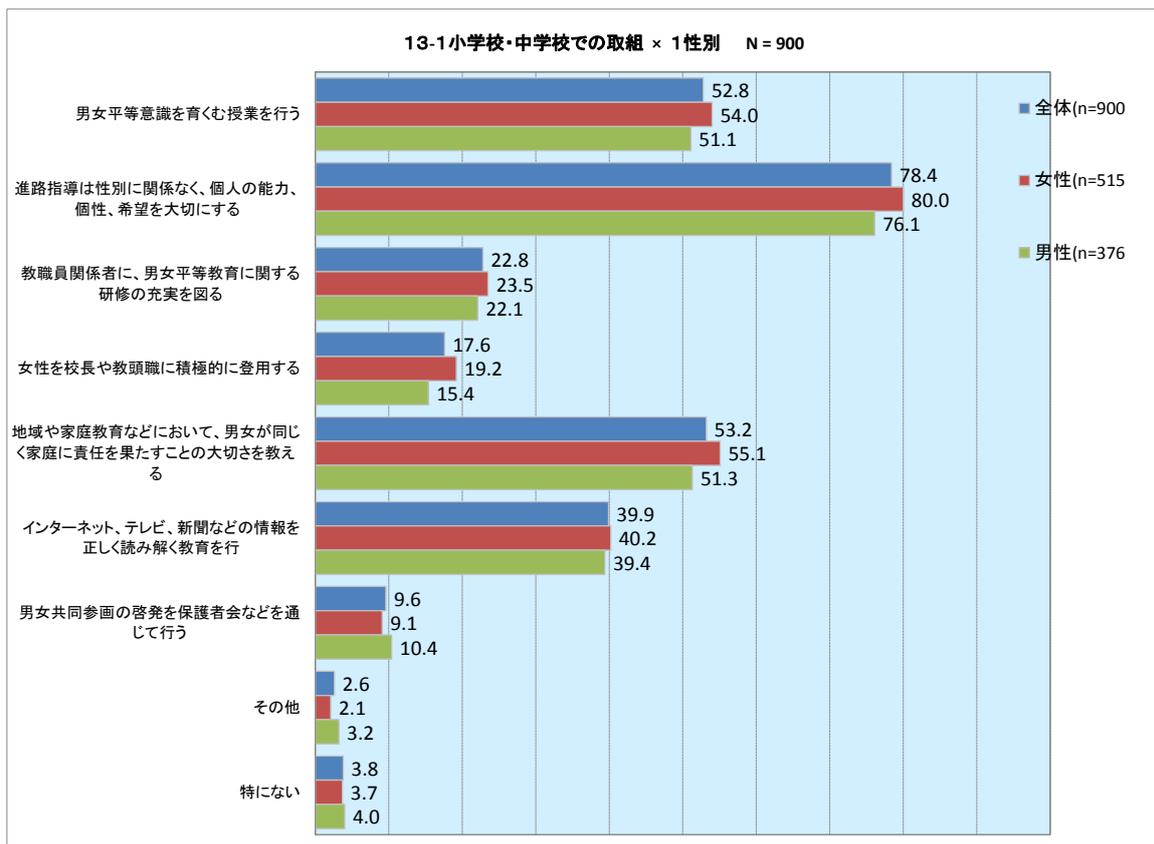


問13-1 男女共同参画社会を進めるために、小学校・中学校でどのような取組が必要だと思いますか。
(複数回答) 新規設問

「進路指導は性別に関係なく、個人の能力、個性、希望を大切にすることが78.4%と最も多く、次に「地域や家庭教育などにおいて、男女が同じく家庭に責任を果たすことの大切さを教える」、「男女平等意識を育む授業を行う」が多く過半数を超えている。

13-1 小学校・中学校での取組 × 1性別

上段:度数	13-1 小学校・中学校での取組										
	下段:%	合計	男女平等意識を育む授業を行う	進路指導は性別に関係なく、個人の能力、個性、希望を大切にすることが	教職員関係者に、男女平等教育に関する研修の充実を図る	女性を校長や教頭職に積極的に登用する	地域や家庭教育などにおいて、男女が同じく家庭に責任を果たすことの大切さを教える	インターネット、テレビ、新聞などの情報を正しく読み解く教育を行う	男女共同参画の啓発を保護者会などを通じて行う	その他	特になし
1性別	全体	900	475	706	205	158	479	359	86	23	34
		—	52.8	78.4	22.8	17.6	53.2	39.9	9.6	2.6	3.8
	女性	515	278	412	121	99	284	207	47	11	19
		—	54.0	80.0	23.5	19.2	55.1	40.2	9.1	2.1	3.7
	男性	376	192	286	83	58	193	148	39	12	15
	—	51.1	76.1	22.1	15.4	51.3	39.4	10.4	3.2	4.0	
答えたくない & 不明	9	5	8	1	1	2	4	0	0	0	
	—	55.6	88.9	11.1	11.1	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	

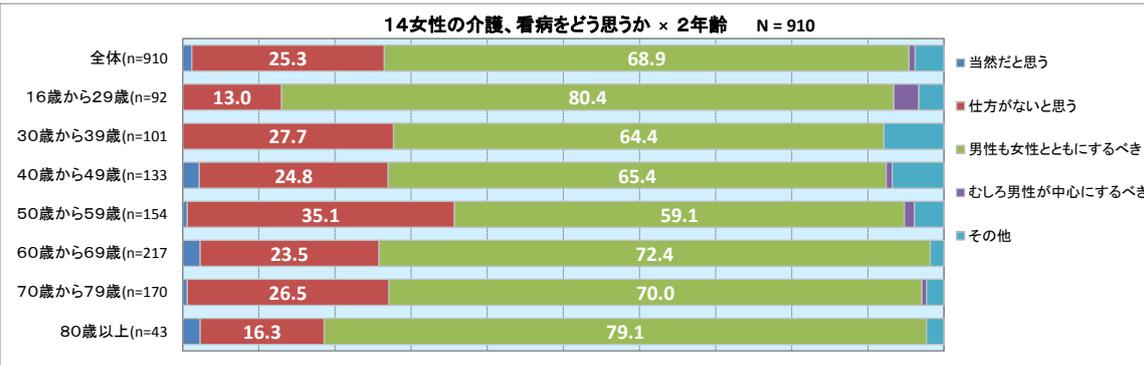
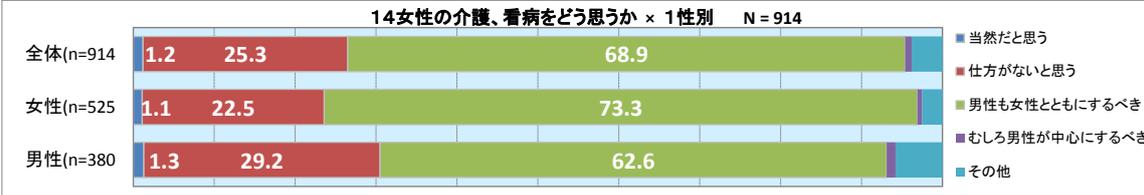


問14 現在、家庭で介護・看病を女性がすることの多い現状について、あなたはどのように思いますか？（回答は一つ）

14女性の介護、看病をどう思うか × 1性別

上段:度数 下段:%		14女性の介護、看病をどう思うか					
		合計	当然だと思う	仕方がないと思う	男性も女性とともにするべき	むしろ男性が中心にするべき	その他
1性別	全体	914 100.0	11 1.2	231 25.3	630 68.9	7 0.8	35 3.8
	女性	525 100.0	6 1.1	118 22.5	385 73.3	3 0.6	13 2.5
	男性	380 100.0	5 1.3	111 29.2	238 62.6	4 1.1	22 5.8
	答えたくない&不明	9 100.0	0 0.0	2 22.2	7 77.8	0 0.0	0 0.0

家庭で介護・看病を女性がすることの多い現状については、全体で「当然だと思う」が1.2%、「仕方がないと思う」が25.3%の結果となった。「仕方がないと思う」割合は、男性の方が6.7ポイント高い結果となった。

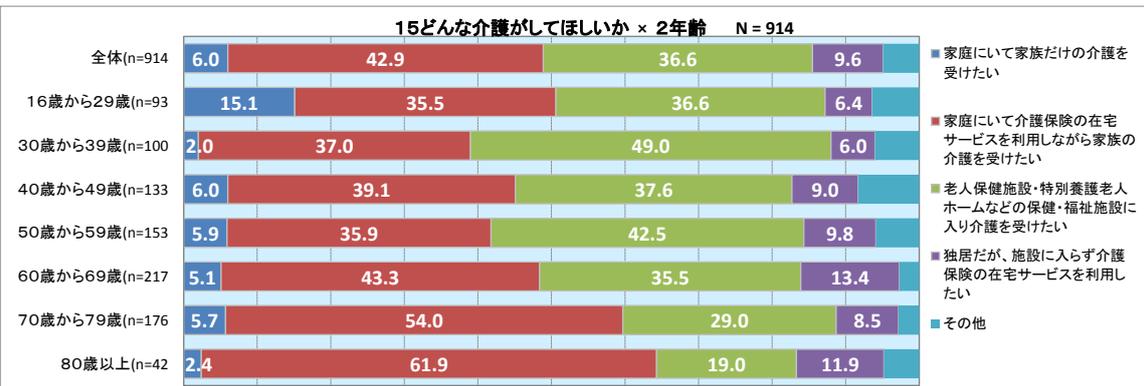
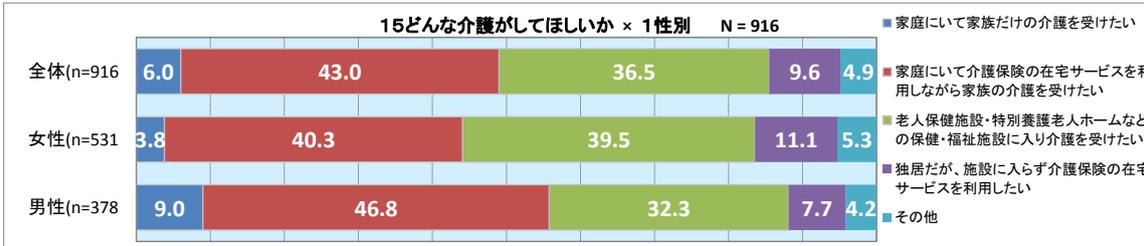


問15 あなた自身に介護が必要になった場合、どんな介護をしてほしいですか？（回答は一つ）

15どんな介護がしてほしいか × 1性別

上段:度数 下段:%		15どんな介護がしてほしいか					
		合計	家庭において家族だけの介護を受けたい	家庭において介護保険の在宅サービスを利用しながら家族の介護を受けたい	老人保健施設・特別養護老人ホームなどの保健・福祉施設に入り介護を受けたい	独居だが、施設に入らず介護保険の在宅サービスを利用したい	その他
1性別	全体	916 100.0	55 6.0	394 43.0	334 36.5	88 9.6	45 4.9
	女性	531 100.0	20 3.8	214 40.3	210 39.5	59 11.1	28 5.3
	男性	378 100.0	34 9.0	177 46.8	122 32.3	29 7.7	16 4.2
	答えたくない&不明	7 100.0	1 14.3	3 42.8	2 28.6	0 0.0	1 14.3

どんな介護をしてほしいかについては、「家庭において介護保険の在宅サービスを利用しながら家族の介護を受けたい」が全体で43%となりました。

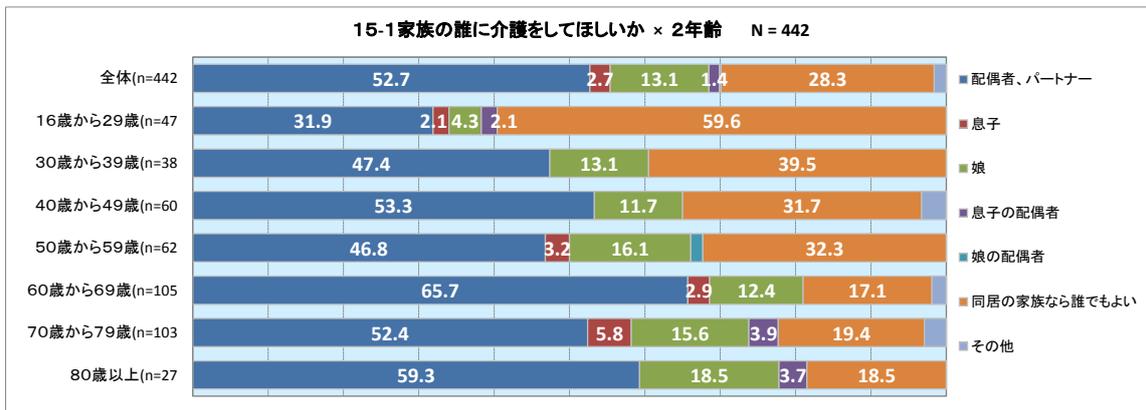
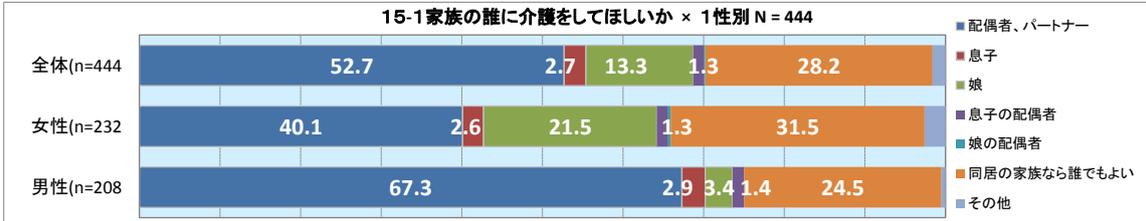


問15-1 家族の誰に介護をしてもらいたいですか？（回答は一つ）

家族で介護を受ける場合、「配偶者、パートナー」から介護を受けたいが全体で52.7%と最も多い結果となった。特に男性は62.9%で、女性の37.8%を大きく越えている。女性の場合は、娘から介護を受けたいが約2割、「同居の家族なら誰でもよい」が約3割となった。

15-1 家族の誰に介護をしてほしいか × 1性別

上段:度数 下段:%		15-1 家族の誰に介護をしてほしいか							
		合計	配偶者、 パートナー	息子	娘	息子の配 偶者	娘の配偶 者	同居の家 族なら誰で もよい	その他
1性別	全体	444 100.0	234 52.7	12 2.7	59 13.3	6 1.3	1 0.2	125 28.2	7 1.6
	女性	232 100.0	93 40.1	6 2.6	50 21.5	3 1.3	1 0.4	73 31.5	6 2.6
	男性	208 100.0	140 67.3	6 2.9	7 3.4	3 1.4	0 0.0	51 24.5	1 0.5
	答えたくない &不明	4 100.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

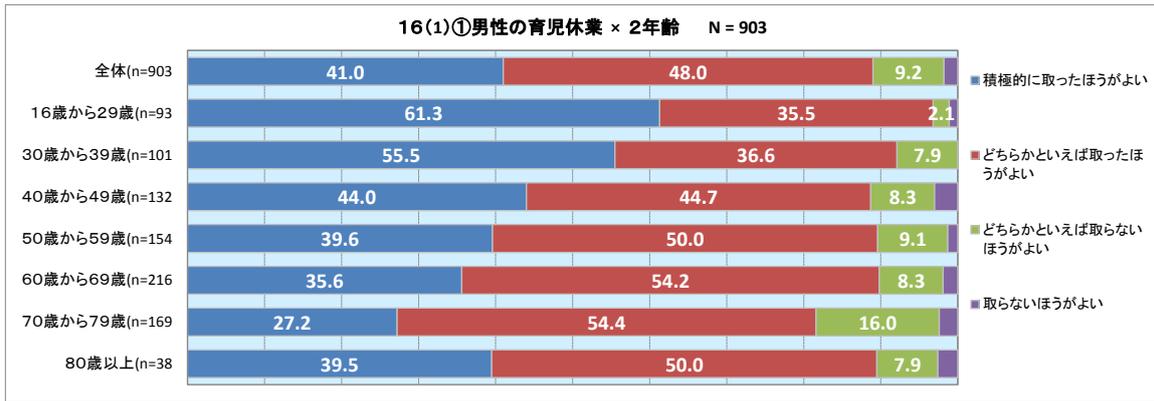
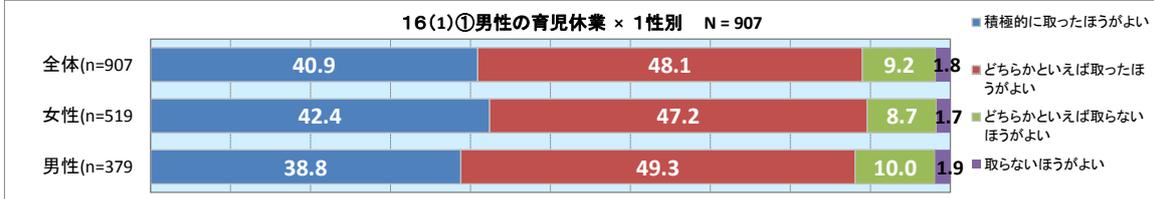


問16(1) あなたは、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどう思いますか？（回答は一つ）

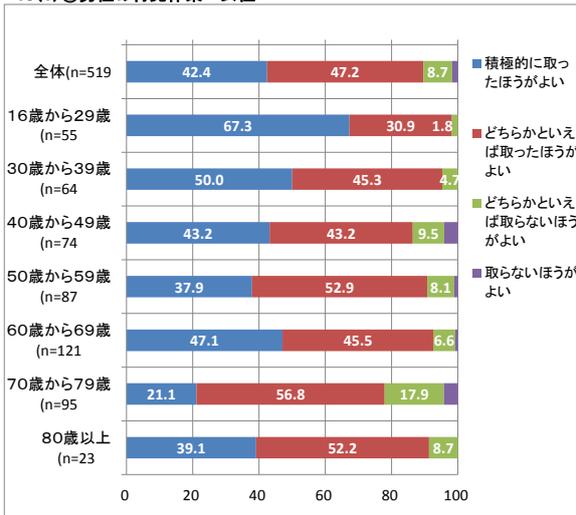
16(1)①男性の育児休業 × 1性別

上段:度数 下段:%		16(1)①男性の育児休業				
		合計	積極的に取ったほうがよい	どちらかといえば取ったほうがよい	どちらかといえば取らないほうがよい	取らないほうがよい
1性別	全体	907 100.0	371 40.9	436 48.1	84 9.2	16 1.8
	女性	519 100.0	220 42.4	245 47.2	45 8.7	9 1.7
	男性	379 100.0	147 38.8	187 49.3	38 10.0	7 1.9
	答えたくない&不明	9 100.0	4 44.4	4 44.4	1 11.2	0 0.0

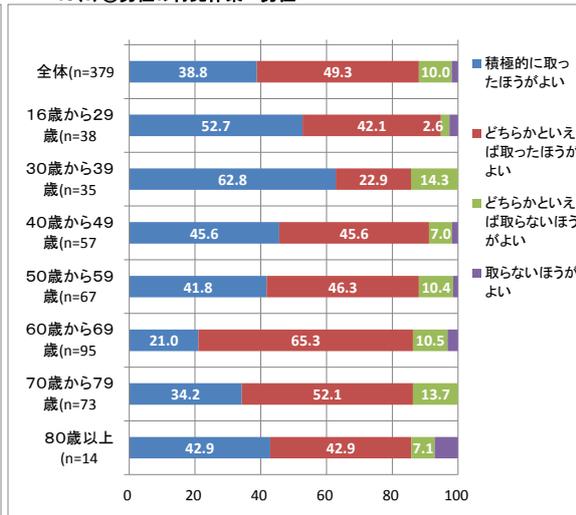
男性の育児休業については、「積極的に取ったほうがよい」が全体で40.9%で、「どちらかといえば取らないほうがよい」が9.2%、「どちらかといえば取ったほうがよい」が48.1%、「取らないほうがよい」は1.8%見られる。性別による意識の差は、ほとんど見られない。



16(1)①男性の育児休業 女性



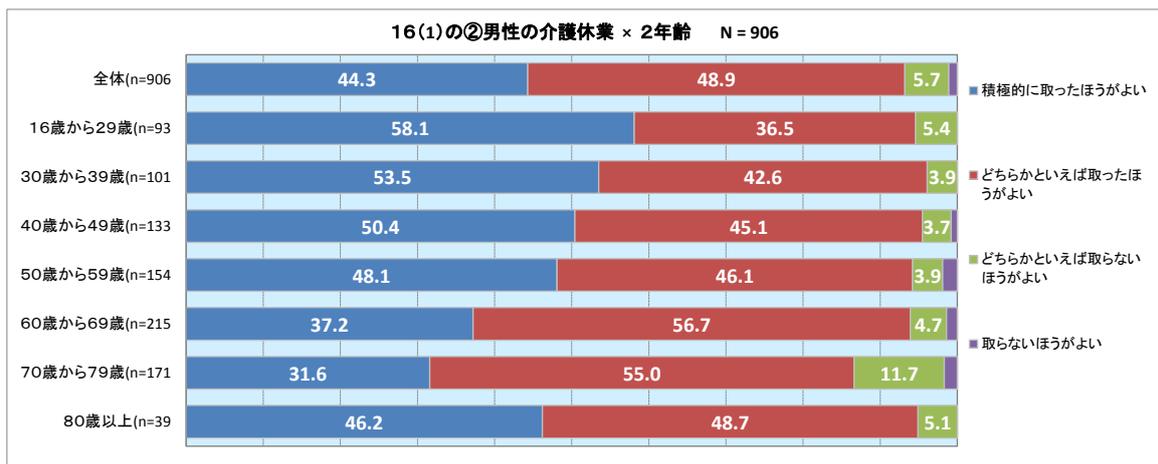
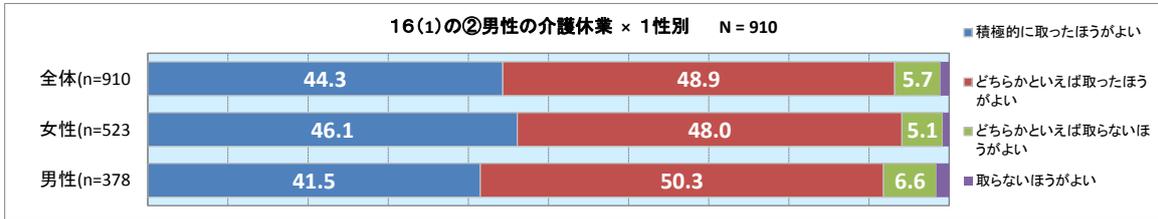
16(1)①男性の育児休業 男性



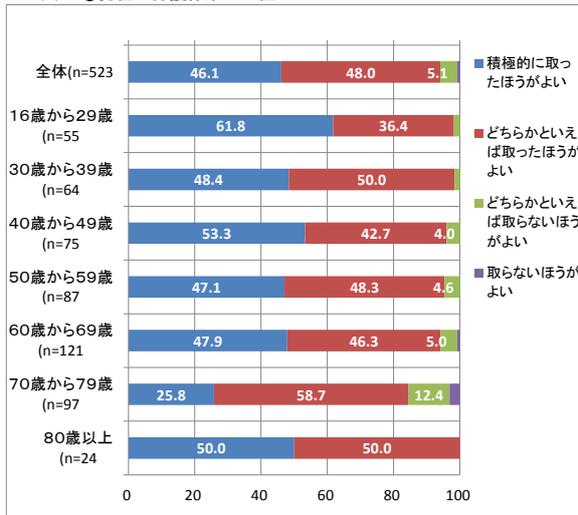
16(1)の②男性の介護休業 × 1性別

上段:度数 下段:%		16(1)の②男性の介護休業				
		合計	積極的に 取ったほう がよい	どちらか といえど 取ったほう がよい	どちらか といえど 取らないほう がよい	取らない ほうがよい
1性別	全体	910	403	445	52	10
		100.0	44.3	48.9	5.7	1.1
	女性	523	241	251	27	4
		100.0	46.1	48.0	5.1	0.8
	男性	378	157	190	25	6
		100.0	41.5	50.3	6.6	1.6
	答えたくない & 不明	9	5	4	0	0
		100.0	55.6	44.4	0.0	0.0

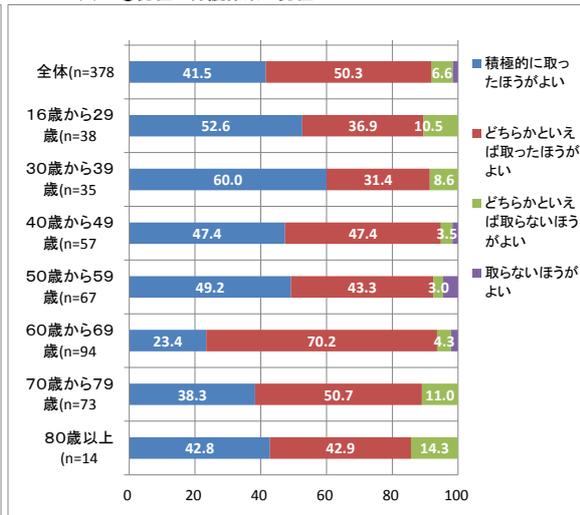
男性の介護休業については、「積極的に取ったほうがよい」が全体で44.3%で、「どちらかといえど取らないほうがよい」が48.9%、「取らないほうがよい」は1.1%見られる。性別による意識の差は、ほとんど見られない。



16(1)の②男性の介護休業 女性



16(1)の②男性の介護休業 男性

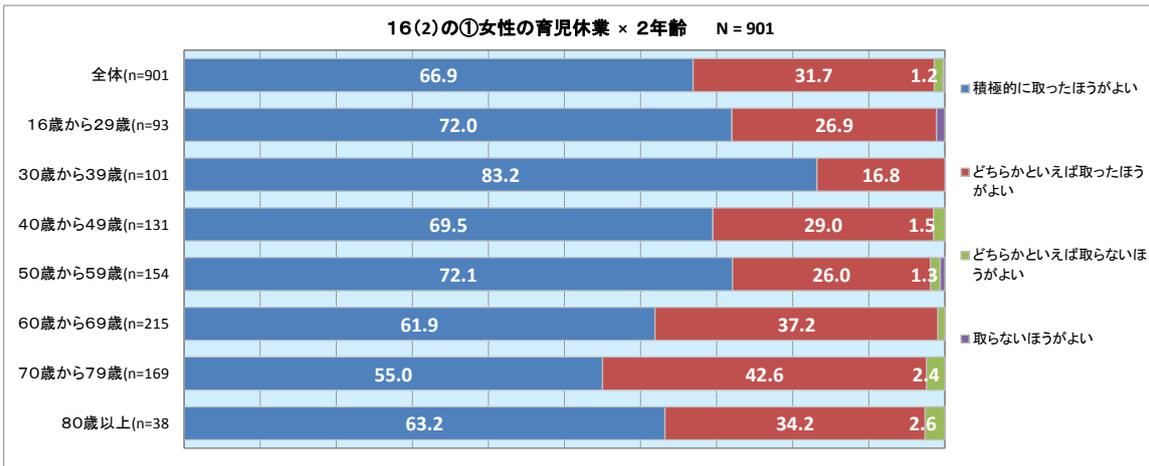
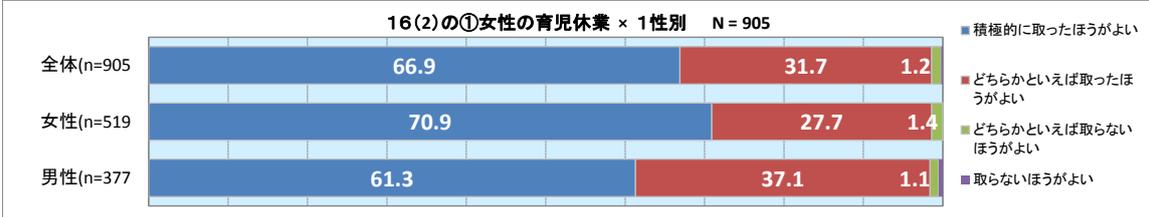


問16(2) あなたは、女性が育児休業や介護休業を取得することについてどう思いますか？（回答は一つ）

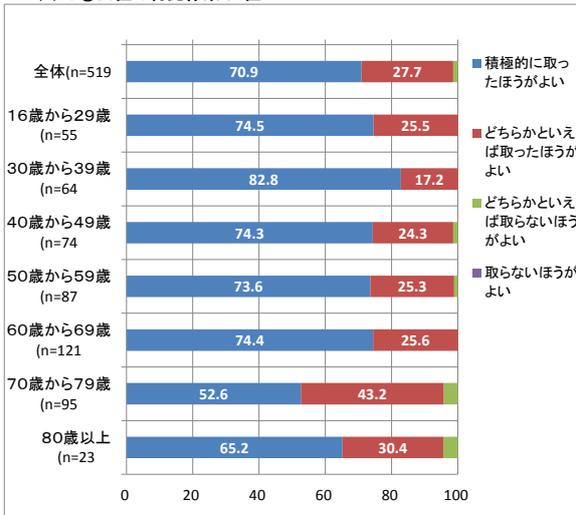
16(2)の①女性の育児休業 × 1性別

上段:度数 下段:%		16(2)の①女性の育児休業				
		合計	積極的に取ったほうがよい	どちらかといえば取ったほうがよい	どちらかといえば取らないほうがよい	取らないほうがよい
1性別	全体	905 100.0	605 66.9	287 31.7	11 1.2	2 0.2
	女性	519 100.0	368 70.9	144 27.7	7 1.4	0 0.0
	男性	377 100.0	231 61.3	140 37.1	4 1.1	2 0.5
	答えたくない &不明	9 100.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0	0 0.0

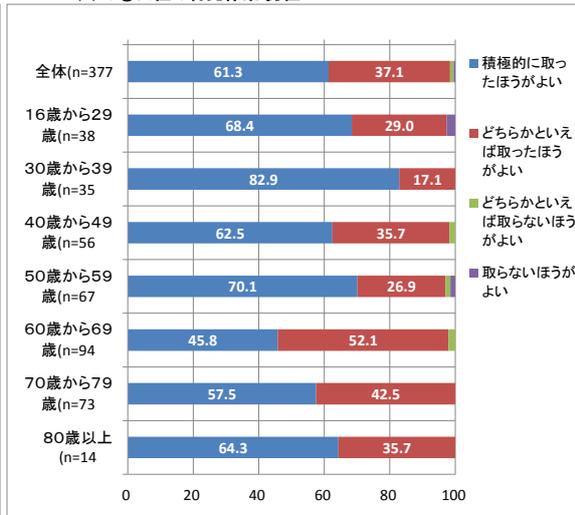
女性の育児休業については、「積極的に取ったほうがよい」が全体で66.9%で「どちらかといえば取ったほうがよい」を合わせると98.6%となる。



16(2)の①女性の育児休業 女性



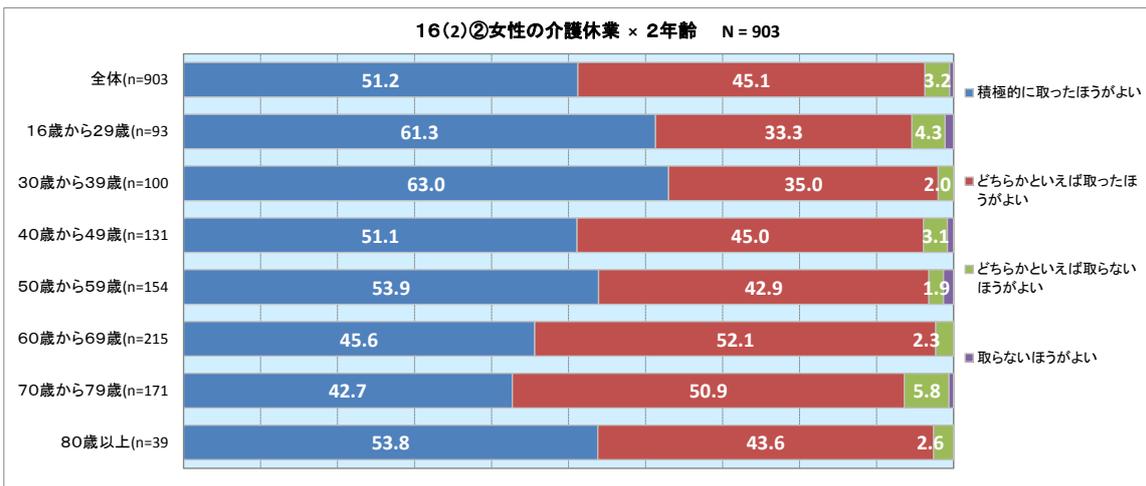
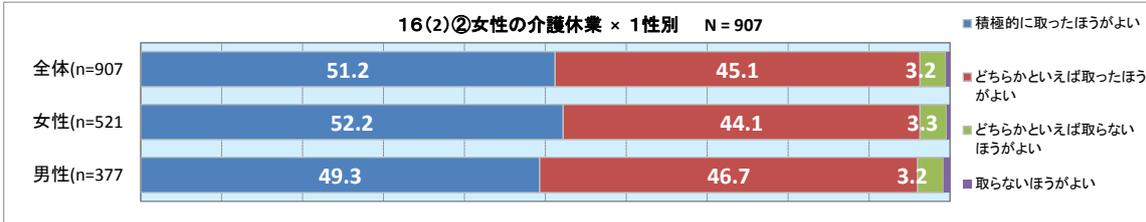
16(2)の①女性の育児休業 男性



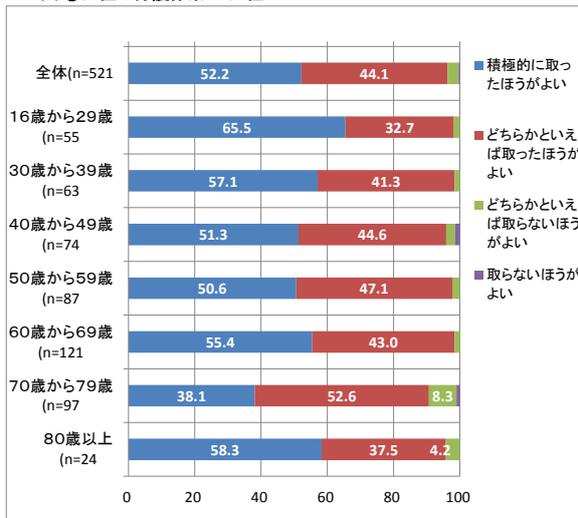
16(2)②女性の介護休業 × 1性別

上段:度数 下段:%		16(2)②女性の介護休業				
		合計	積極的に 取ったほう がよい	どちらか といえど取 ったほう がよい	どちらか といえど取 らないほう がよい	取らない ほうがよ い
1性別	全体	907 100.0	464 51.2	409 45.1	29 3.2	5 0.5
	女性	521 100.0	272 52.2	230 44.1	17 3.3	2 0.4
	男性	377 100.0	186 49.3	176 46.7	12 3.2	3 0.8
	答えた くない &不明	9 100.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0	0 0.0

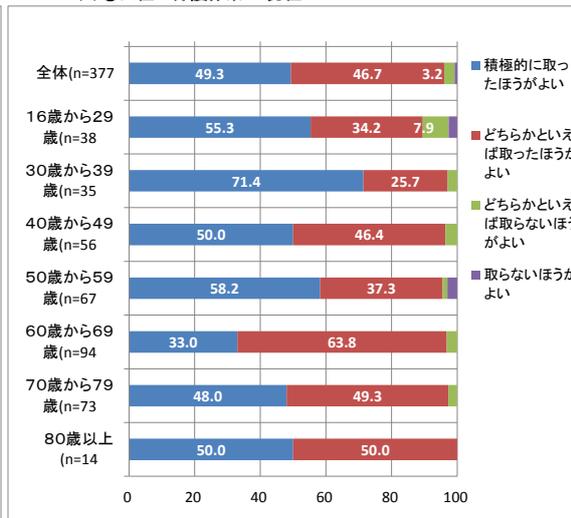
女性の介護休業については、「積極的に取ったほうがよい」が全体で51.2%で「どちらかといえど取ったほうがよい」を合わせると96.3%となる。なお、それほど顕著な性別による意識の差は見られない。



16(2)②女性の介護休業 女性



16(2)②女性の介護休業 男性



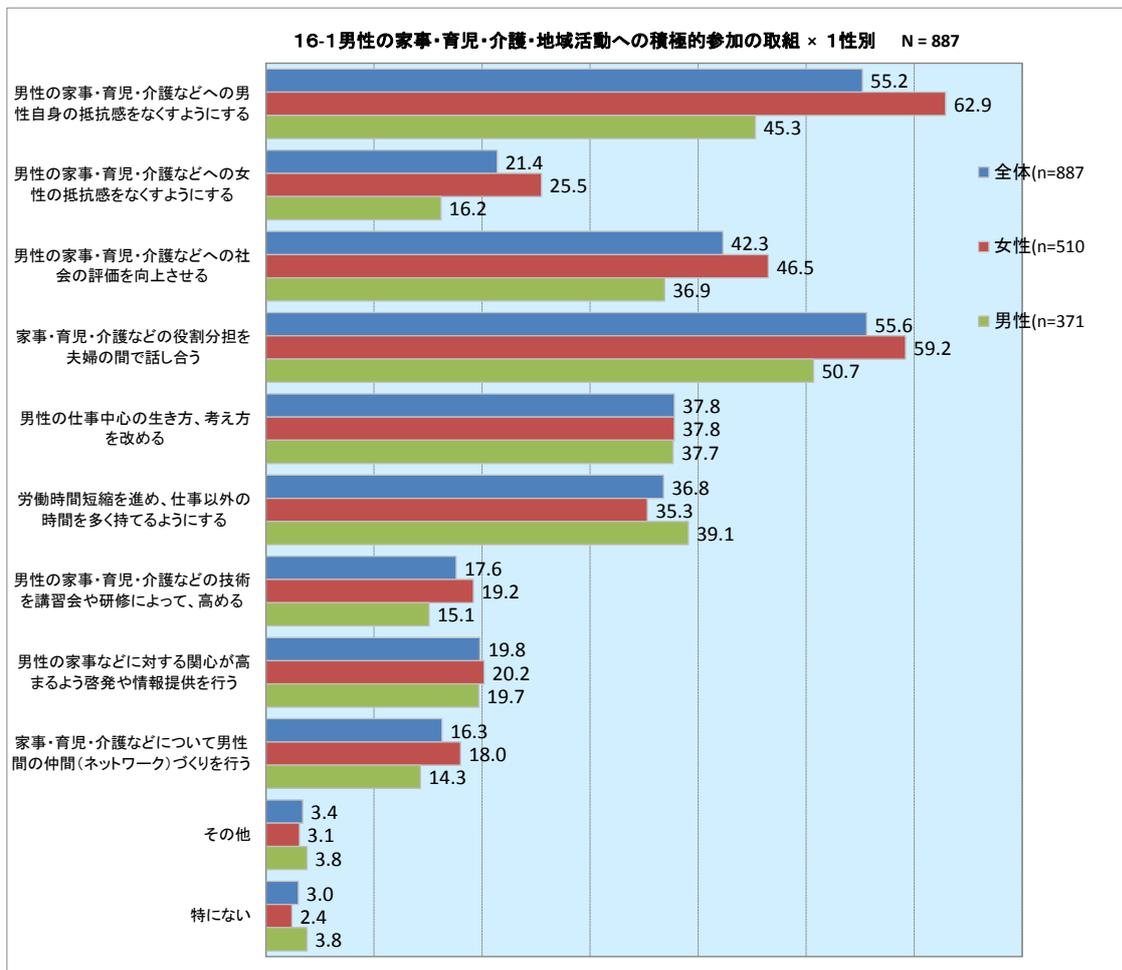
問16-1 あなたは、今後、男性が家事・育児・介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答） 新規設問

「家事・育児・介護などの役割分担を夫婦の間で話し合う」が55.6%、「男性の家事・育児・介護などへの男性自身の抵抗感をなくすようにする」が55.2%と多く、次いで「男性の家事・育児・介護などへの社会の評価を向上させる」「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」が続いている。

16-1 男性の家事・育児・介護、地域活動への積極的参加の取組 × 1性別

上段:度数	下段:%	16-1 男性の家事・育児・介護、地域活動への積極的参加の取組										
		合計	男性の家事・育児・介護などへの男性自身の抵抗感をなくすようにする	男性の家事・育児・介護などへの女性の抵抗感をなくすようにする	男性の家事・育児・介護などへの社会の評価を向上させる	家事・育児・介護などの役割分担を夫婦の間で話し合う	男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	労働時間短縮を進め、仕事以外の時間を多く持てるようにする	男性の家事・育児・介護などの技術を講習会や研修によって、高める	男性の家事などに対する関心が高まるよう啓発や情報提供を行う	家事・育児・介護などについて男性間の仲間(ネットワーク)づくりを行う	
1性別	全体	887	490	190	375	493	335	326	156	176	145	
		—	55.2	21.4	42.3	55.6	37.8	36.8	17.6	19.8	16.3	
	女性	510	321	130	237	302	193	180	98	103	92	
		—	62.9	25.5	46.5	59.2	37.8	35.3	19.2	20.2	18.0	
	男性	371	168	60	137	188	140	145	56	73	53	
	—	45.3	16.2	36.9	50.7	37.7	39.1	15.1	19.7	14.3		
	答えたくない&不明	6	1	0	1	3	2	1	2	0	0	
		—	16.7	0.0	16.7	50.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	

		合計	その他	特にない
1性別	全体	887	30	27
		—	3.4	3.0
	女性	510	16	12
		—	3.1	2.4
	男性	371	14	14
	—	3.8	3.8	
	答えたくない&不明	6	0	1
		—	0.0	16.7

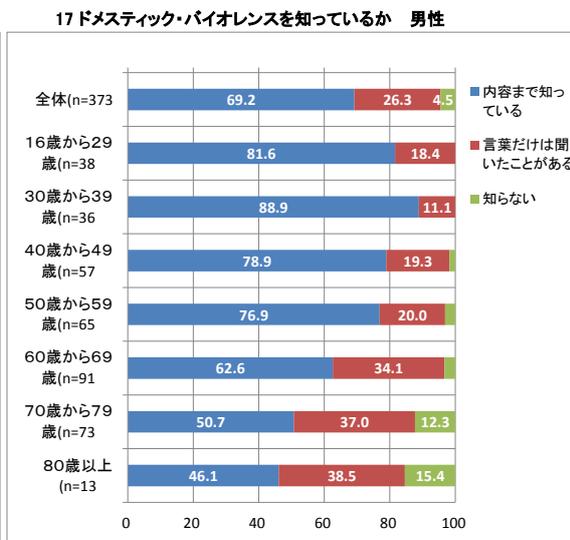
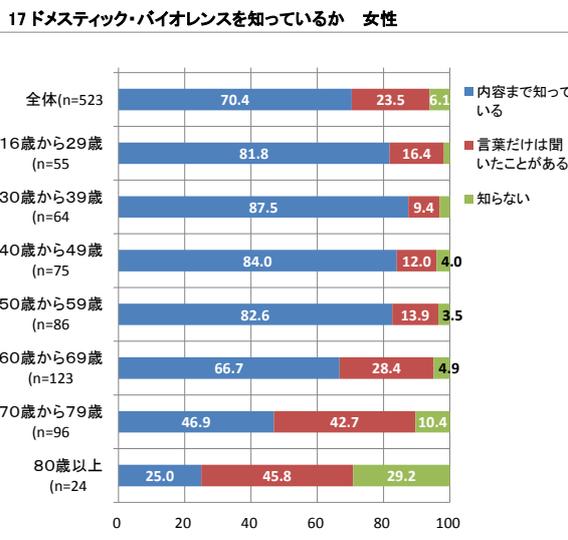
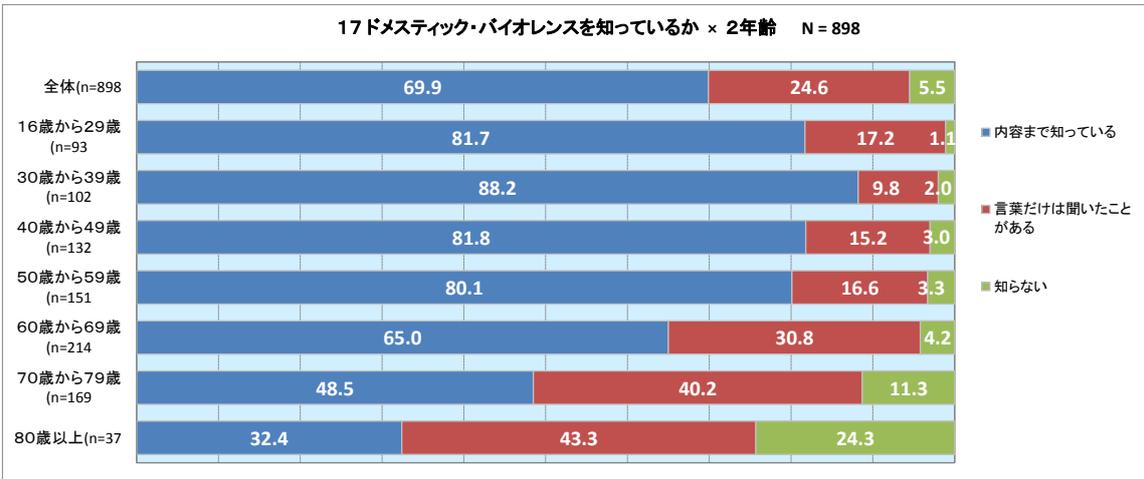
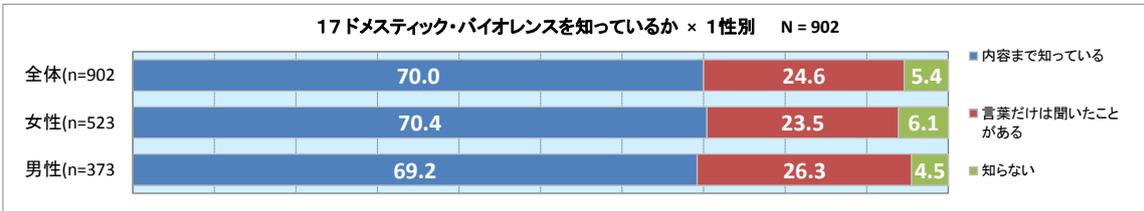


◆ 異性に対する暴力について

問17 あなたは、ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントについて知っていますか？（回答は一つ）

上段:度数 下段:%		17ドメスティック・バイオレンスを知っているか			
		合計	内容まで知っている	言葉だけは聞いたことがある	知らない
1性別	全体	902 100.0	631 70.0	222 24.6	49 5.4
	女性	523 100.0	368 70.4	123 23.5	32 6.1
	男性	373 100.0	258 69.2	98 26.3	17 4.5
	答えたくない & 不明	6 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0

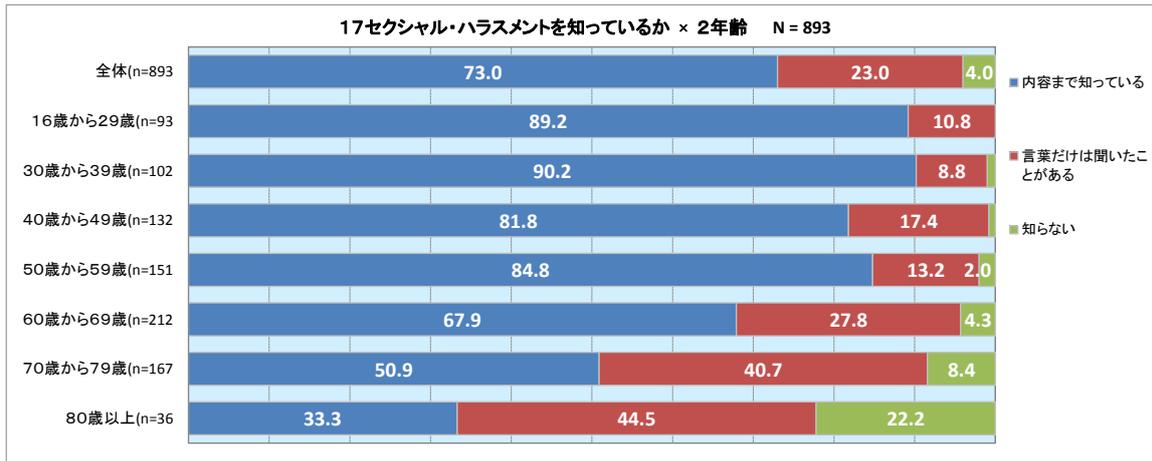
ドメスティック・バイオレンスについては、「内容まで知っている」が男女ともに6割を超えている。



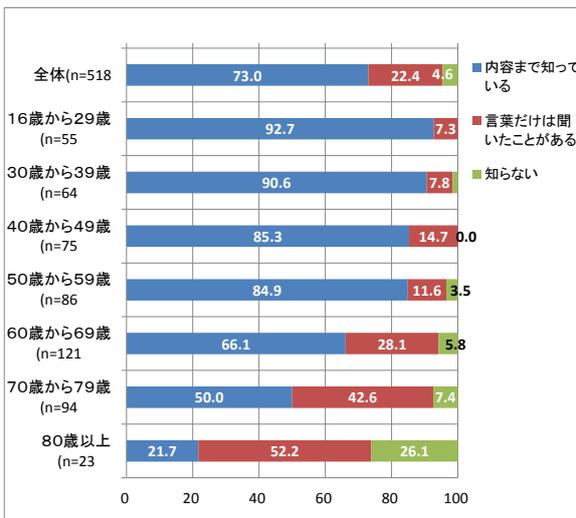
17 セクシャル・ハラスメントを知っているか × 1性別

上段:度数 下段:%		17 セクシャル・ハラスメントを知っているか			
		合計	内容まで知っている	言葉だけは聞いたことがある	知らない
1性別	全体	897 100.0	655 73.0	206 23.0	36 4.0
	女性	518 100.0	378 73.0	116 22.4	24 4.6
	男性	373 100.0	272 72.9	89 23.9	12 3.2
	答えたくない & 不明	6 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0

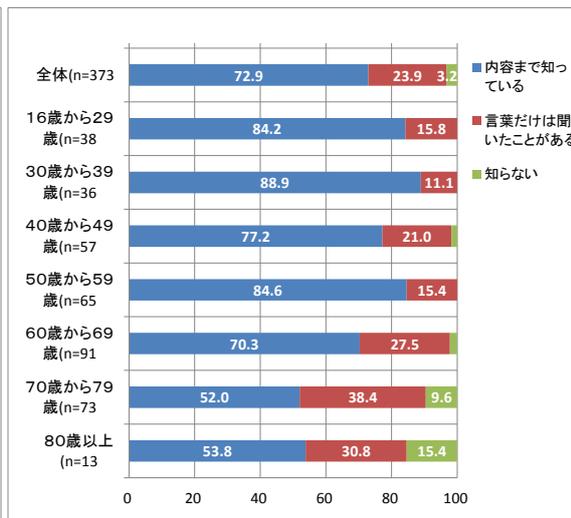
セクシュアル・ハラスメントについては、「内容まで知っている」が男女ともに7割を超えている。



17 セクシャル・ハラスメントを知っているか 女性



17 セクシャル・ハラスメントを知っているか 男性

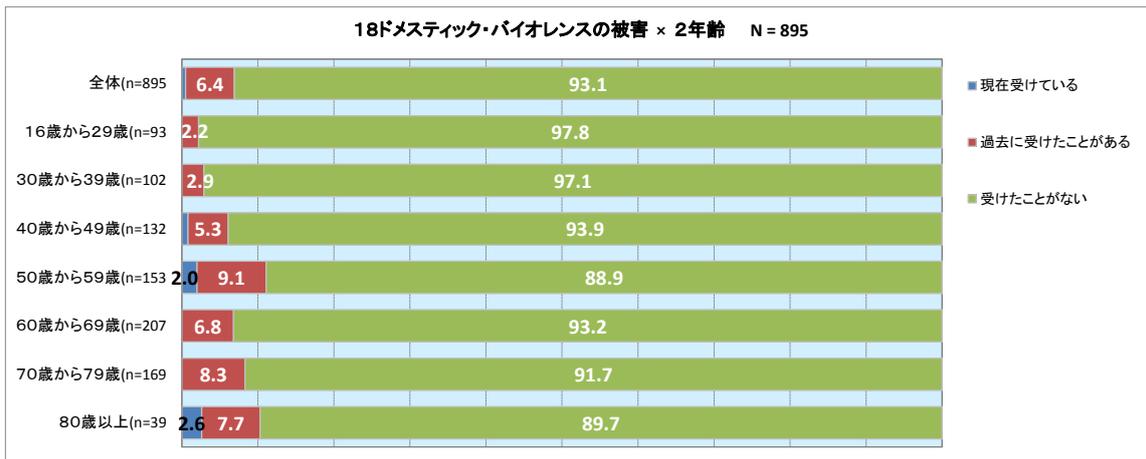
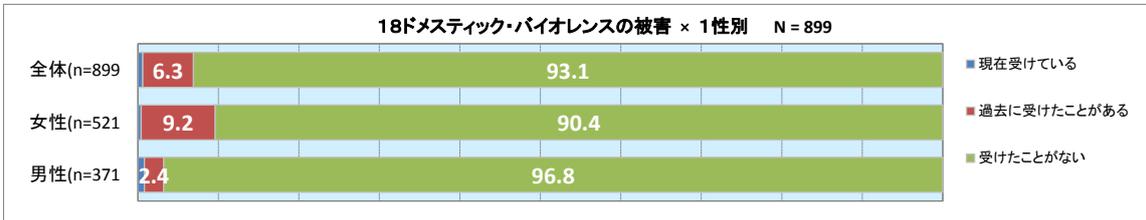


問18 あなたは、配偶者や親しい異性(恋人等)から、ドメスティック・バイオレンスを受けたことがありますか？
(回答は一つ)

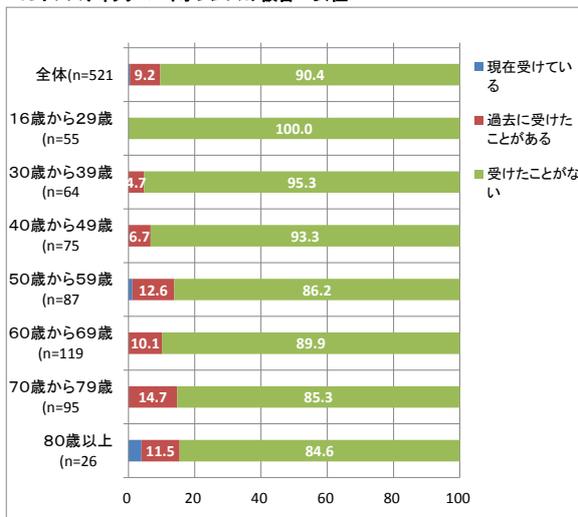
18ドメスティック・バイオレンスの被害 × 1性別

上段:度数 下段:%		18ドメスティック・バイオレンスの被害			
		合計	現在受けている	過去に受けたことがある	受けたことがない
1性別	全体	899 100.0	5 0.6	57 6.3	837 93.1
	女性	521 100.0	2 0.4	48 9.2	471 90.4
	男性	371 100.0	3 0.8	9 2.4	359 96.8
	答えたくない & 不明	7 100.0	0 0.0	0 0.0	7 100.0

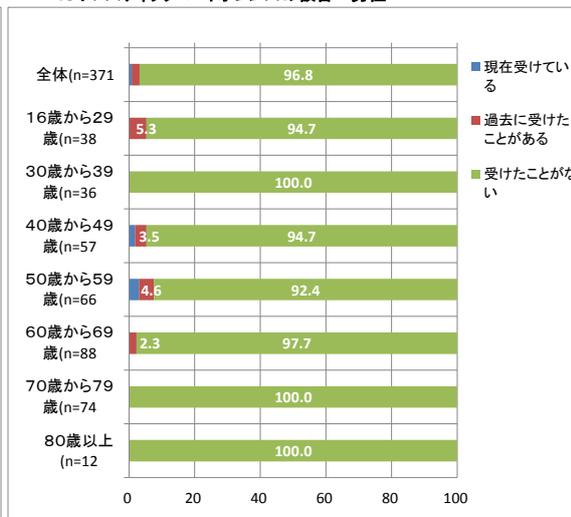
女性では、1割近くが「過去に受けたことがある」と回答されている。男性についても、「現在受けている」が0.8%、「過去に受けたことがある」が2%となっている。



18ドメスティック・バイオレンスの被害 女性



18ドメスティック・バイオレンスの被害 男性



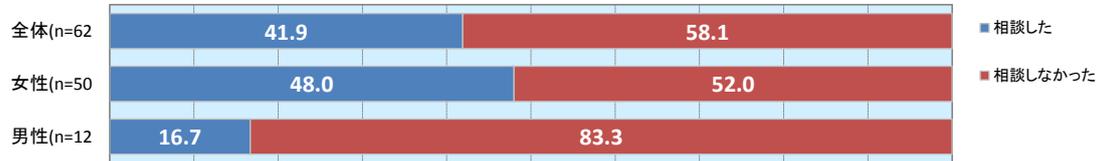
問18-1 ドメスティック・バイオレンスを受けたことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか？（回答は一つ）

18-1 ドメスティック・バイオレンスの相談 × 1性別

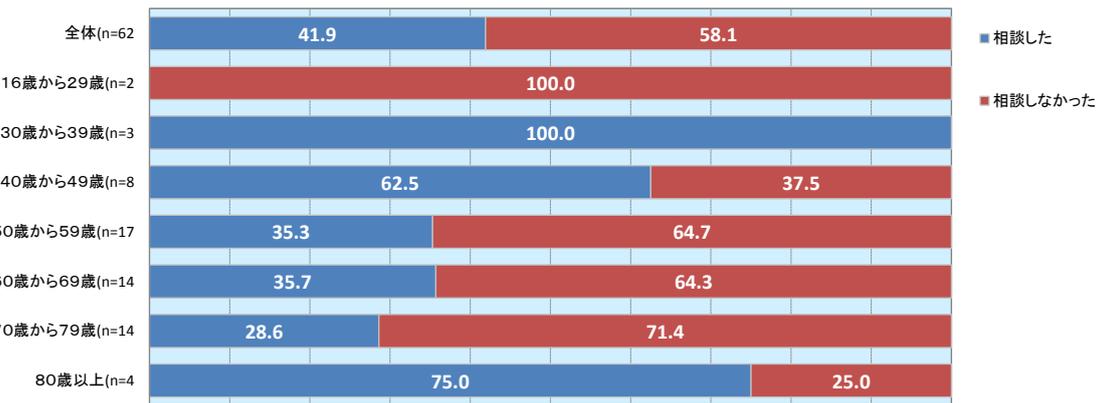
上段:度数		18-1ドメスティック・バイオレンスの相談		
下段:%		合計	相談した	相談しなかった
1性別	全体	62	26	36
		100.0	41.9	58.1
	女性	50	24	26
		100.0	48.0	52.0
	男性	12	2	10
		100.0	16.7	83.3
	答えたくない&不明	0	0	0
		0.0	0.0	0.0

「現在ドメスティック・バイオレンスを受けている」または「過去に受けたことがある」場合、「相談した」よりも、「相談しなかった」が、わずかに多くなった。半数以上の人は、打ち明けたり、相談したりしていない。

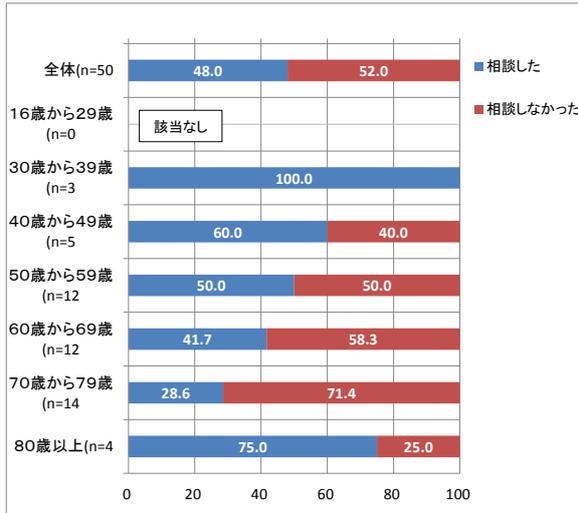
18-1ドメスティック・バイオレンスの相談 × 1性別 N = 62



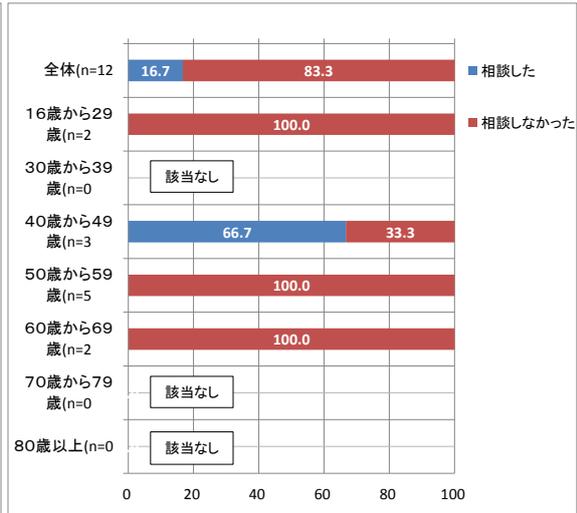
18-1ドメスティック・バイオレンスの相談 × 2年齢 N = 62



18-1 ドメスティック・バイオレンスの相談 女性



18-1 ドメスティック・バイオレンスの相談 男性

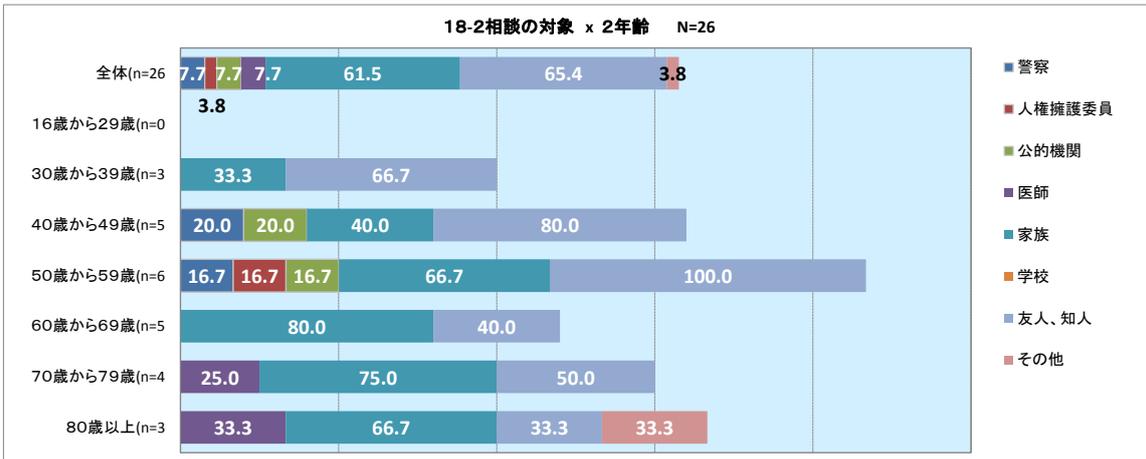


問18-2 誰(どこ)に相談しましたか？(複数回答可)

18-2 相談の対象 × 1性別

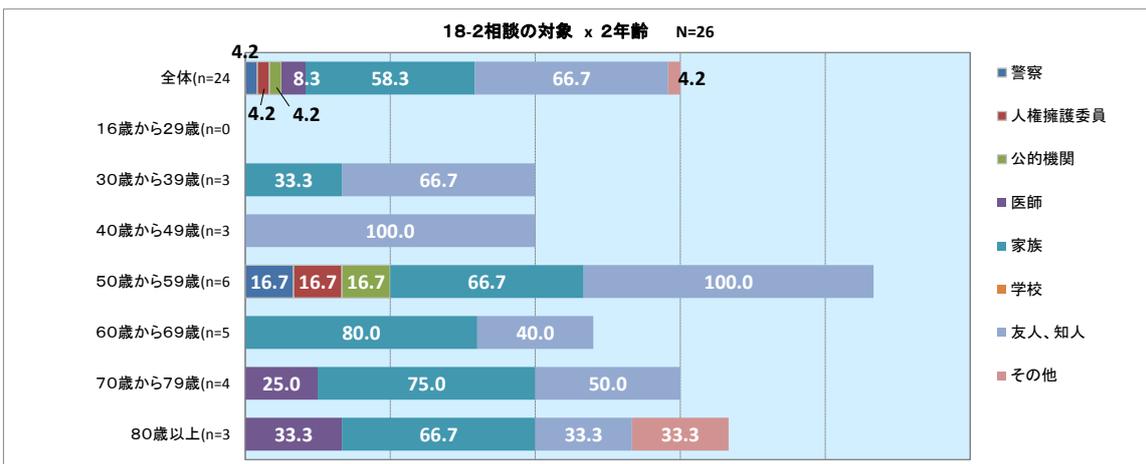
上段:度数 下段:%		18-2 相談の対象								
		合計	警察	人権擁護委員 (法務局、人権窓口 相談含む)	公的機関	医師	家族	学校	友人、知人	その他
1性別	全体	26	2	1	2	2	16	0	17	1
		—	7.7	3.8	7.7	7.7	61.5	0.0	65.4	3.8
	女性	24	1	1	1	2	14	0	16	1
		—	4.2	4.2	4.2	8.3	58.3	0.0	66.7	4.2
	男性	2	1	0	1	0	2	0	1	0
		—	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
	答えたくない &不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

家族や友人、知人など、身近な人に相談した割合が高くなっている。



18-2 相談の対象 女性

※「相談の対象 男性」グラフは、n数が少ない(n=2)ため表示を省略する

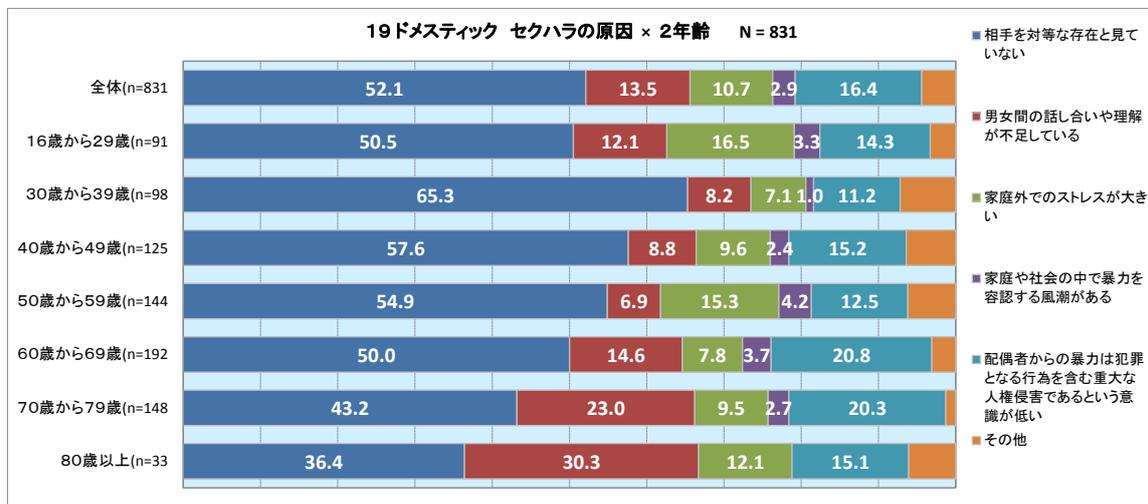
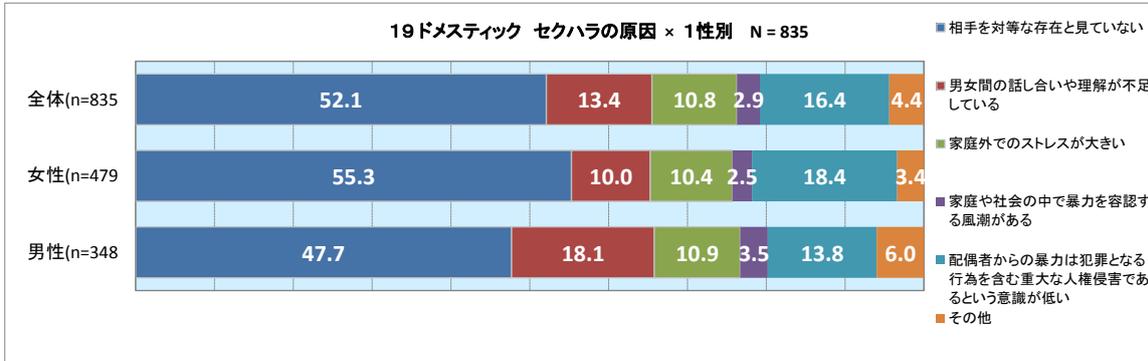


問19 ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントの起こる原因は、どこにあると思いますか？
(回答は一つ)

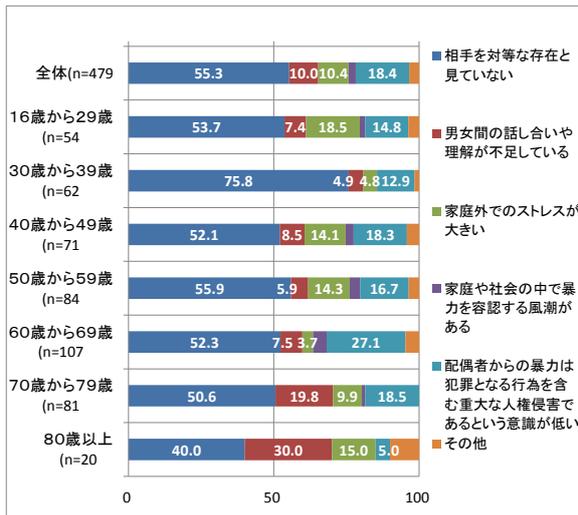
19 DV/セクハラの原因 × 1性別

上段:度数		19 DV/セクハラの原因						
下段:%		合計	相手を対等な存在と見ていない	男女間の話し合いや理解が不足している	家庭外でのストレスが大きい	家庭や社会の中で暴力を容認する風潮がある	配偶者からの暴力は犯罪となる行為を含む重大な人権侵害であるという意識が低い	その他
1性別	全体	835	435	112	90	24	137	37
		100.0	52.1	13.4	10.8	2.9	16.4	4.4
	女性	479	265	48	50	12	88	16
		100.0	55.3	10.0	10.4	2.5	18.4	3.4
男性	348	166	63	38	12	48	21	
	100.0	47.7	18.1	10.9	3.5	13.8	6.0	
答えたくない&不明	8	4	1	2	0	1	0	
	100.0	50.0	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	

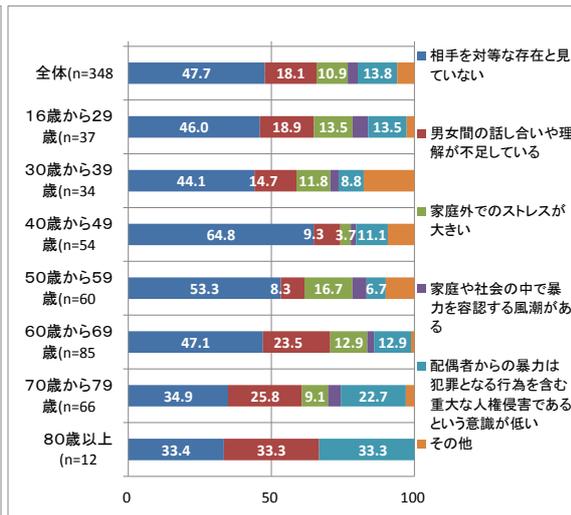
ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントの起こる原因としては、「相手を対等な存在と見ていない」が最も多く、半数を超えている。



19ドメスティック セクハラの原因 女性



19ドメスティック セクハラの原因 男性

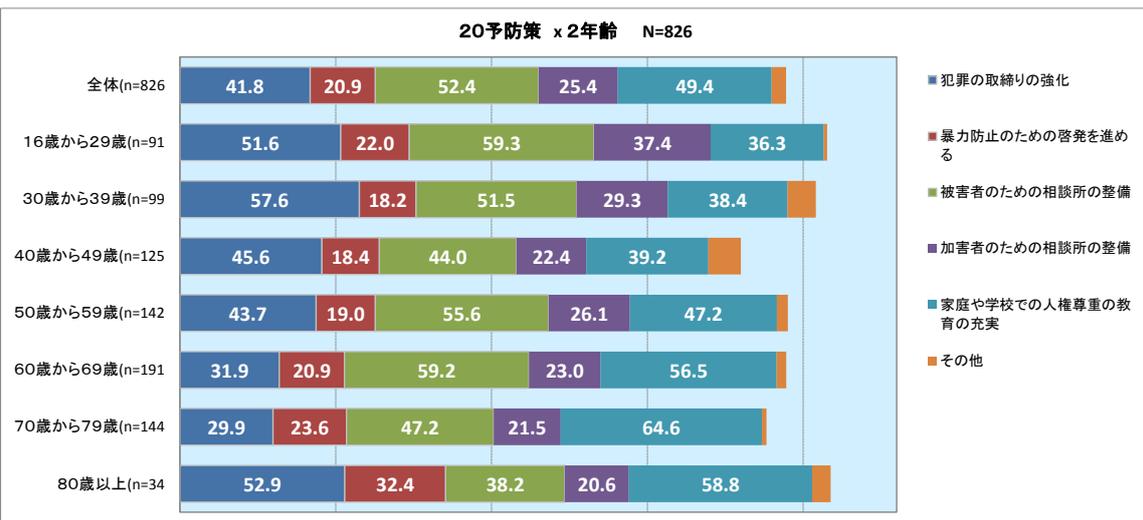
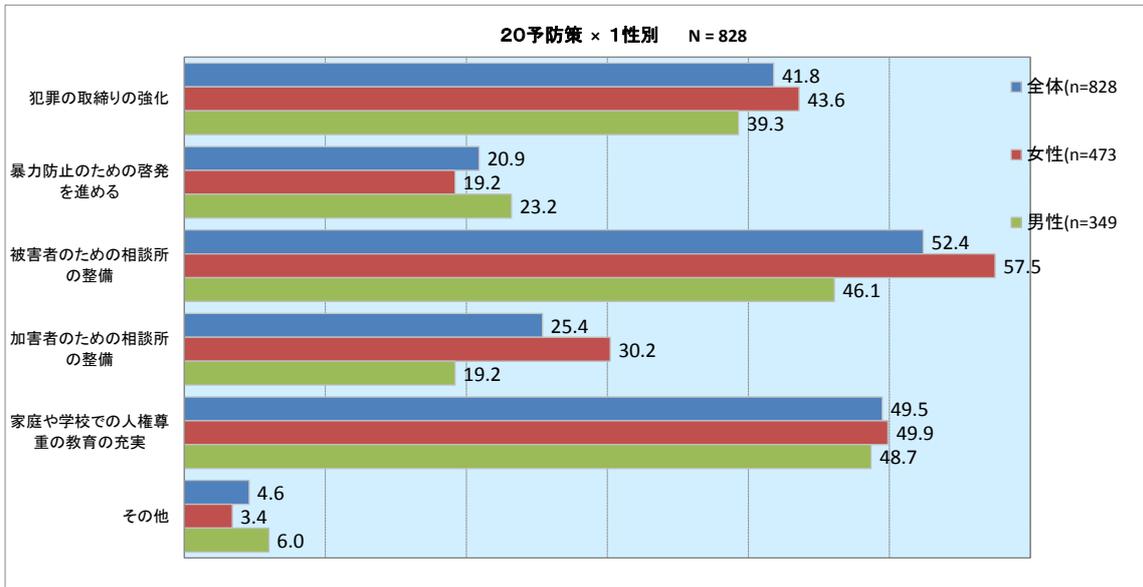


問20 ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントをなくすためにはどうしたらよいですか？
(複数回答)

20 予防策 × 1 性別

上段:度数 下段:%		20 予防策						
		合計	犯罪の取締りの強化	暴力防止のための啓発を進める	被害者のための相談所の整備	加害者のための相談所の整備	家庭や学校での人権尊重の教育の充実	その他
1 性別	全体	828	346	173	434	210	410	38
		—	41.8	20.9	52.4	25.4	49.5	4.6
	女性	473	206	91	272	143	236	16
		—	43.6	19.2	57.5	30.2	49.9	3.4
	男性	349	137	81	161	67	170	21
		—	39.3	23.2	46.1	19.2	48.7	6.0
	答えたくない & 不明	6	3	1	1	0	4	1
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントをなくすためには、「被害者のための相談所の整備」が最も多く、半数を超えている。次に「家庭や学校での人権尊重の教育の充実」が続いている。

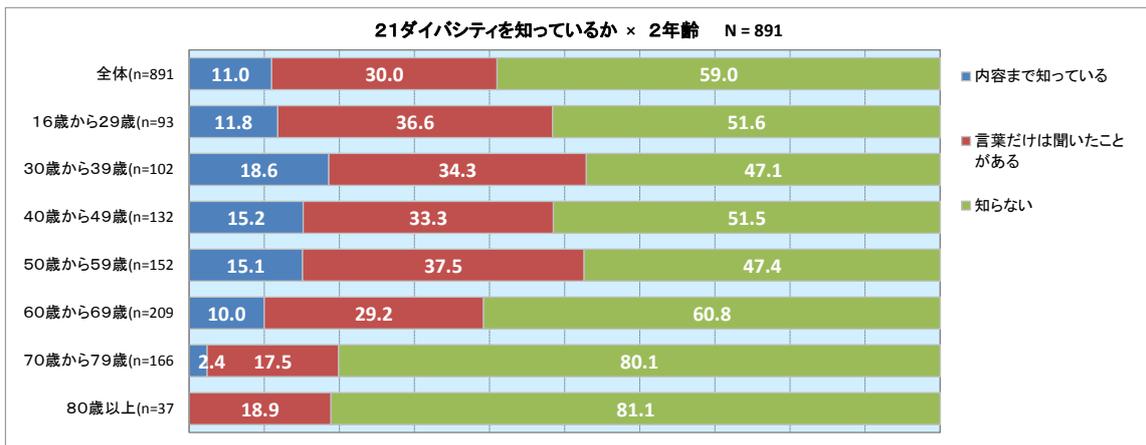
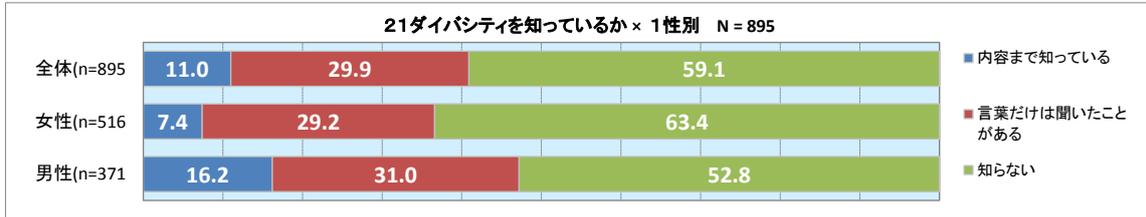


問21 あなたは、ダイバーシティという言葉を知っていますか。(回答は一つ) 新規設問

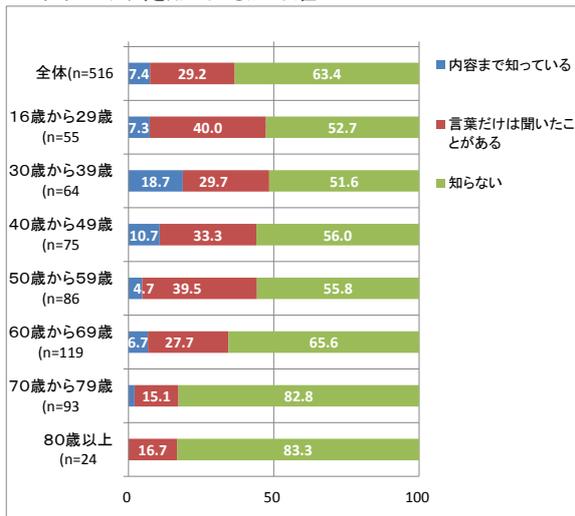
21 ダイバーシティを知っているか × 1性別

上段:度数 下段:%		21 ダイバーシティを知っているか			
		合計	内容まで知っている	言葉だけは聞いたことがある	知らない
1性別	全体	895 100.0	98 11.0	268 29.9	529 59.1
	女性	516 100.0	38 7.4	151 29.2	327 63.4
	男性	371 100.0	60 16.2	115 31.0	196 52.8
	答えたくない & 不明	8 100.0	0 0.0	2 25.0	6 75.0

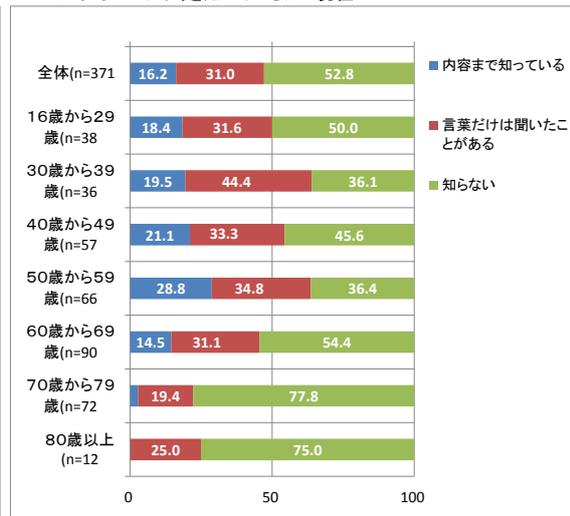
「ダイバーシティ」については、「内容まで知っている」が11.0%で、過半数の方が「知らない」と答えている。



21 ダイバーシティを知っているか 女性



21 ダイバーシティを知っているか 男性

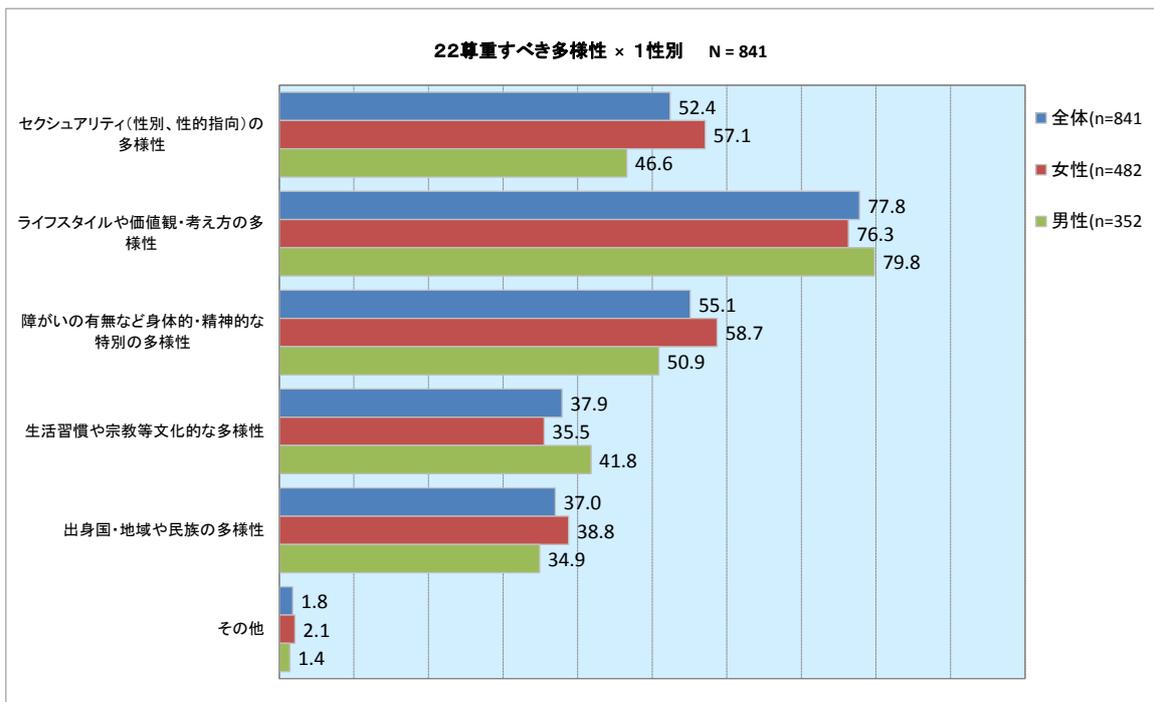


問22 人が互いの違いを受け入れあって社会の活力を増進するために、特に尊重すべき多様性は
何だと思いますか。(複数回答) 新規設問

「ライフスタイルや価値観・考え方の多様性」が77.8%と高く、次いで「障がいの有無など身体的・精神的な特別の多様性」、「セクシュアリティ(性別、性的指向)の多様性」が半数を超えている。

22 尊重すべき多様性 × 1性別

上段:度数 下段:%		22 尊重すべき多様性							
		合計	セクシュアリティ(性別、性的指向)の多様性	ライフスタイルや価値観・考え方の多様性	障がいの有無など身体的・精神的な特別の多様性	生活習慣や宗教等文化的な多様性	出身国・地域や民族の多様性	その他	どれも尊重すべきとは思わない
1性別	全体	841 —	441 52.4	654 77.8	463 55.1	319 37.9	311 37.0	15 1.8	26 3.1
	女性	482 —	275 57.1	368 76.3	283 58.7	171 35.5	187 38.8	10 2.1	13 2.7
	男性	352 —	164 46.6	281 79.8	179 50.9	147 41.8	123 34.9	5 1.4	12 3.4
	答えたくない&不明	7 —	2 28.6	5 71.4	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3

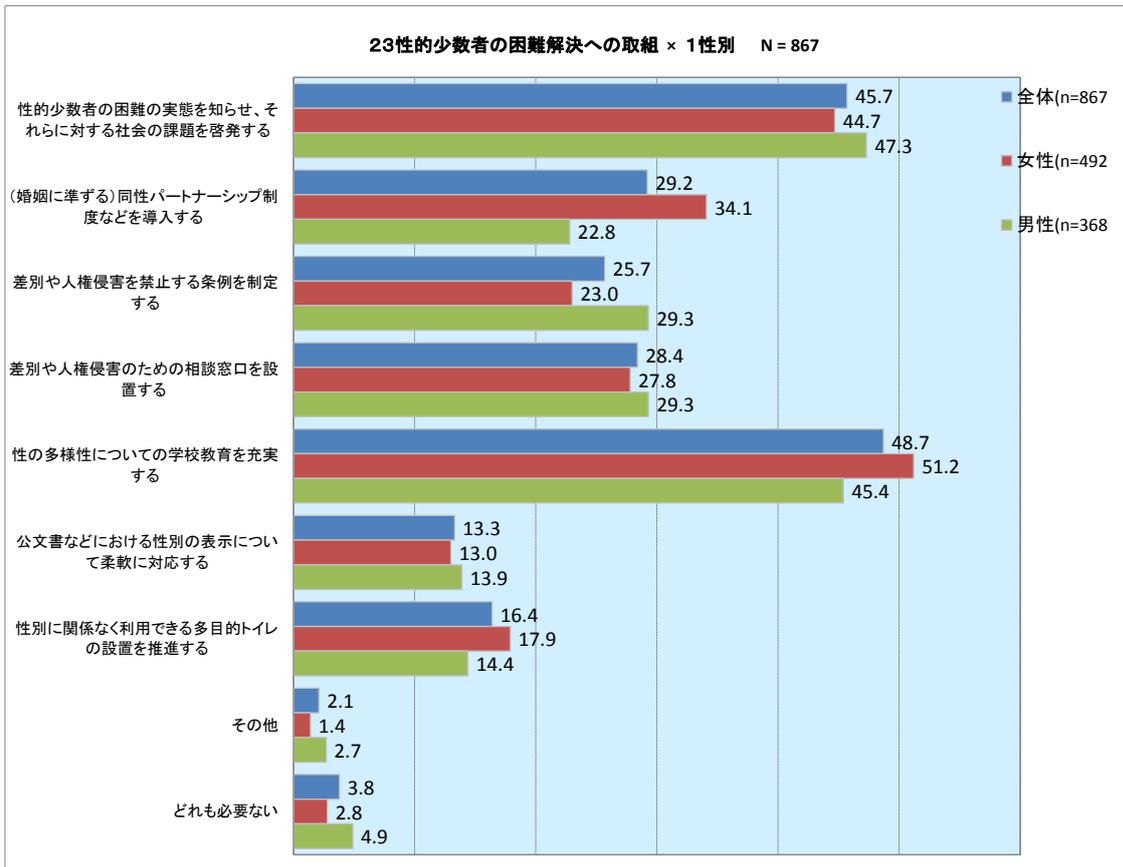


問23 性的少数者(LGBT)は人口の8%程度を占めるといわれ、偏見や差別、また日常生活の不便に苦しめられていることも少なくありません。これらの性的少数者の困難を解決するためには何が必要だと思いますか。(複数回答) 新規設問

「性の多様性についての学校教育を充実する」が48.7%、「性的少数者の困難の実態を知らせ、それらに対する社会の課題を啓発する」が45.7%と高く次いで「(婚姻に準ずる)同性パートナーシップ制度などを導入する」、「差別や人権侵害のための相談窓口を設置する」が3割程度となっている。

23 性的少数者の困難解決への取組 × 1性別

上段:度数		23 性的少数者の困難解決への取組									
下段:%	合計	性的少数者の困難の実態を知らせ、それらに対する社会の課題を啓発する	(婚姻に準ずる)同性パートナーシップ制度などを導入する	差別や人権侵害を禁止する条例を制定する	差別や人権侵害のための相談窓口を設置する	性の多様性についての学校教育を充実する	公文書などにおける性別の表示について柔軟に対応する	性別に関係なく利用できる多目的トイレの設置を推進する	その他	どれも必要ない	
											合計
1性別	全体	867	396	253	223	246	422	115	142	18	33
		—	45.7	29.2	25.7	28.4	48.7	13.3	16.4	2.1	3.8
	女性	492	220	168	113	137	252	64	88	7	14
		—	44.7	34.1	23.0	27.8	51.2	13.0	17.9	1.4	2.8
男性	368	174	84	108	108	167	51	53	10	18	
	—	47.3	22.8	29.3	29.3	45.4	13.9	14.4	2.7	4.9	
答えたくない&不明	7	2	1	2	1	3	0	1	1	1	
	—	28.6	14.3	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3	



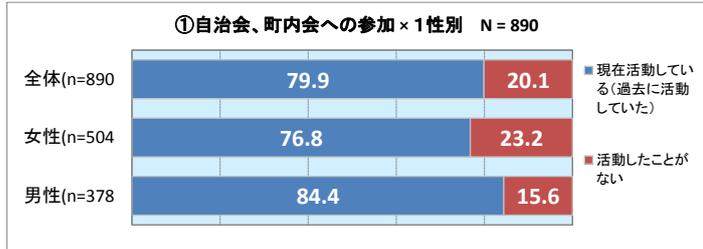
◆ 地域活動に関して

問24 次のことがらについて、あなたが活動した経験はありますか？（回答は一つ）

ボランティア活動やサークル活動など、ほとんどの活動で、性別による顕著な差は見られないが、「自治会町内会での企画立案への参画」において、「活動したことがない」割合が、男性の40.3%に対して、女性は71.1%と半数を超えており、企画立案段階からの関わりが低いことがわかる。男女共同参画を推進するためには、企画立案段階から女性の参画を積

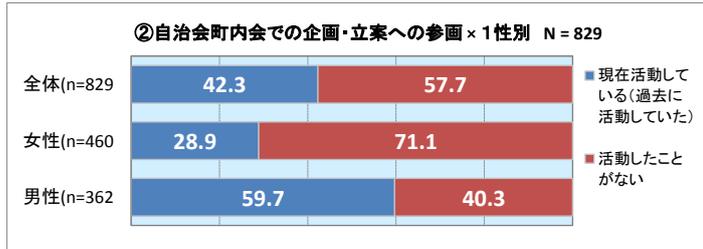
24の①活動歴、自治会 × 1性別

上段:度数		24の①活動歴、自治会町内会		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	890	711	179
		100.0	79.9	20.1
	女性	504	387	117
		100.0	76.8	23.2
	男性	378	319	59
	100.0	84.4	15.6	
	答えたくない&不明	8	5	3
		100.0	62.5	37.5



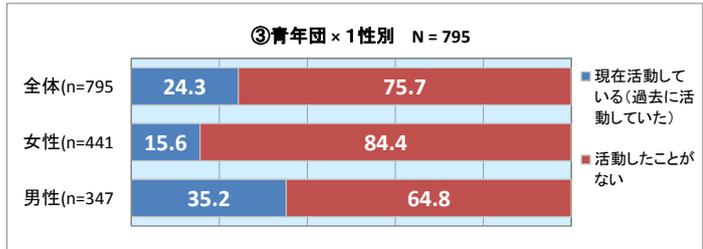
24の②活動歴、自治会での企画立案 × 1性別

上段:度数		24の②活動歴、自治会での企画立案		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	829	351	478
		100.0	42.3	57.7
	女性	460	133	327
		100.0	28.9	71.1
	男性	362	216	146
	100.0	59.7	40.3	
	答えたくない&不明	7	2	5
		100.0	28.6	71.4



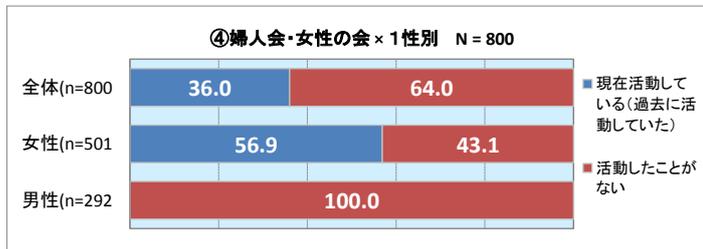
24の③活動歴、青年団 × 1性別

上段:度数		24の③活動歴、青年団		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	795	193	602
		100.0	24.3	75.7
	女性	441	69	372
		100.0	15.6	84.4
	男性	347	122	225
	100.0	35.2	64.8	
	答えたくない&不明	7	2	5
		100.0	28.6	71.4



24の④活動歴、婦人会・女性の会 × 1性別

上段:度数		24の④活動歴、婦人会・女性の会		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	800	288	512
		100.0	36.0	64.0
	女性	501	285	216
		100.0	56.9	43.1
	男性	292	0	292
	100.0	0.0	100.0	
	答えたくない&不明	7	3	4
		100.0	42.9	57.1



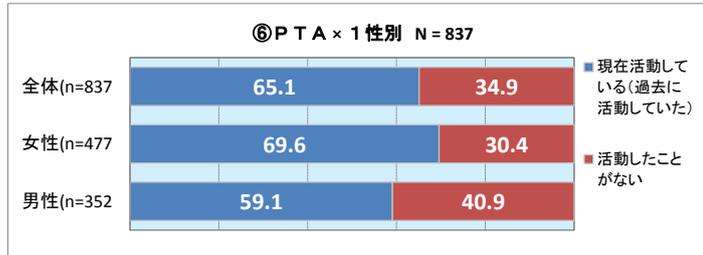
24の⑤活動歴、老人会 × 1性別

上段:度数		24の⑤活動歴、老人会		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	828	170	658
		100.0	20.5	79.5
	女性	479	96	383
		100.0	20.0	80.0
	男性	343	73	270
	100.0	21.3	78.7	
	答えたくない&不明	6	1	5
		100.0	16.7	83.3



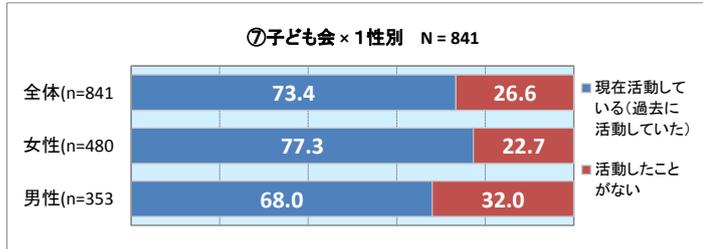
24の⑥活動歴、PTA × 1性別

上段:度数		24の⑥活動歴、PTA		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	837	545	292
		100.0	65.1	34.9
	女性	477	332	145
		100.0	69.6	30.4
	男性	352	208	144
	100.0	59.1	40.9	
	答えたくない&不明	8	5	3
		100.0	62.5	37.5



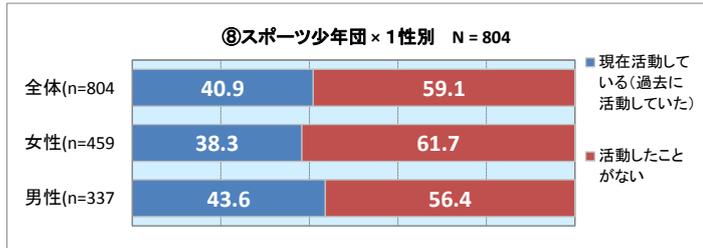
24の⑦子ども会 × 1性別

上段:度数		24の⑦子ども会		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	841	617	224
		100.0	73.4	26.6
	女性	480	371	109
		100.0	77.3	22.7
	男性	353	240	113
	100.0	68.0	32.0	
	答えたくない&不明	8	6	2
		100.0	75.0	25.0



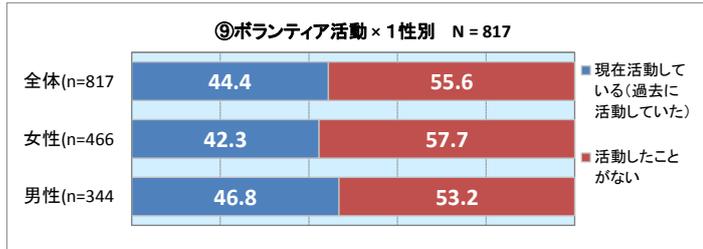
24の⑧活動歴、スポーツ少年団 × 1性別

上段:度数		24の⑧活動歴、スポーツ少年団		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	804	329	475
		100.0	40.9	59.1
	女性	459	176	283
		100.0	38.3	61.7
	男性	337	147	190
	100.0	43.6	56.4	
	答えたくない&不明	8	6	2
		100.0	75.0	25.0



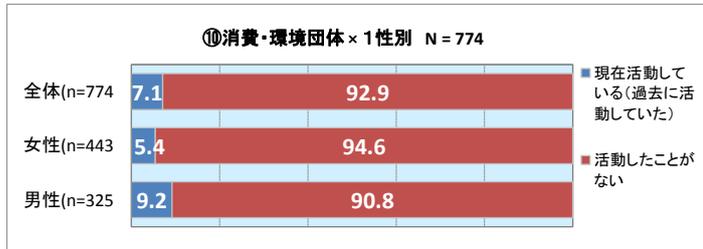
24の⑨活動歴、ボランティア活動 × 1性別

上段:度数		24の⑨活動歴、ボランティア活動		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	817	363	454
		100.0	44.4	55.6
	女性	466	197	269
		100.0	42.3	57.7
	男性	344	161	183
	100.0	46.8	53.2	
	答えたくない&不明	7	5	2
		100.0	71.4	28.6



24の⑩活動歴、消費・環境団体 × 1性別

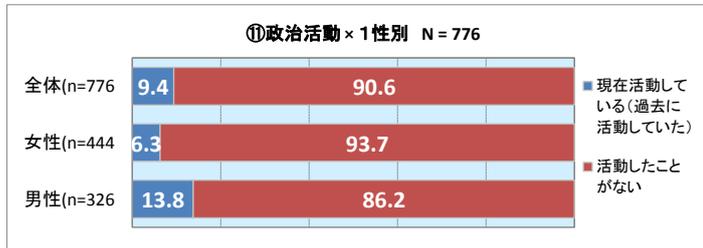
上段:度数		24の⑩活動歴、消費・環境団体		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	774	55	719
		100.0	7.1	92.9
	女性	443	24	419
		100.0	5.4	94.6
	男性	325	30	295
	100.0	9.2	90.8	
	答えたくない&不明	6	1	5
		100.0	16.7	83.3



24の⑪活動歴、政治活動 × 1性別

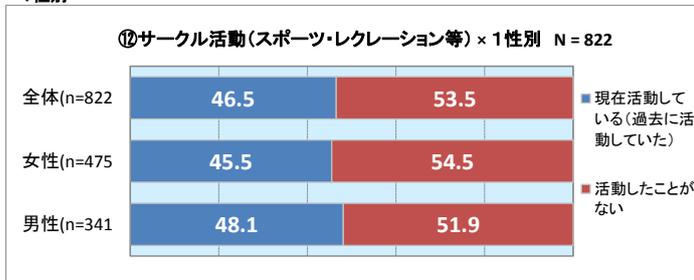
新規項目

上段:度数		24の⑪活動歴、政治活動		
下段:%		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	776	73	703
		100.0	9.4	90.6
	女性	444	28	416
		100.0	6.3	93.7
	男性	326	45	281
	100.0	13.8	86.2	
	答えたくない&不明	6	0	6
		100.0	0.0	100.0



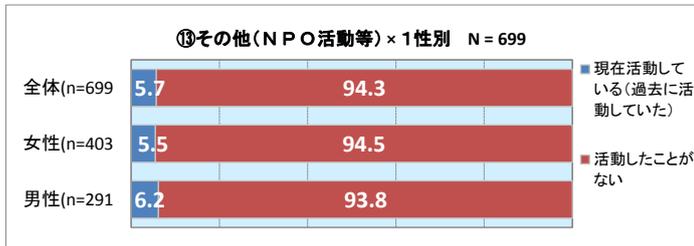
24の⑫活動歴、サークル活動(スポーツ・レクリエーション等) × 1性別

上段:度数		24の⑫活動歴、サークル活動(スポーツ・レクリエーション等)		
		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	822	382	440
		100.0	46.5	53.5
	女性	475	216	259
		100.0	45.5	54.5
	男性	341	164	177
	100.0	48.1	51.9	
	答えたくない&不明	6	2	4
		100.0	33.3	66.7



24の⑬活動歴、その他(NPO活動等) × 1性別

上段:度数		24の⑬活動歴、その他(NPO活動等)		
		合計	現在活動している(過去に活動していた)	活動したことがない
1性別	全体	699	40	659
		100.0	5.7	94.3
	女性	403	22	381
		100.0	5.5	94.5
	男性	291	18	273
	100.0	6.2	93.8	
	答えたくない&不明	5	0	5
		100.0	0.0	100.0



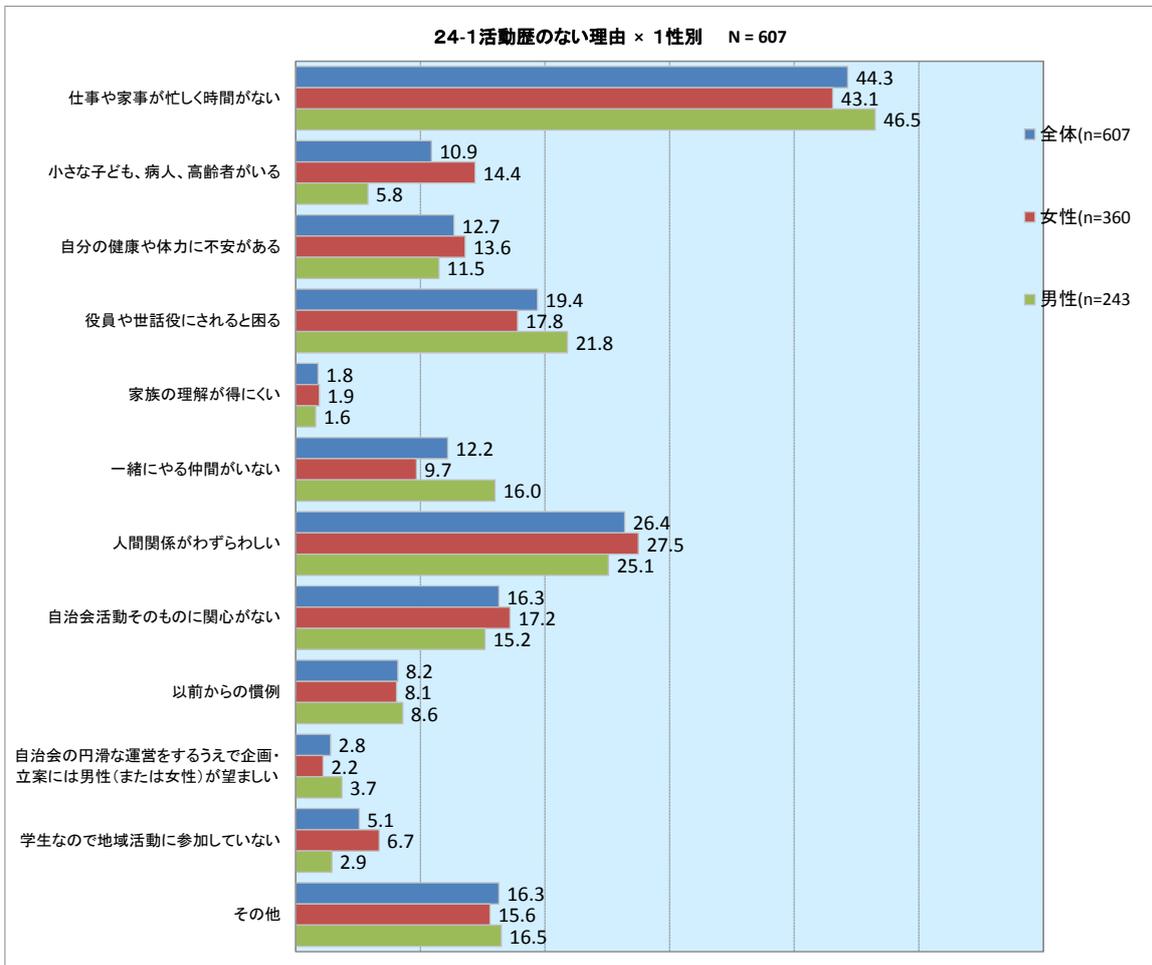
問24-1 あなたが、活動したことがない理由は何ですか？（複数回答）

活動したことがない理由としては、「仕事や家事が忙しく時間がない」が最も多く、全体で44.3%、続いて、「人間関係がわずらわしい」「役員や世話役にされると困る」「地域活動そのものに関心がない」などの理由が多数を占めている。「小さな子ども、病人、高齢者がいる」については、女性に顕著に見られる。

24-1 活動歴のない理由 × 1性別

上段:度数 下段:%		24-1 活動歴のない理由									
		合計	仕事や家事が忙しく時間がない	小さな子ども、病人、高齢者がいる	自分の健康や体力に不安がある	役員や世話役にされると困る	家族の理解が得にくい	一緒にやる仲間がいない	人間関係がわずらわしい	地域活動そのものに関心がない	以前からの慣例
1性別	全体	607 —	269 44.3	66 10.9	77 12.7	118 19.4	11 1.8	74 12.2	160 26.4	99 16.3	50 8.2
	女性	360 —	155 43.1	52 14.4	49 13.6	64 17.8	7 1.9	35 9.7	99 27.5	62 17.2	29 8.1
	男性	243 —	113 46.5	14 5.8	28 11.5	53 21.8	4 1.6	39 16.0	61 25.1	37 15.2	21 8.6
	答えたくない &不明	4 —	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		24-1 活動歴のない理由			
		合計	自治会の円滑な運営をするうえで企画・立案には男性(または女性)が望ましい	学生なので地域活動に参加していない	その他
1性別	全体	607 —	17 2.8	31 5.1	99 16.3
	女性	360 —	8 2.2	24 6.7	56 15.6
	男性	243 —	9 3.7	7 2.9	40 16.5
	答えたくない &不明	4 —	0 0.0	0 0.0	3 75.0



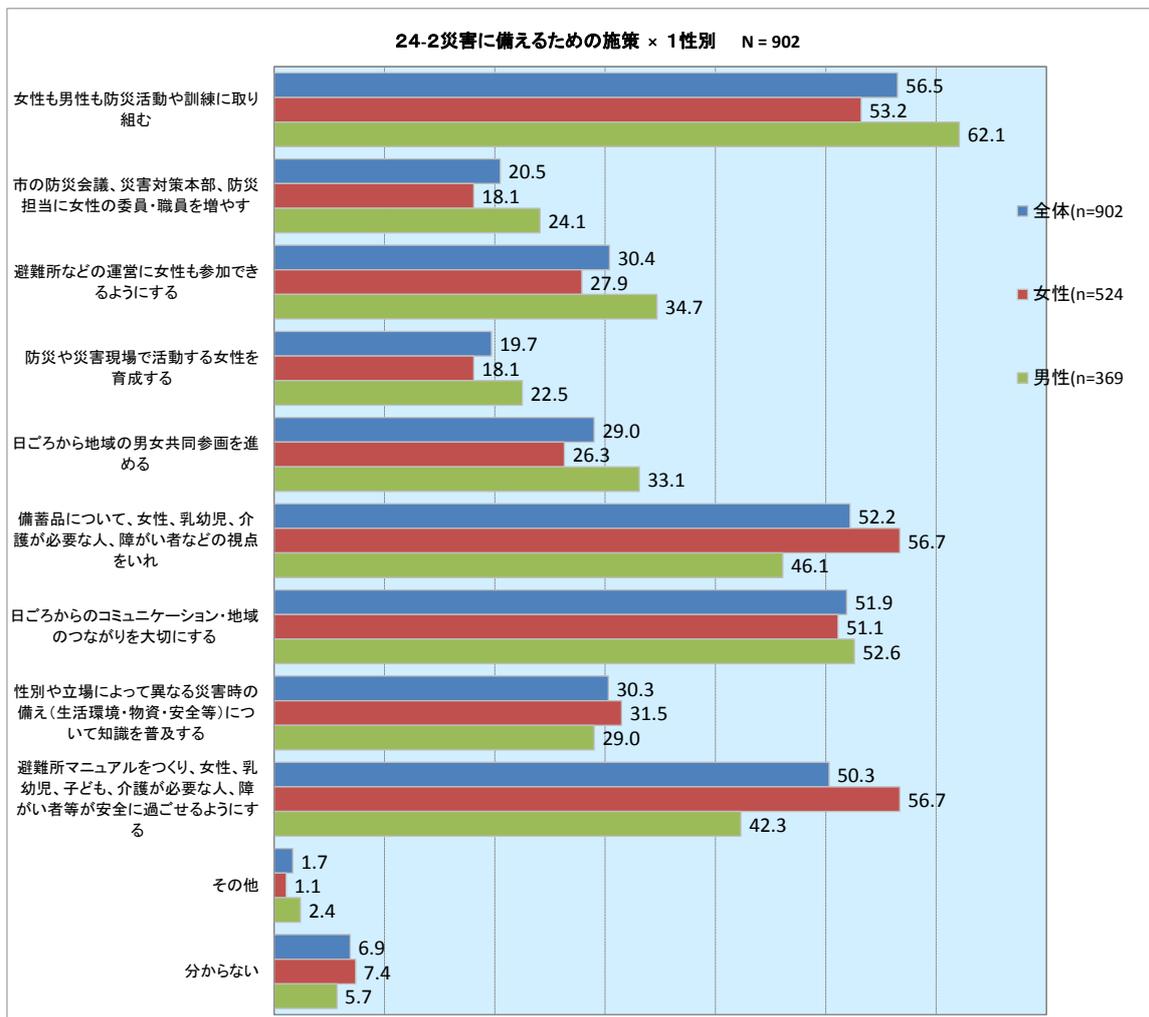
問24-2 平時の防災体制や災害発生後の対応にも男女共同参画の視点が必要だと指摘されています。災害に備えるために、これからどのような施策が必要だと思いますか。（複数回答）新規設問

「女性も男性も防災活動や訓練に取り組む」が56.5%で、次いで「備蓄品について、女性、乳幼児、介護が必要な人、障がい者などの視点をいれる」、「日ごろからのコミュニケーション・地域のつながりを大切にする」、「避難所マニュアルをつくり、女性、乳幼児、子ども、介護が必要な人、障がい者等が安全に過ごせるようにする」についても過半数を超えている。

24-2 災害に備えるための施策 × 1性別

上段:度数	下段:%	24-2 災害に備えるための施策									
		合計	女性も男性も防災活動や訓練に取り組む	市の防災会議、災害対策本部、防災担当に女性の委員・職員を増やす	避難所などの運営に女性も参加できるようにする	防災や災害現場で活動する女性を育成する	日ごろから地域の男女共同参画を進める	備蓄品について、女性、乳幼児、介護が必要な人、障がい者などの視点をいれ	日ごろからのコミュニケーション・地域のつながりを大切にする	性別や立場によって異なる災害時の備え(生活環境・物資・安全等)について知識を普及する	避難所マニュアルをつくり、女性、乳幼児、子ども、介護が必要な人、障がい者等が安全に過ごせるようにする
1性別	全体	902	510	185	274	178	262	471	468	273	454
		—	56.5	20.5	30.4	19.7	29.0	52.2	51.9	30.3	50.3
	女性	524	279	95	146	95	138	297	268	165	297
		—	53.2	18.1	27.9	18.1	26.3	56.7	51.1	31.5	56.7
	男性	369	229	89	128	83	122	170	194	107	156
		—	62.1	24.1	34.7	22.5	33.1	46.1	52.6	29.0	42.3
	答えたくない&不明	9	2	1	0	0	2	4	6	1	1
		—	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	44.4	66.7	11.1	11.1

		24-2 災害に備えるための施策		
		合計	その他	分からない
1性別	全体	902	15	62
		—	1.7	6.9
	女性	524	6	39
		—	1.1	7.4
	男性	369	9	21
		—	2.4	5.7
	答えたくない&不明	9	0	2
		—	0.0	22.2

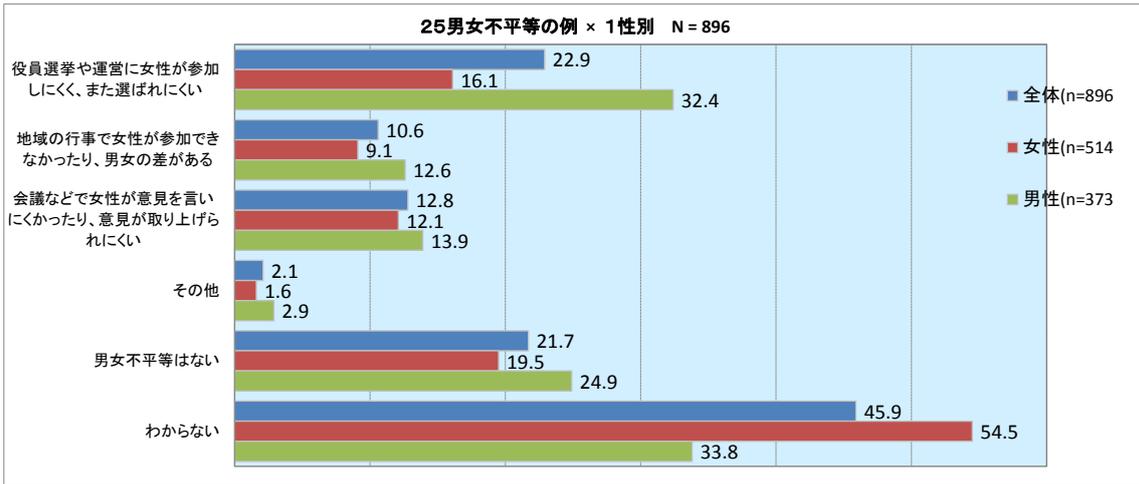


問25 あなたが住んでいる地域の行事等に男女不平等なことがありますか？（複数回答）

全体では「わからない」とする回答が最も多く、45.9%を占めている。次に、「役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい」が続き、全体で22.9%となっている。

25 男女不平等の例 × 1性別

上段:度数		25 男女不平等の例						
下段:%		合計	役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい	地域の行事で女性が参加できなかったり、男女の差がある	会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見が取り上げられにくい	その他	男女不平等はない	わからない
1性別	全体	896	205	95	115	19	194	411
		—	22.9	10.6	12.8	2.1	21.7	45.9
	女性	514	83	47	62	8	100	280
		—	16.1	9.1	12.1	1.6	19.5	54.5
男性	373	121	47	52	11	93	126	
	—	32.4	12.6	13.9	2.9	24.9	33.8	
答えたくない&不明	9	1	1	1	0	1	5	
	—	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	55.6	

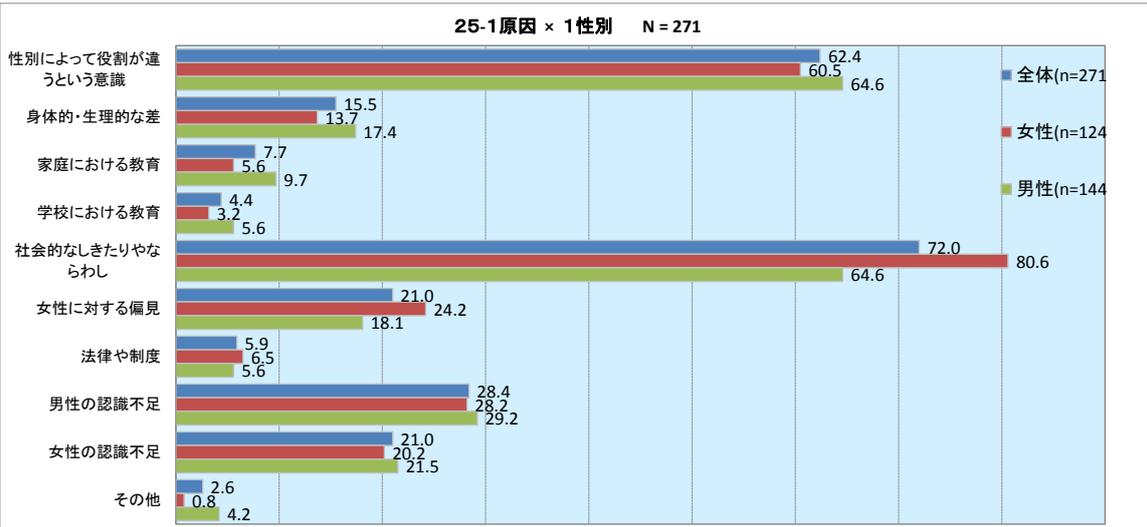


問25-1 その原因はどこにあると思いますか？（複数回答）

「何らかの不平等がある」と回答された方に、その原因をたずねたところ、「社会的なしきたりならわし」が最も多く、7割を超えました。次に多いのが「性別によって役割が違うという意識」で、6割を超えています。

25-1 原因 × 1性別

上段:度数		25-1 原因										
下段:%		合計	性別によって役割が違うという意識	身体的・生理的な差	家庭における教育	学校における教育	社会的なしきたりならわし	女性に対する偏見	法律や制度	男性の認識不足	女性の認識不足	その他
1性別	全体	271	169	42	21	12	195	57	16	77	57	7
		—	62.4	15.5	7.7	4.4	72.0	21.0	5.9	28.4	21.0	2.6
	女性	124	75	17	7	4	100	30	8	35	25	1
		—	60.5	13.7	5.6	3.2	80.6	24.2	6.5	28.2	20.2	0.8
男性	144	93	25	14	8	93	26	8	42	31	6	
	—	64.6	17.4	9.7	5.6	64.6	18.1	5.6	29.2	21.5	4.2	
答えたくない&不明	3	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0
	—	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	



◆ 職業に関する意識について

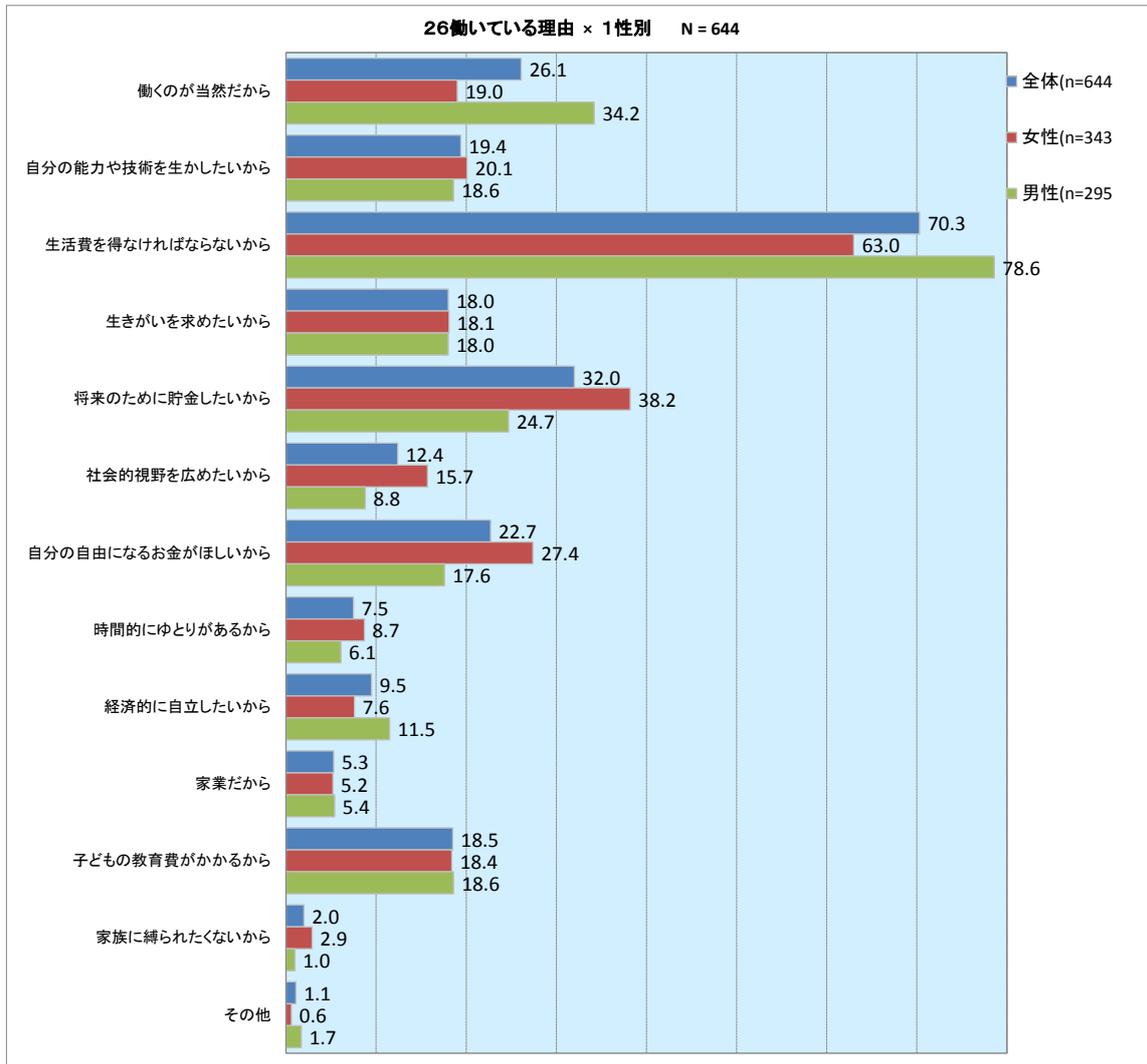
問26 現在、収入を得る仕事に就いている方、もしくは求職中の方におたずねします。あなたが働いている(働きたい)理由はなんですか？ (〇は三つまで)

働いている理由については、「生活費を得なければならないから」が70.3%と最も多い。全体では、「将来のために貯金したいから」、「働くのが当然だから」が続いている。性別差では、「生活費を得なければならないから」と「働くのが当然だから」は男性に顕著に多く、「自分の自由になるお金がほしいから」は、女性に顕著に多い。

26 働いている理由 × 1性別

上段:度数 下段:%		26 働いている理由						
		合計	働くのが当然だから	自分の能力や技術を生かしたいから	生活費を得なければならないから	生きがいを求めたいから	将来のために貯金したいから	社会的視野を広めたいから
1性別	全体	644	168	125	453	116	206	80
		—	26.1	19.4	70.3	18.0	32.0	12.4
	女性	343	65	69	216	62	131	54
		—	19.0	20.1	63.0	18.1	38.2	15.7
男性	295	101	55	232	53	73	26	
	—	34.2	18.6	78.6	18.0	24.7	8.8	
答えたくない&不明	6	2	1	5	1	2	0	
	—	33.3	16.7	83.3	16.7	33.3	0.0	

		26 働いている理由							
		合計	自分の自由になるお金がほしいから	時間的にゆとりがあるから	経済的に自立したいから	家業だから	子どもの教育費がかかるから	家族に縛られたくないから	その他
1性別	全体	644	146	48	61	34	119	13	7
		—	22.7	7.5	9.5	5.3	18.5	2.0	1.1
	女性	343	94	30	26	18	63	10	2
		—	27.4	8.7	7.6	5.2	18.4	2.9	0.6
男性	295	52	18	34	16	55	3	5	
	—	17.6	6.1	11.5	5.4	18.6	1.0	1.7	
答えたくない&不明	6	0	0	1	0	1	0	0	
	—	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	



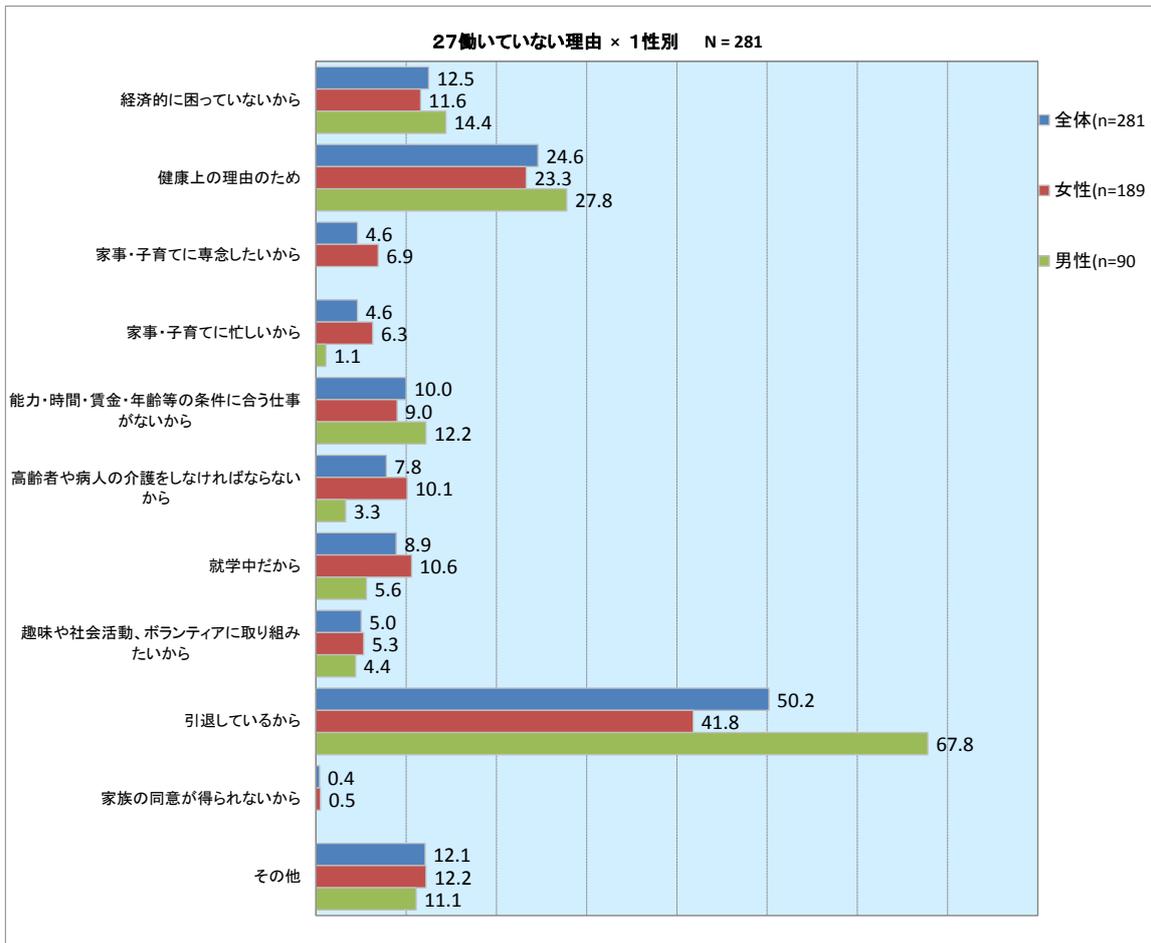
問27 現在、収入を得る仕事に就いていない方におたずねします。あなたが働いていない理由は何ですか？
(○は三つまで)

働いていない理由として、「引退しているから」、「健康上の理由のため」が多い。女性の場合、「家事・子育てに専念したいから」と「家事・子育てに忙しいから」という回答を合わせると13.2%という結果になった。

27 働いていない理由 × 1性別

上段:度数 下段:%		27 働いていない理由						
		合計	経済的に困っていないから	健康上の理由のため	家事・子育てに専念したいから	家事・子育てに忙しいから	能力・時間・賃金・年齢等の条件に合う仕事がないから	高齢者や病人の介護をしなければならないから
1性別	全体	281 —	35 12.5	69 24.6	13 4.6	13 4.6	28 10.0	22 7.8
	女性	189 —	22 11.6	44 23.3	13 6.9	12 6.3	17 9.0	19 10.1
	男性	90 —	13 14.4	25 27.8	0 0.0	1 1.1	11 12.2	3 3.3
	答えたくない &不明	2 —	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		27 働いていない理由					
		合計	就学中だから	趣味や社会活動、ボランティアに取り組みたいから	引退しているから	家族の同意が得られないから	その他
1性別	全体	281 —	25 8.9	14 5.0	141 50.2	1 0.4	34 12.1
	女性	189 —	20 10.6	10 5.3	79 41.8	1 0.5	23 12.2
	男性	90 —	5 5.6	4 4.4	61 67.8	0 0.0	10 11.1
	答えたくない &不明	2 —	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0

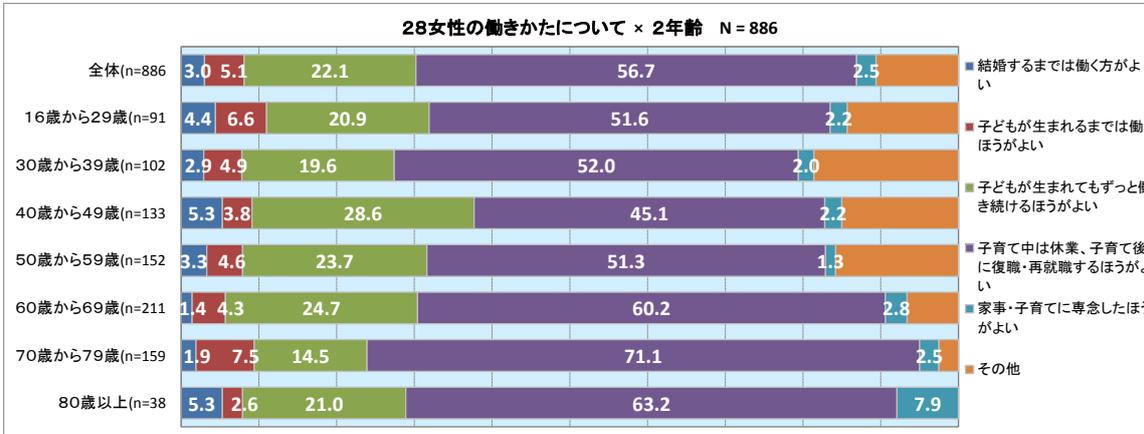
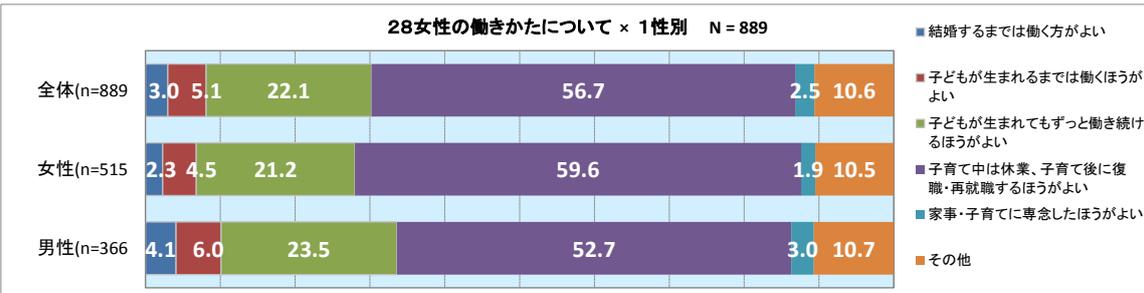


問28 あなたは、女性の働き方について、次のどれが望ましいと思いますか？（回答は一つ）

女性の働き方については、「子育て中は休業、子育て後に復職・再就職するほうがよい」が過半数で、最も多い。「子どもができてずっと働き続けるほうがよい」は、全体で2割程度にとどまっている。

28 女性の働きかたについて × 1性別

上段:度数 下段:%		28 女性の働きかたについて						
		合計	結婚するまでは働くほうがよい	子どもが生まれるまでは働くほうがよい	子どもが生まれてもずっと働き続けるほうがよい	子育て中は休業、子育て後に復職・再就職するほうがよい	家事・子育てに専念したほうがよい	その他
1性別	全体	889 100.0	27 3.0	45 5.1	197 22.1	504 56.7	22 2.5	94 10.6
	女性	515 100.0	12 2.3	23 4.5	109 21.2	307 59.6	10 1.9	54 10.5
	男性	366 100.0	15 4.1	22 6.0	86 23.5	193 52.7	11 3.0	39 10.7
	答えたくない&不明	8 100.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5

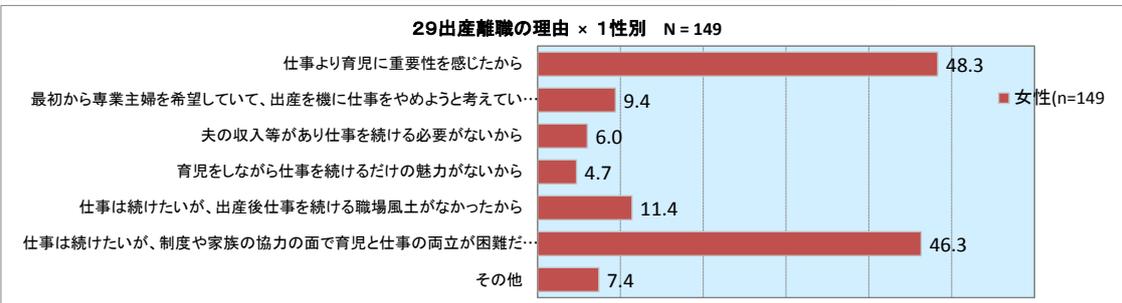


問29 出産を機に離職した女性の方におたずねします。その理由は何ですか？（〇は三つまで）

出産を機に離職した理由については、「仕事より育児に重要性を感じたから」が48.3%で最も多く、次に多いのが「仕事は続けたいが、制度や家族の協力の面で育児と仕事の両立が困難だと思ったから」が46.3%で続きました。

29 出産離職の理由

上段:度数 下段:%		29 出産離職の理由							
		合計	仕事より育児に重要性を感じたから	最初から専業主婦を希望していて、出産を機に仕事をやめようと考えていたから	夫の収入等があり仕事を続ける必要がないから	育児をしながら仕事を続けるだけの魅力がないから	仕事は続けたいが、出産後仕事を続ける職場風土がなかったから	仕事は続けたいが、制度や家族の協力の面で育児と仕事の両立が困難だと思ったから	その他
1性別	女性	149 —	72 48.3	14 9.4	9 6.0	7 4.7	17 11.4	69 46.3	11 7.4

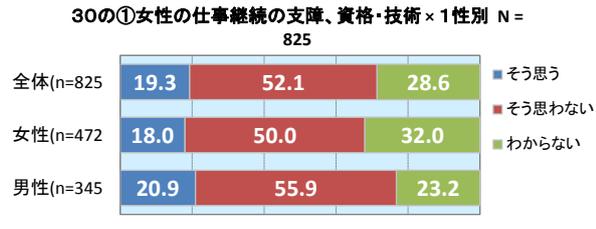


問30 あなたは、次の項目が、女性が仕事を続けていくうえで支障となっていると思いますか？（回答は一つ）

女性が仕事を続けていくうえで支障と考えられている項目としては、「残業など勤務時間が長いから」、「再雇用、再就職を支援する制度が不十分だから」、「育児・介護休業等の保育の施設が不十分だから」の3項目が最も多く、男女ともに半数を超えています。

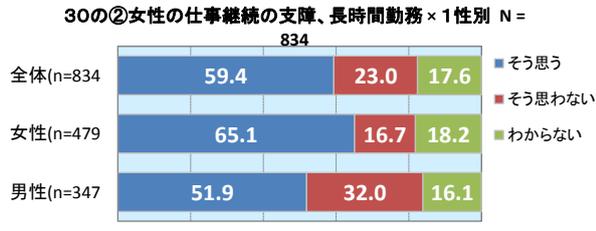
30の①女性の仕事継続の支障、資格・技術 × 1性別

1性別	上段:度数 下段:%	30の①女性の仕事継続の支障、資格・技術			
		合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	825 100.0	159	430	236	
女性	472 100.0	85	236	151	
男性	345 100.0	72	193	80	
答えたくない &不明	8 100.0	2	1	5	



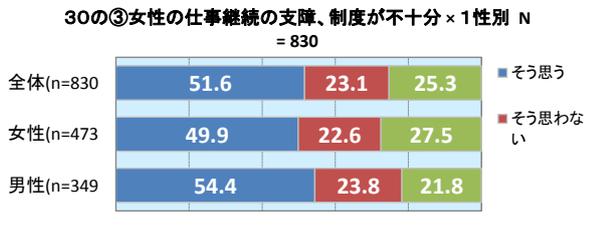
30の②女性の仕事継続の支障、長時間勤務 × 1性別

1性別	上段:度数 下段:%	30の②女性の仕事継続の支障、長時間勤務			
		合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	834 100.0	495	192	147	
女性	479 100.0	312	80	87	
男性	347 100.0	180	111	56	
答えたくない &不明	8 100.0	3	1	4	



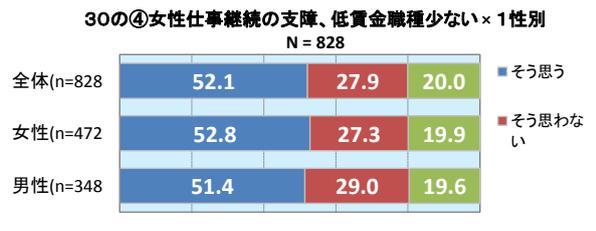
30の③女性の仕事継続の支障、制度が不十分 × 1性別

1性別	上段:度数 下段:%	30の③女性の仕事継続の支障、制度が不十分			
		合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	830 100.0	428	192	210	
女性	473 100.0	236	107	130	
男性	349 100.0	190	83	76	
答えたくない &不明	8 100.0	2	2	4	



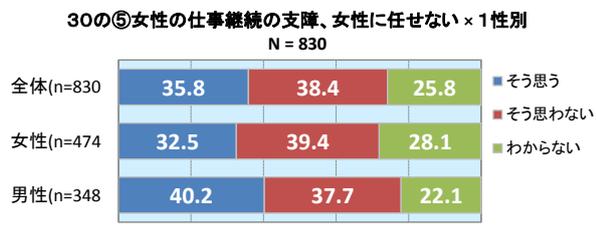
30の④女性仕事継続の支障、低賃金職種少ない × 1性別

1性別	上段:度数 下段:%	30の④女性仕事継続の支障、低賃金職種少ない			
		合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	828 100.0	431	231	166	
女性	472 100.0	249	129	94	
男性	348 100.0	179	101	68	
答えたくない &不明	8 100.0	3	1	4	



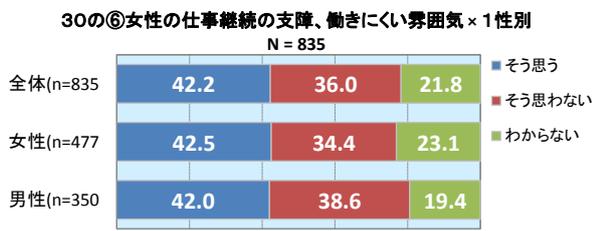
30の⑤女性の仕事継続の支障、女性に任せない × 1性別

1性別	上段:度数 下段:%	30の⑤女性の仕事継続の支障、女性に任せない			
		合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	830 100.0	297	319	214	
女性	474 100.0	154	187	133	
男性	348 100.0	140	131	77	
答えたくない &不明	8 100.0	3	1	4	



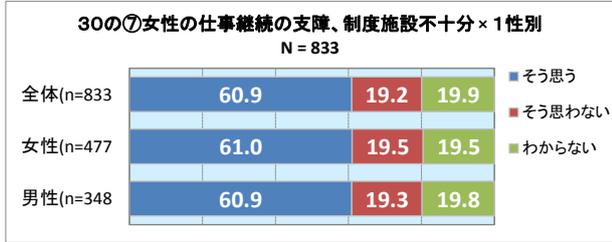
30の⑥女性の仕事継続の支障、働きにくい雰囲気 × 1性別

1性別	上段:度数 下段:%	30の⑥女性の仕事継続の支障、働きにくい雰囲気			
		合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	835 100.0	352	301	182	
女性	477 100.0	203	164	110	
男性	350 100.0	147	135	68	
答えたくない &不明	8 100.0	2	2	4	



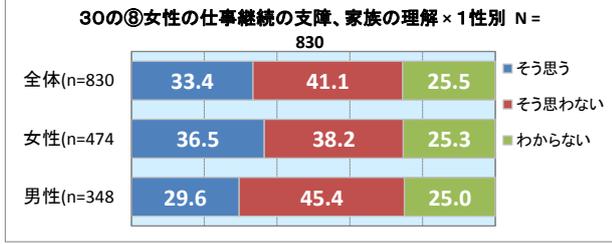
30の⑦女性の仕事継続の支障、制度施設の不十分 × 1性別

上段:度数 下段:%	30の⑦女性の仕事継続の支障、制度施設の不十分			
	合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	833	507	160	166
	100.0	60.9	19.2	19.9
1性別				
女性	477	291	93	93
	100.0	61.0	19.5	19.5
男性	348	212	67	69
	100.0	60.9	19.3	19.8
答えたくない & 不明	8	4	0	4
	100.0	50.0	0.0	50.0



30の⑧女性の仕事継続の支障、家族の理解 × 1性別

上段:度数 下段:%	30の⑧女性の仕事継続の支障、家族の理解			
	合計	そう思う	そう思わない	わからない
全体	830	277	341	212
	100.0	33.4	41.1	25.5
1性別				
女性	474	173	181	120
	100.0	36.5	38.2	25.3
男性	348	103	158	87
	100.0	29.6	45.4	25.0
答えたくない & 不明	8	1	2	5
	100.0	12.5	25.0	62.5

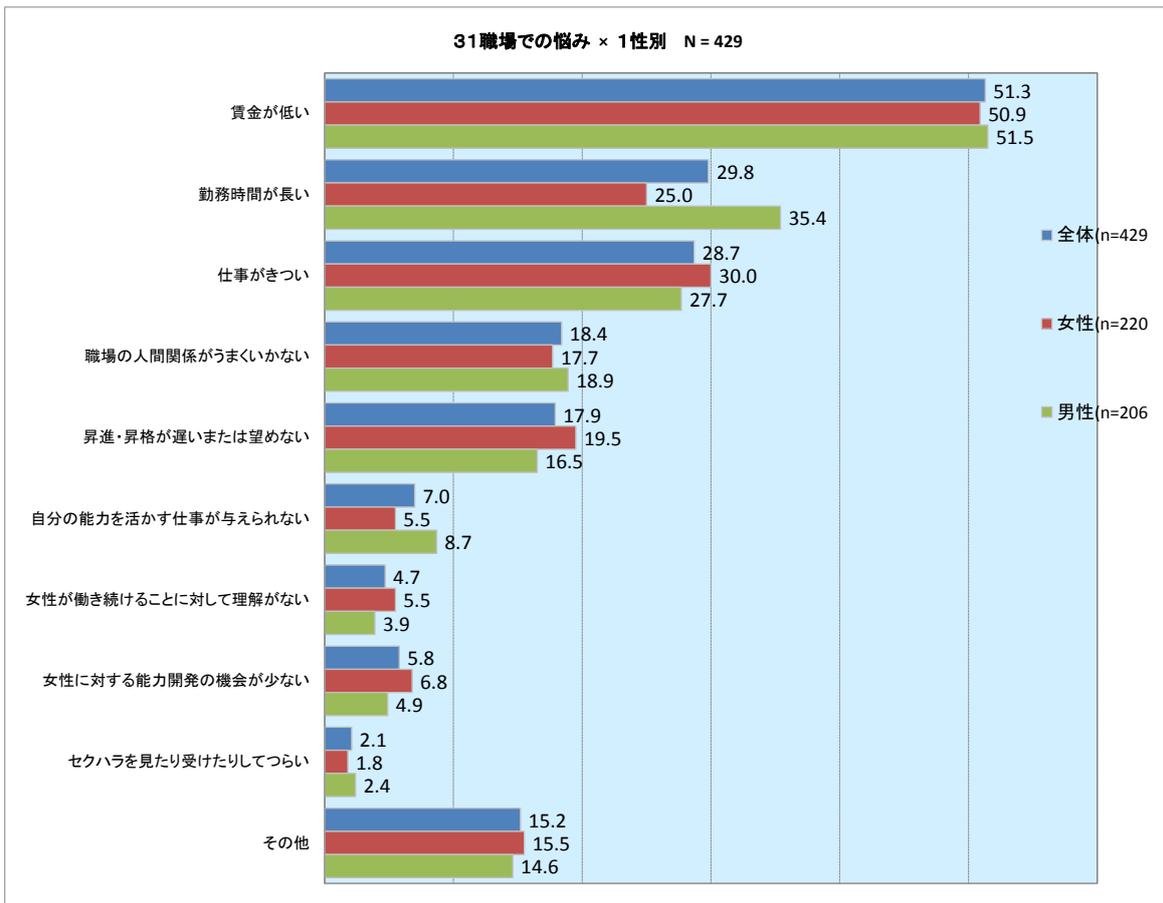


問31 あなたは職場で悩んでいることや不安なことがありますか？(複数回答可)

「賃金が低い」が全体で51.3%と最も多くなっています。次に「勤務時間が長い」、「仕事がつい」、「職場の人間関係がうまくいかない」などの悩みや不安が続いています。

31 職場での悩み × 1性別

上段:度数 下段:%	31 職場での悩み											
	合計	賃金が低い	勤務時間が長い	仕事がつい	職場の人間関係がうまくいかない	昇進・昇格が遅いまたは望めない	自分の能力を活かす仕事を与えられない	女性が働き続けることに対して理解がない	女性に対する能力開発の機会が少ない	セクハラを見たり受けたりしてつらい	その他	
全体	429	220	128	123	79	77	30	20	25	9	65	
	—	51.3	29.8	28.7	18.4	17.9	7.0	4.7	5.8	2.1	15.2	
1性別												
女性	220	112	55	66	39	43	12	12	15	4	34	
	—	50.9	25.0	30.0	17.7	19.5	5.5	5.5	6.8	1.8	15.5	
男性	206	106	73	57	39	34	18	8	10	5	30	
	—	51.5	35.4	27.7	18.9	16.5	8.7	3.9	4.9	2.4	14.6	
答えたくない & 不明	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	—	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	



◆ 女性の活躍について

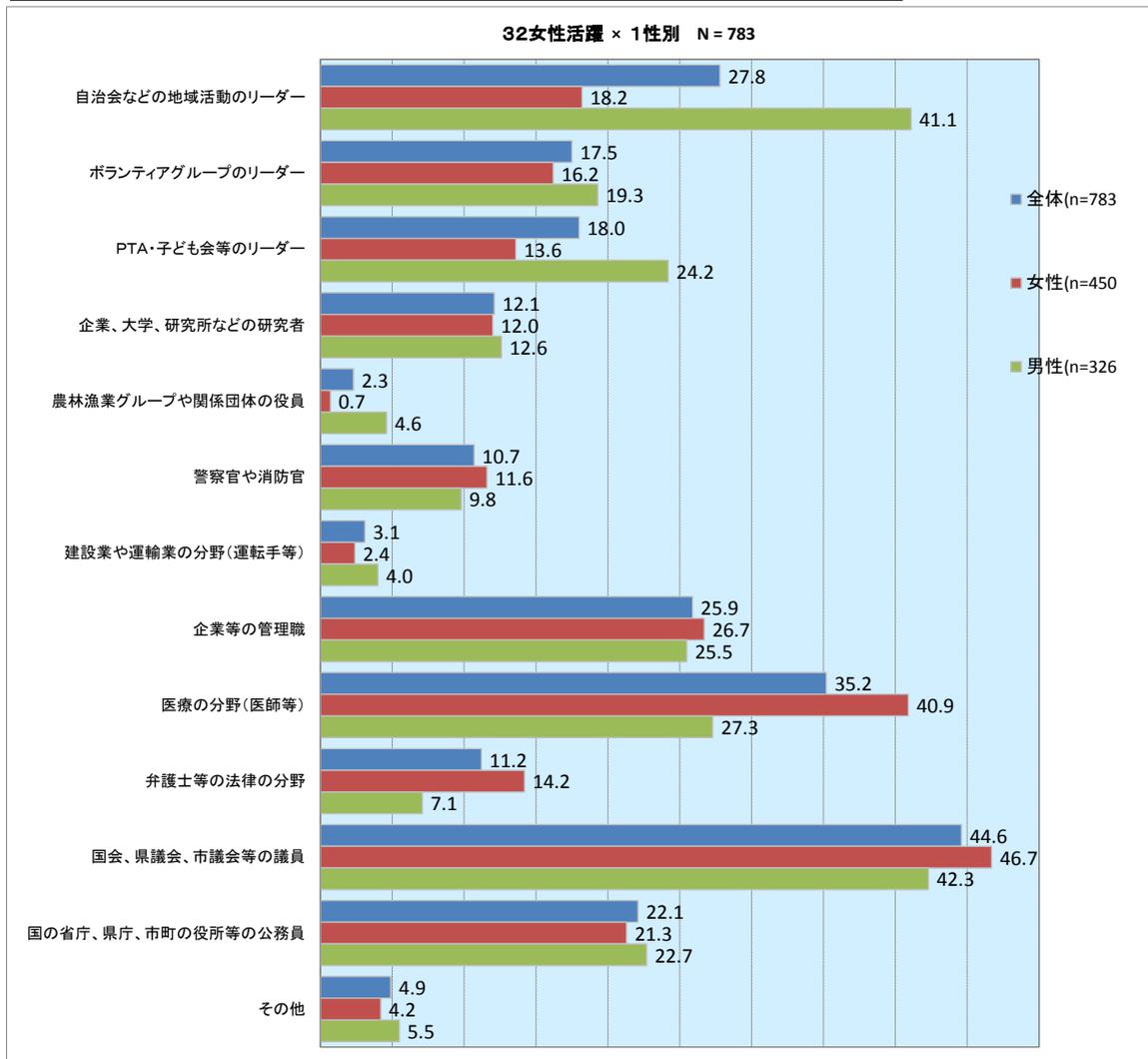
問32 あなたは、今後、どの分野・立場で女性の活躍が進むのがよいと思われますか？（〇は三つまで）

「国会、県議会、市議会等の議員」が全体で44.6ポイントで最も割合が高い。次に「医療の分野(医師等)」が続いている。

32 女性活躍 × 1性別

上段:度数		32 女性活躍						
下段:%		合計	自治会などの地域活動のリーダー	ボランティアグループのリーダー	PTA・子ども会等のリーダー	企業、大学、研究所などの研究者	農林漁業グループや関係団体の役員	警察官や消防官
1性別	全体	783	218	137	141	95	18	84
		—	27.8	17.5	18.0	12.1	2.3	10.7
	女性	450	82	73	61	54	3	52
		—	18.2	16.2	13.6	12.0	0.7	11.6
	男性	326	134	63	79	41	15	32
		—	41.1	19.3	24.2	12.6	4.6	9.8
	答えたくない&不明	7	2	1	1	0	0	0
		—	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0

上段:度数		32 女性活躍							
下段:%		建設業や運輸業の分野(運転手等)	企業等の管理職	医療の分野(医師等)	弁護士等の法律の分野	国会、県議会、市議会等の議員	国の省庁、県庁、市町の役所等の公務員	その他	
1性別	全体	783	24	203	276	88	349	173	38
		—	3.1	25.9	35.2	11.2	44.6	22.1	4.9
	女性	450	11	120	184	64	210	96	19
		—	2.4	26.7	40.9	14.2	46.7	21.3	4.2
	男性	326	13	83	89	23	138	74	18
		—	4.0	25.5	27.3	7.1	42.3	22.7	5.5
	答えたくない&不明	7	0	0	3	1	1	3	1
		—	0.0	0.0	42.9	14.3	14.3	42.9	14.3



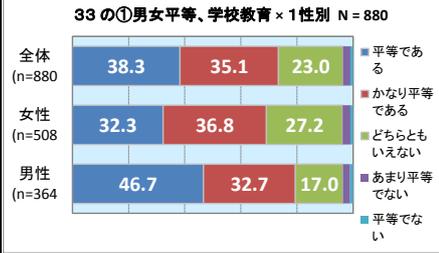
◆ 男女平等に関して

問33 あなたは次のそれぞれの分野で、どの程度男女平等になっていると思いますか？（回答は一つ）

男女の平等観については、学校教育を除いて、2割から3割程度が「あまり平等でない」と「平等でない」と答えている。「法律や制度」、「家庭生活」などの項目では、性別による意識の差が顕著に表れている。

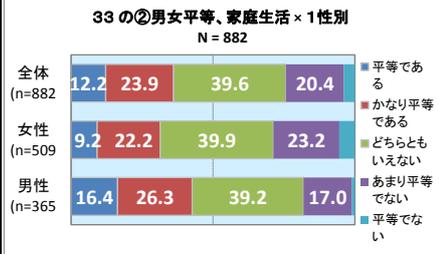
33の①男女平等、学校教育 × 1性別

上段:度数		33の①男女平等、学校教育					
下段:%		合計	平等である	かなり平等である	どちらともいえない	あまり平等でない	平等でない
1性別	全体	880	337	309	202	23	9
		100.0	38.3	35.1	23.0	2.6	1.0
	女性	508	164	187	138	14	5
		100.0	32.3	36.8	27.2	2.7	1.0
男性	364	170	119	62	9	4	
	100.0	46.7	32.7	17.0	2.5	1.1	
答えたくない&不明	8	3	3	2	0	0	
	100.0	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0	



33の②男女平等、家庭生活 × 1性別

上段:度数		33の②男女平等、家庭生活					
下段:%		合計	平等である	かなり平等である	どちらともいえない	あまり平等でない	平等でない
1性別	全体	882	108	211	349	180	34
		100.0	12.2	23.9	39.6	20.4	3.9
	女性	509	47	113	203	118	28
		100.0	9.2	22.2	39.9	23.2	5.5
男性	365	60	96	143	62	4	
	100.0	16.4	26.3	39.2	17.0	1.1	
答えたくない&不明	8	1	2	3	0	2	
	100.0	12.5	25.0	37.5	0.0	25.0	



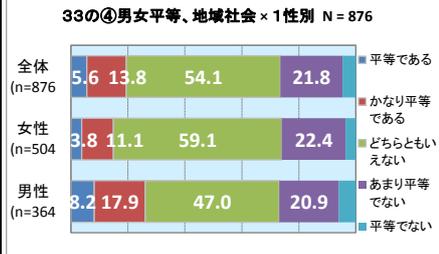
33の③男女平等、職場 × 1性別

上段:度数		33の③男女平等、職場					
下段:%		合計	平等である	かなり平等である	どちらともいえない	あまり平等でない	平等でない
1性別	全体	876	67	169	442	172	26
		100.0	7.6	19.3	50.5	19.6	3.0
	女性	505	30	83	285	91	16
		100.0	6.0	16.4	56.4	18.0	3.2
男性	363	36	86	151	80	10	
	100.0	9.9	23.7	41.6	22.0	2.8	
答えたくない&不明	8	1	0	6	1	0	
	100.0	12.5	0.0	75.0	12.5	0.0	



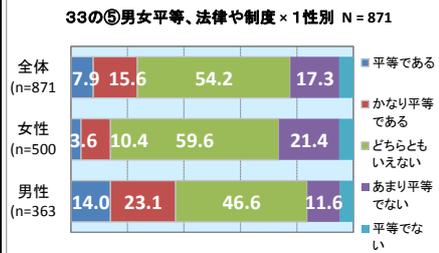
33の④男女平等、地域社会 × 1性別

上段:度数		33の④男女平等、地域社会					
下段:%		合計	平等である	かなり平等である	どちらともいえない	あまり平等でない	平等でない
1性別	全体	876	49	121	474	191	41
		100.0	5.6	13.8	54.1	21.8	4.7
	女性	504	19	56	298	113	18
		100.0	3.8	11.1	59.1	22.4	3.6
男性	364	30	65	171	76	22	
	100.0	8.2	17.9	47.0	20.9	6.0	
答えたくない&不明	8	0	0	5	2	1	
	100.0	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	



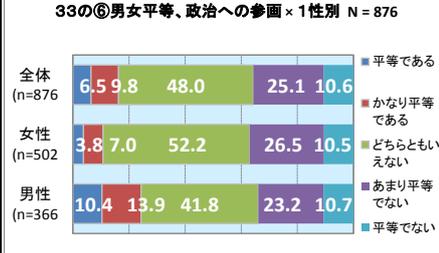
33の⑤男女平等、法律や制度 × 1性別

上段:度数		33の⑤男女平等、法律や制度					
下段:%		合計	平等である	かなり平等である	どちらともいえない	あまり平等でない	平等でない
1性別	全体	871	69	136	472	151	43
		100.0	7.9	15.6	54.2	17.3	5.0
	女性	500	18	52	298	107	25
		100.0	3.6	10.4	59.6	21.4	5.0
男性	363	51	84	169	42	17	
	100.0	14.0	23.1	46.6	11.6	4.7	
答えたくない&不明	8	0	0	5	2	1	
	100.0	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	



33の⑥男女平等、政治への参画 × 1性別

上段:度数		33の⑥男女平等、政治への参画					
下段:%		合計	平等である	かなり平等である	どちらともいえない	あまり平等でない	平等でない
1性別	全体	876	57	86	420	220	93
		100.0	6.5	9.8	48.0	25.1	10.6
	女性	502	19	35	262	133	53
		100.0	3.8	7.0	52.2	26.5	10.5
男性	366	38	51	153	85	39	
	100.0	10.4	13.9	41.8	23.2	10.7	
答えたくない&不明	8	0	0	5	2	1	
	100.0	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	

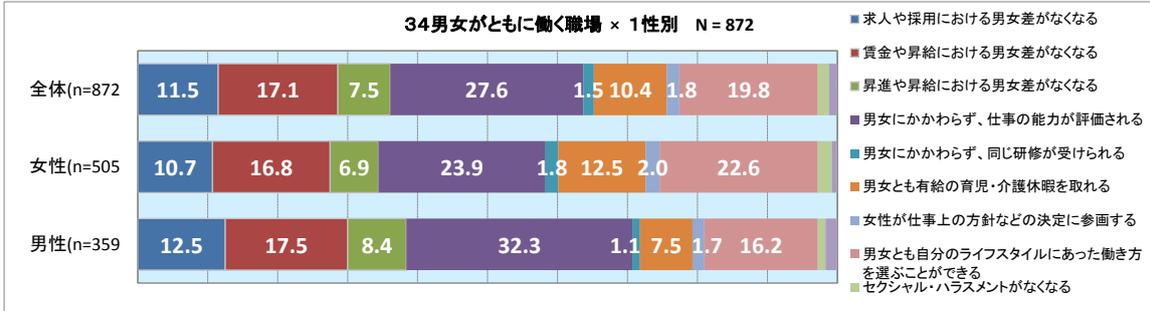


問34 あなたは、男女がともに働く職場においてどのようなことが実現すればよいと思いますか？（回答は一つ）

「男女にかかわらず、仕事の能力が評価される」が最も多く、全体で27.6%を占めている。次に、「男女とも自分のライフスタイルにあった働き方を選ぶことができる」が、19.8%で続いている。

34 男女がともに働く職場 × 1性別

上段:度数		34 男女がともに働く職場										
下段:%		合計	求人や採用における男女差がなくなる	賃金や昇給における男女差がなくなる	昇進や昇給における男女差がなくなる	男女にかかわらず、仕事の能力が評価される	男女にかかわらず、同じ研修が受けられる	男女とも有給の育児・介護休暇を取れる	女性が仕事上の方針などの決定に参画する	男女とも自分のライフスタイルにあった働き方を選ぶことができる	セクシャル・ハラスメントがなくなる	その他
1性別	全体	872	100	149	65	241	13	91	16	173	14	10
		100.0	11.5	17.1	7.5	27.6	1.5	10.4	1.8	19.8	1.6	1.2
	女性	505	54	85	35	121	9	63	10	114	10	4
		100.0	10.7	16.8	6.9	23.9	1.8	12.5	2.0	22.6	2.0	0.8
男性	359	45	63	30	116	4	27	6	58	4	6	
	100.0	12.5	17.5	8.4	32.3	1.1	7.5	1.7	16.2	1.1	1.7	
答えたくない&不明	8	1	1	0	4	0	1	0	1	0	0	
	100.0	12.5	12.5	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	



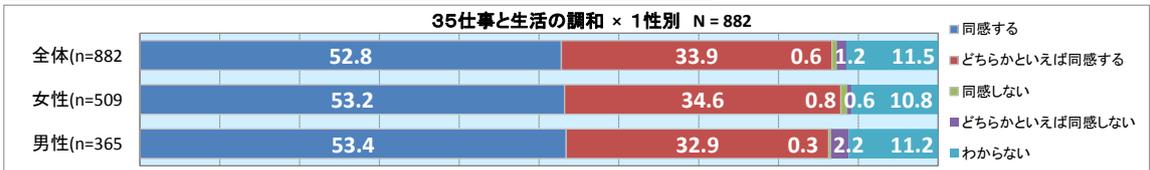
◆ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

問35 多様な働き方が選択でき、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれるという考え方について、あなたはこの考え方に同感しますか？（回答は一つ）

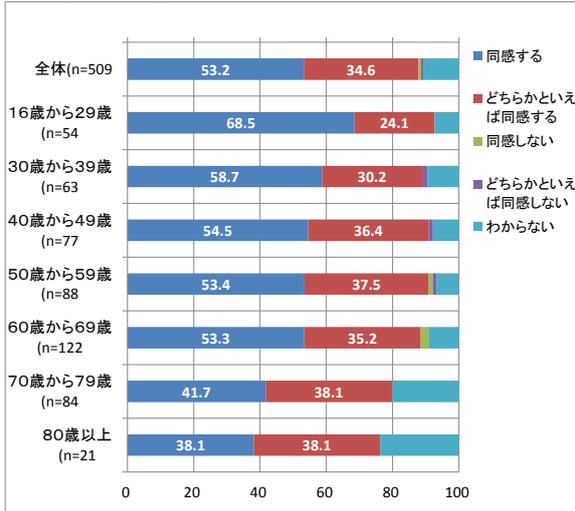
「同感する」が全体で52.8%となっており、男性より女性の方が、同感する割合がわずかに多い。

35 仕事と生活の調和 × 1性別

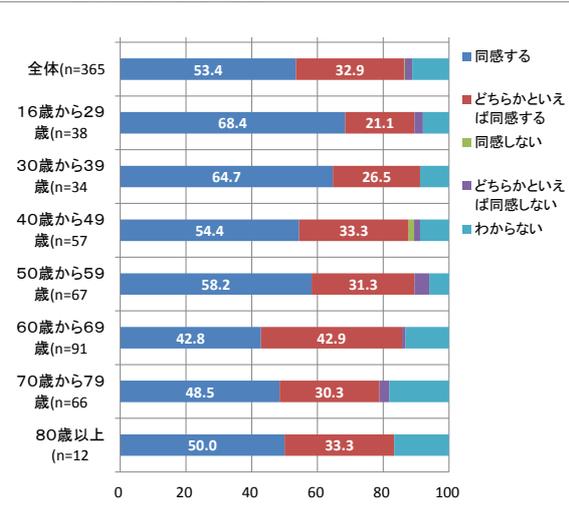
上段:度数		35 仕事と生活の調和					
下段:%		合計	同感する	どちらかといえば同感する	同感しない	どちらかといえば同感しない	わからない
1性別	全体	882	466	299	5	11	101
		100.0	52.8	33.9	0.6	1.2	11.5
	女性	509	271	176	4	3	55
		100.0	53.2	34.6	0.8	0.6	10.8
男性	365	195	120	1	8	41	
	100.0	53.4	32.9	0.3	2.2	11.2	
答えたくない&不明	8	0	3	0	0	5	
	100.0	0.0	37.5	0.0	0.0	62.5	



35 仕事と生活の調和 女性



35 仕事と生活の調和 男性

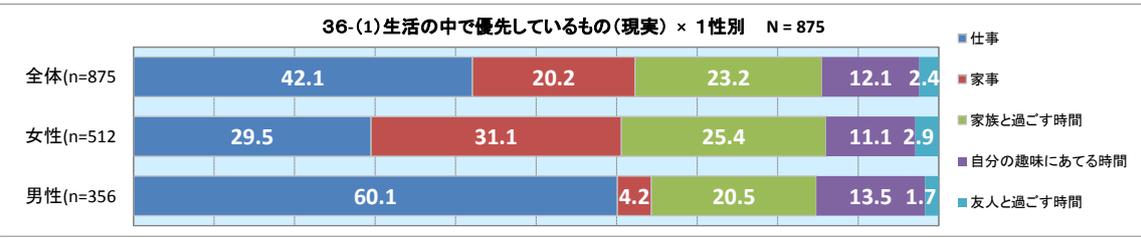


問36 (1) あなたが普段の生活の中で、現実に最も優先しているものはどれですか？(回答は一つ)

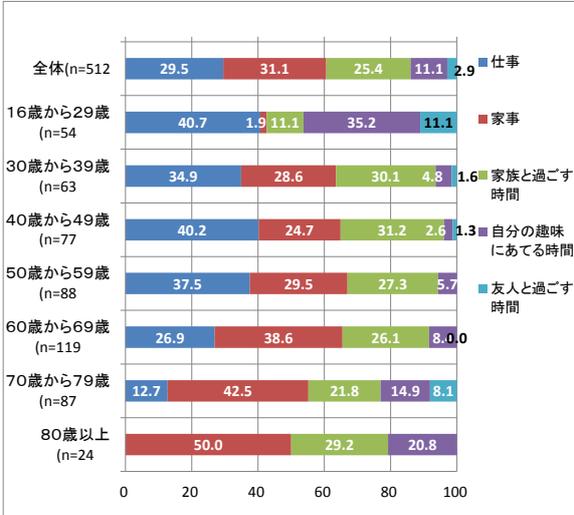
生活の中で優先しているもの(現実)は、「仕事」が男女ともに最も多く、男性では半数を超えている。

36-(1) 生活の中で優先しているもの(現実) × 1性別

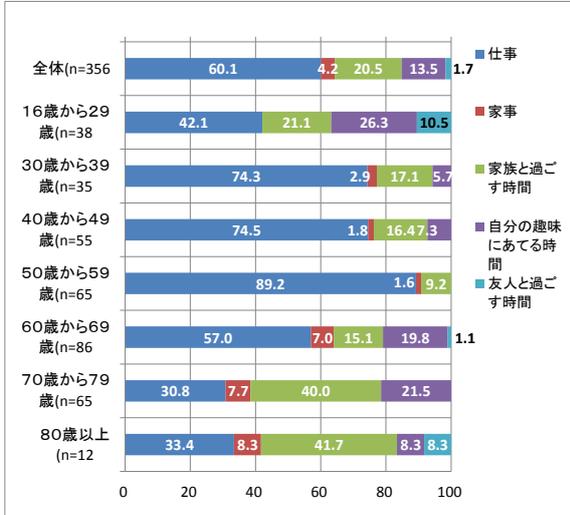
上段:度数 下段:%		36-(1) 生活の中で優先しているもの(現実)					
		合計	仕事	家事	家族と過ごす時間	自分の趣味にあてる時間	友人と過ごす時間
1性別	全体	875 100.0	368 42.1	177 20.2	203 23.2	106 12.1	21 2.4
	女性	512 100.0	151 29.5	159 31.1	130 25.4	57 11.1	15 2.9
	男性	356 100.0	214 60.1	15 4.2	73 20.5	48 13.5	6 1.7
	答えたくない &不明	7 100.0	3 42.9	3 42.9	0 0.0	1 14.2	0 0.0



36-(1)生活の中で優先しているもの(現実) 女性



36-(1)生活の中で優先しているもの(現実) 男性

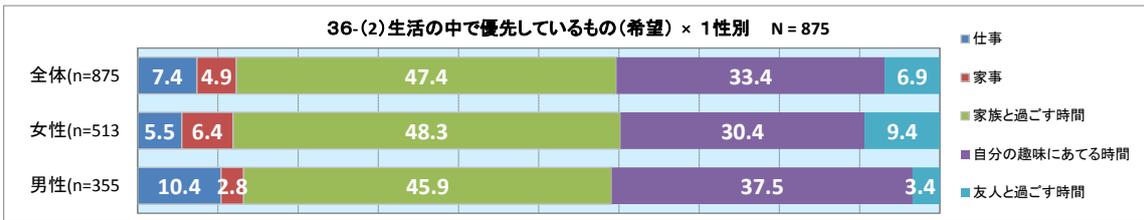


問36 (2) あなたが最も優先したいと希望するものはどれですか？(回答は一つ)

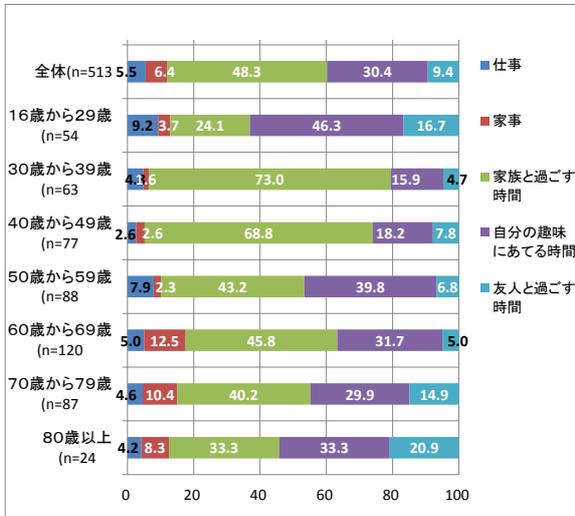
生活の中で優先しているもの(希望)は、「家族と過ごす時間」が男女ともに最も多く、男女とも4割を超えている。次に「自分の趣味にあてる時間」が続いており、現実と希望の差が顕著に表れている。

36-(2) 生活の中で優先しているもの(希望) × 1性別

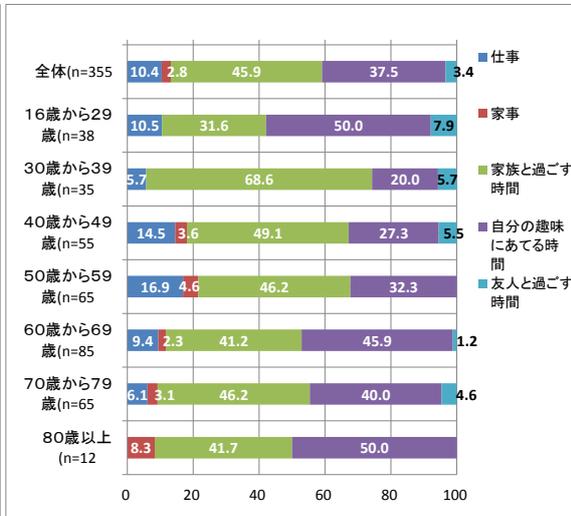
上段:度数 下段:%		36-(2) 生活の中で優先しているもの(希望)					
		合計	仕事	家事	家族と過ごす時間	自分の趣味にあてる時間	友人と過ごす時間
1性別	全体	875 100.0	65 7.4	43 4.9	415 47.4	292 33.4	60 6.9
	女性	513 100.0	28 5.5	33 6.4	248 48.3	156 30.4	48 9.4
	男性	355 100.0	37 10.4	10 2.8	163 45.9	133 37.5	12 3.4
	答えたくない&不明	7 100.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0



36-(2)生活の中で優先しているもの(希望) 女性



36-(2)生活の中で優先しているもの(希望) 男性

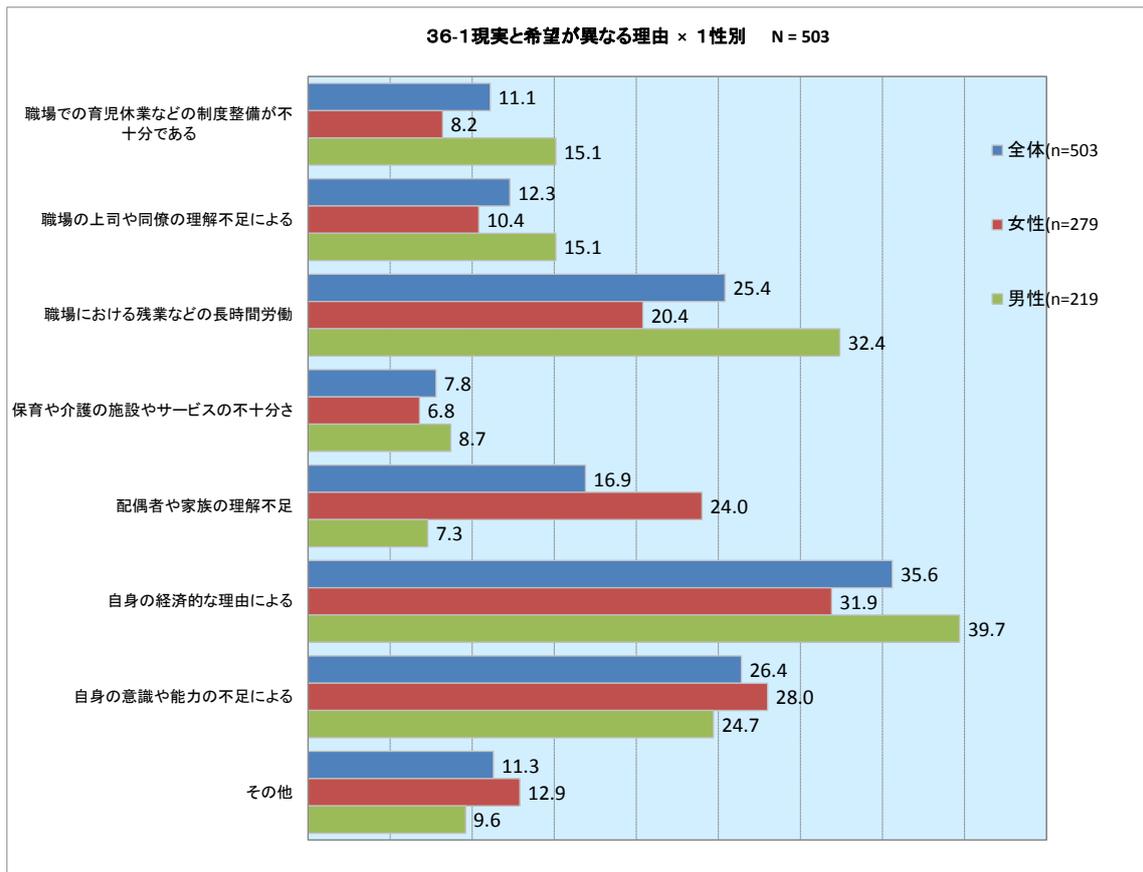


問36-1 「現実」と「希望」が異なっている理由はなぜだと思いますか？（〇は三つまで）

現実と希望が異なる理由については、「自身の経済的な理由による」が男女ともに最も多く、全体で35.6%となっている。性別差では、「配偶者や家族の理解不足」と「自身の意識や能力の不足による」が特に女性に多い一方で、「職場における残業などの長時間労働」と「職場の上司や同僚の理解不足による」が特に男性で多く見られる。ここでも、「男性は仕事、女性は家庭」という傾向が見られる。

36-1 現実と希望が異なる理由 × 1性別

上段:度数 下段:%		36-1 現実と希望が異なる理由								
		合計	職場での育児休業などの制度整備が不十分である	職場の上司や同僚の理解不足による	職場における残業などの長時間労働	保育や介護の施設やサービスの不十分さ	配偶者や家族の理解不足	自身の経済的な理由による	自身の意識や能力の不足による	その他
1性別	全体	503 —	56 11.1	62 12.3	128 25.4	39 7.8	85 16.9	179 35.6	133 26.4	57 11.3
	女性	279 —	23 8.2	29 10.4	57 20.4	19 6.8	67 24.0	89 31.9	78 28.0	36 12.9
	男性	219 —	33 15.1	33 15.1	71 32.4	19 8.7	16 7.3	87 39.7	54 24.7	21 9.6
	答えたくない&不明	5 —	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0

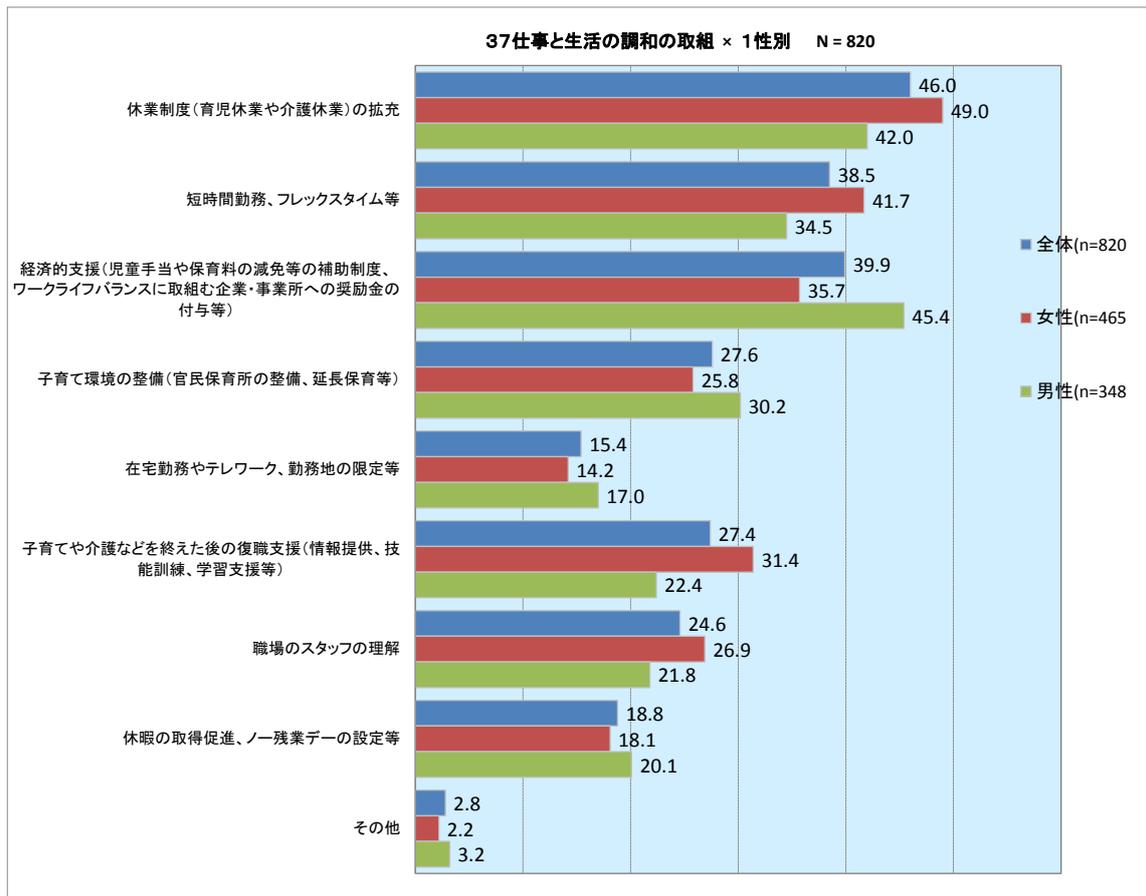


問37 ワーク・ライフ・バランスを推進するための企業や事業所の取り組みとして大切だと思うことは何ですか？
(〇は三つまで)

企業や事業所の取組として必要だと思われる項目としては、「休業制度(育児休業や介護休業)の拡充」が49.0%で最も多く、男女とも最も多い項目となっている。次に、「経済的支援(児童手当や保育料の減免等の補助制度、ワークライフバランスに取り組む企業・事業所への奨励金の付与等)」が39.9%で続いている。

37 仕事と生活の調和の取組 × 1性別

上段:度数 下段:%		37 仕事と生活の調和の取組									
		合計	休業制度 (育児休業 や介護休 業)の拡充	短時間勤 務、フレッ クスタイ ム等	経済的支援 (児童手当 や保育料の 減免等の補 助制度、 ワークライ フバラン スに取組 む企業・事 業所への 奨励金の 付与等)	子育て環 境の整備 (官民保育 所の整備、 延長保育 等)	在宅勤務 やテレワ ーク、勤 務地の限 定等	子育てや 介護など を終わった 後の復職 支援(情報 提供、技 能訓練、 学習支 援等)	職場のス タッフの理 解	休暇の取 得促進、 ノー残業 デーの設 定等	その他
1性別	全体	820	377	316	327	226	126	225	202	154	23
		—	46.0	38.5	39.9	27.6	15.4	27.4	24.6	18.8	2.8
	女性	465	228	194	166	120	66	146	125	84	10
		—	49.0	41.7	35.7	25.8	14.2	31.4	26.9	18.1	2.2
男性	348	146	120	158	105	59	78	76	70	11	
	—	42.0	34.5	45.4	30.2	17.0	22.4	21.8	20.1	3.2	
答えたくない &不明	7	3	2	3	1	1	1	1	1	0	2
	—	42.9	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	



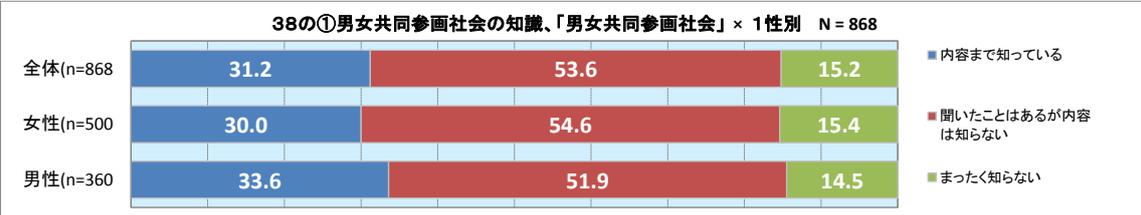
◆ 男女共同参画づくりについて

問38 次の男女共同参画社会に関する言葉を知っていますか？(回答は一つ)

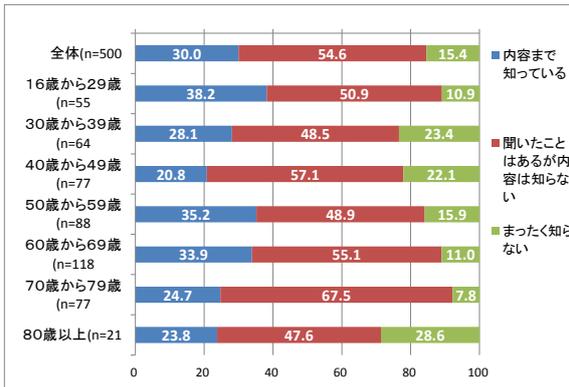
38の①男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会」× 1性別

上段:度数		38の①男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	868	271	465	132
		100.0	31.2	53.6	15.2
	女性	500	150	273	77
		100.0	30.0	54.6	15.4
	男性	360	121	187	52
		100.0	33.6	51.9	14.5
	答えたくない&不明	8	0	5	3
		100.0	0.0	62.5	37.5

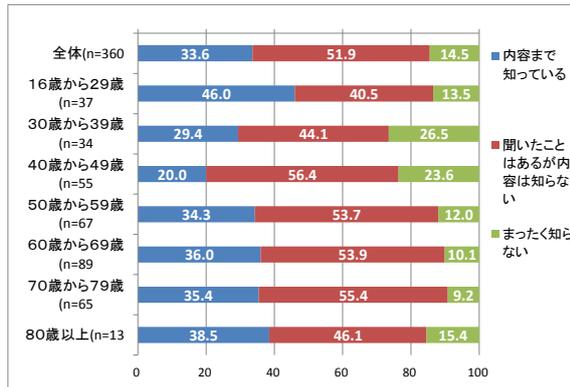
「男女共同参画社会」については、3分の1程度は「内容まで知っている」と答えている。



男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会」について 女性



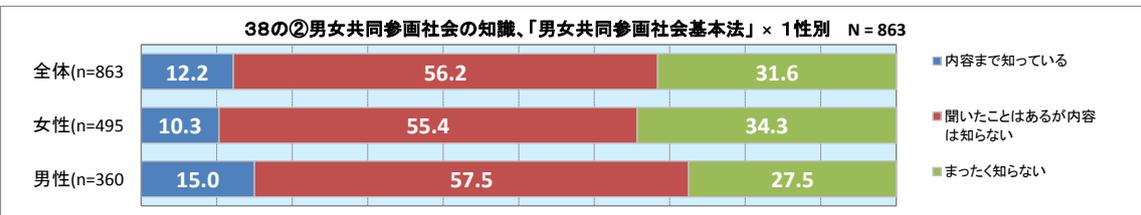
男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会」について 男性



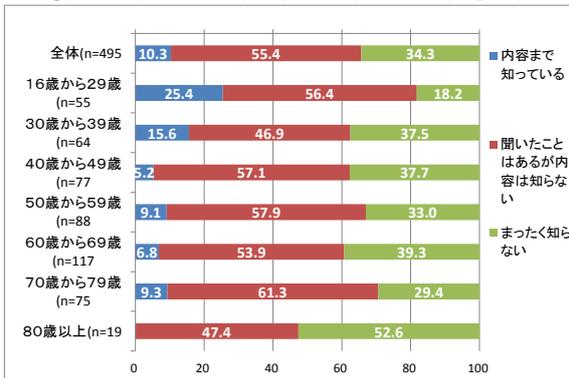
38の②男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会基本法」× 1性別

上段:度数		38の②男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会基本法」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	863	105	485	273
		100.0	12.2	56.2	31.6
	女性	495	51	274	170
		100.0	10.3	55.4	34.3
	男性	360	54	207	99
		100.0	15.0	57.5	27.5
	答えたくない&不明	8	0	4	4
		100.0	0.0	50.0	50.0

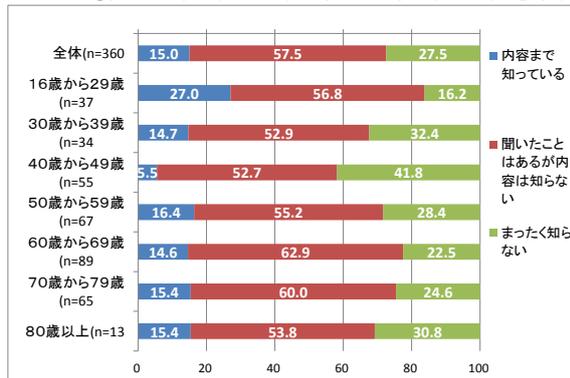
「男女共同参画社会基本法」については、「内容まで知っている」は全体で12.2%で、3分の1程度が「まったく知らない」と答えている。



38の②男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会基本法」女性



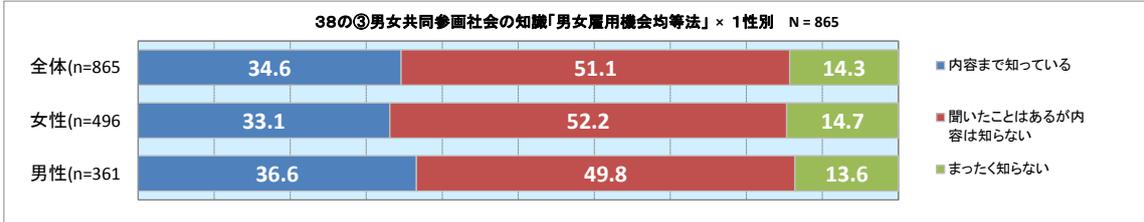
38の②男女共同参画社会の知識、「男女共同参画社会基本法」男性



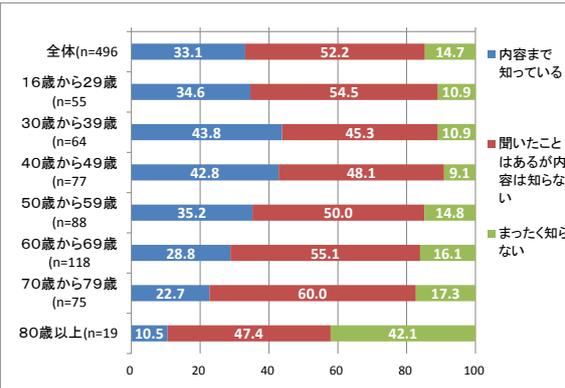
38の③男女共同参画社会の知識「男女雇用機会均等法」×1性別×2年齢

上段:度数		38の③男女共同参画社会の知識「男女雇用機会均等法」			
		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	865	299	442	124
		100.0	34.6	51.1	14.3
	女性	496	164	259	73
		100.0	33.1	52.2	14.7
	男性	361	132	180	49
		100.0	36.6	49.8	13.6
	答えたくない&不明	8	3	3	2
		100.0	37.5	37.5	25.0

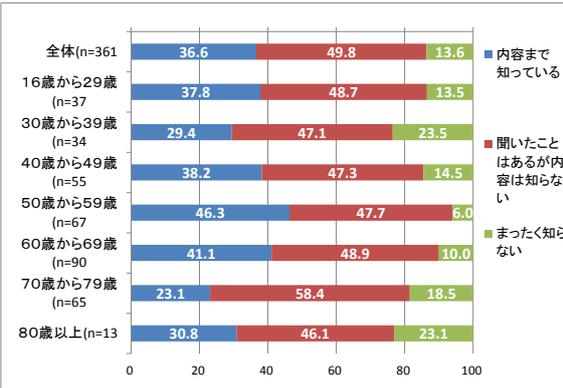
「男女雇用機会均等法」については、「内容まで知っている」は全体で34.6%で、「男女共同参画基本法」よりは認知度が高い。



38の③男女共同参画社会の知識「男女雇用機会均等法」女性



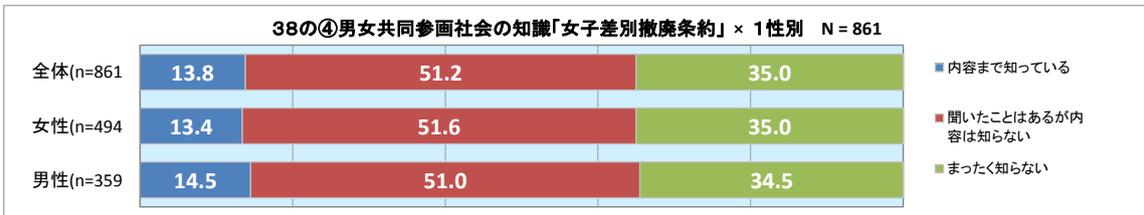
38の③男女共同参画社会の知識「男女雇用機会均等法」男性



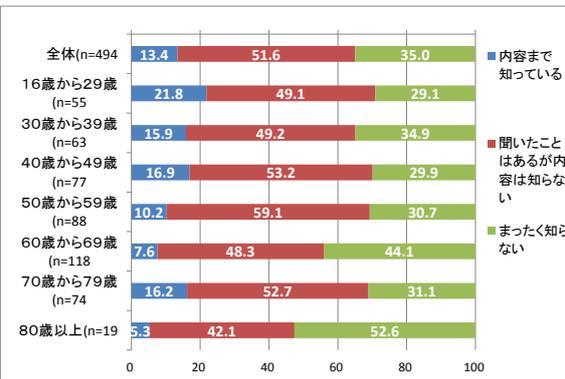
38の④男女共同参画社会の知識「女子差別撤廃条約」×1性別

上段:度数		38の④男女共同参画社会の知識「女子差別撤廃条約」			
		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	861	119	441	301
		100.0	13.8	51.2	35.0
	女性	494	66	255	173
		100.0	13.4	51.6	35.0
	男性	359	52	183	124
		100.0	14.5	51.0	34.5
	答えたくない&不明	8	1	3	4
		100.0	12.5	37.5	50.0

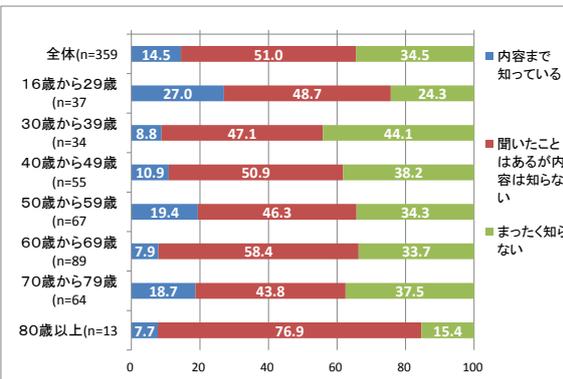
「女子差別撤廃条約」については、4割弱が「まったく知らない」と答えられており、認知度はあまり高くない。



38の④男女共同参画社会の知識「女子差別撤廃条約」女性



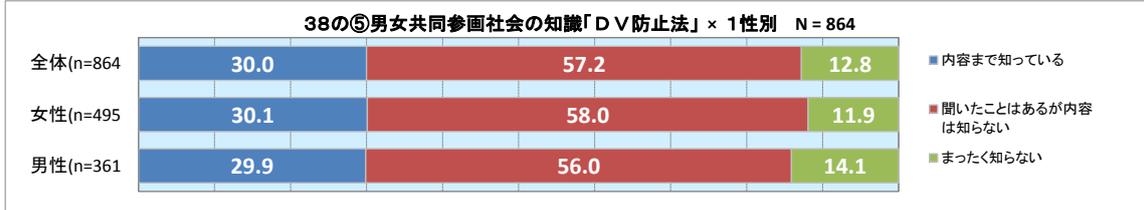
38の④男女共同参画社会の知識「女子差別撤廃条約」男性



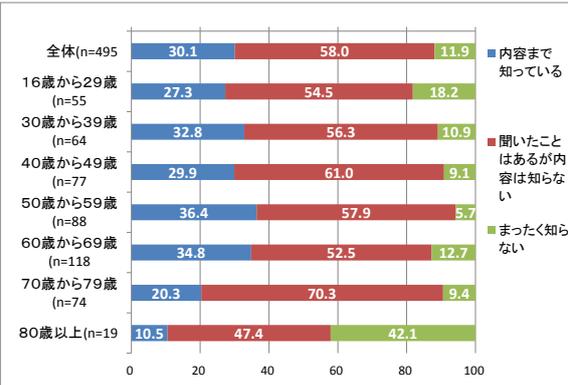
38の⑤男女共同参画社会の知識「DV防止法」× 1性別

上段:度数		38の⑤男女共同参画社会の知識「DV防止法」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	864	259	494	111
		100.0	30.0	57.2	12.8
	女性	495	149	287	59
		100.0	30.1	58.0	11.9
	男性	361	108	202	51
		100.0	29.9	56.0	14.1
	答えたくない&不明	8	2	5	1
		100.0	25.0	62.5	12.5

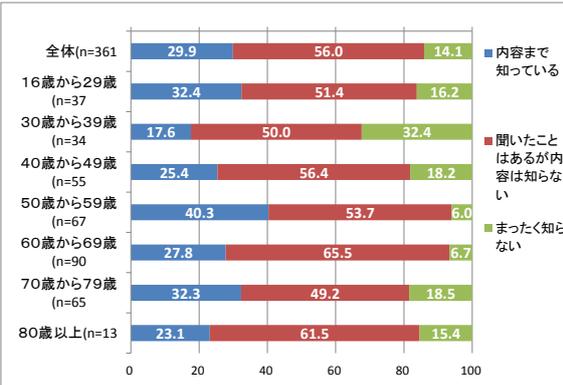
「DV防止法」については、「内容まで知っている」が全体で30%で「聞いたことはあるが内容は知らない」は半数を超えている。「男女雇用機会均等法」と同程度の認知度がある。



38の⑤男女共同参画社会の知識「DV防止法」 女性



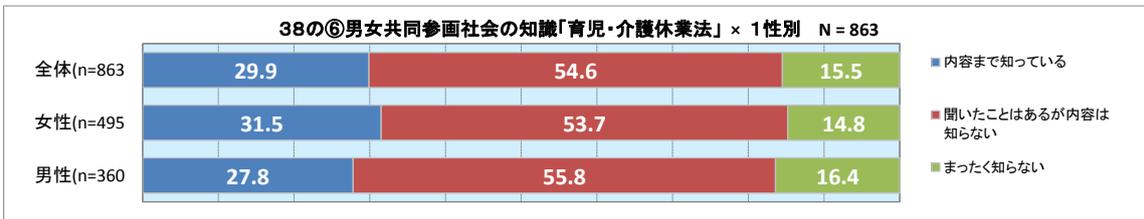
38の⑤男女共同参画社会の知識「DV防止法」× 男性



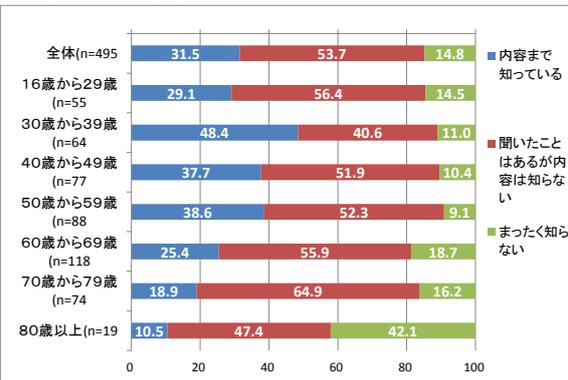
38の⑥男女共同参画社会の知識「育児・介護休業法」× 1性別

上段:度数		38の⑥男女共同参画社会の知識「育児・介護休業法」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	863	258	471	134
		100.0	29.9	54.6	15.5
	女性	495	156	266	73
		100.0	31.5	53.7	14.8
	男性	360	100	201	59
		100.0	27.8	55.8	16.4
	答えたくない&不明	8	2	4	2
		100.0	25.0	50.0	25.0

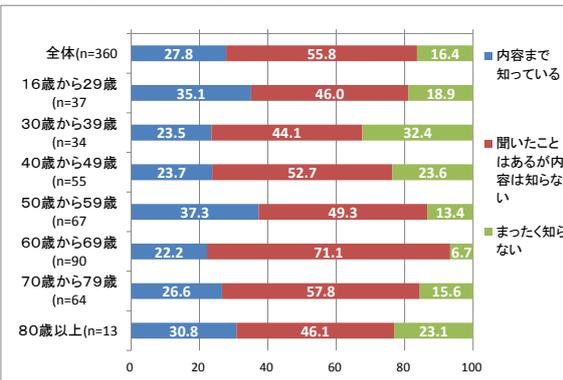
「育児・介護休業法」についても、「内容まで知っている」が全体で29.9%で「聞いたことはあるが内容は知らない」は半数を超えている。「男女雇用機会均等法」や「DV防止法」と同程度の認知度がある。



38の⑥男女共同参画社会の知識「育児・介護休業法」× 女性



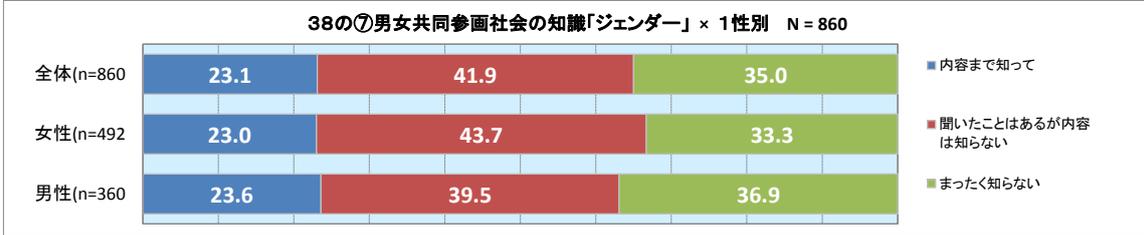
38の⑥男女共同参画社会の知識「育児・介護休業法」× 男性



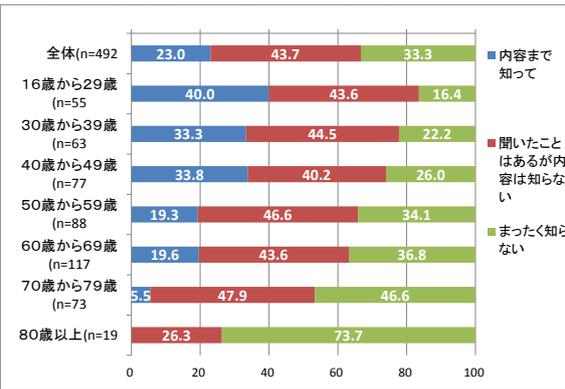
38の㉞男女共同参画社会の知識「ジェンダー」× 1性別

上段:度数		38の㉞男女共同参画社会の知識「ジェンダー」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	860	199	360	301
		100.0	23.1	41.9	35.0
	女性	492	113	215	164
		100.0	23.0	43.7	33.3
	男性	360	85	142	133
	100.0	23.6	39.5	36.9	
	答えたくない&不明	8	1	3	4
		100.0	12.5	37.5	50.0

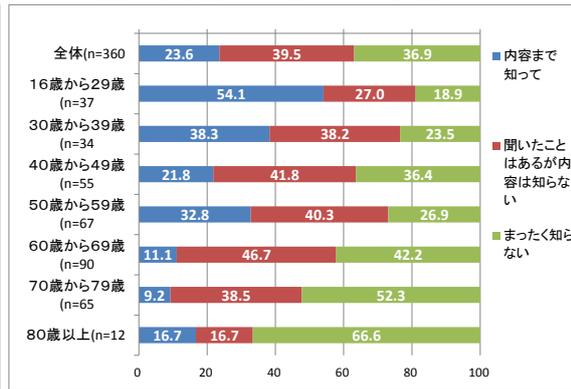
「ジェンダー」については、「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多く、41.9%となっている。



38の㉞男女共同参画社会の知識「ジェンダー」 女性



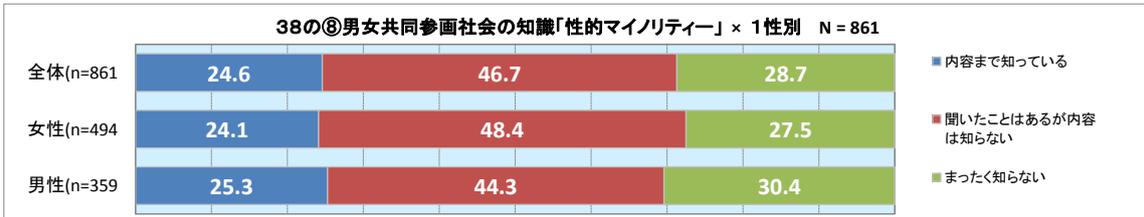
38の㉞男女共同参画社会の知識「ジェンダー」 男性



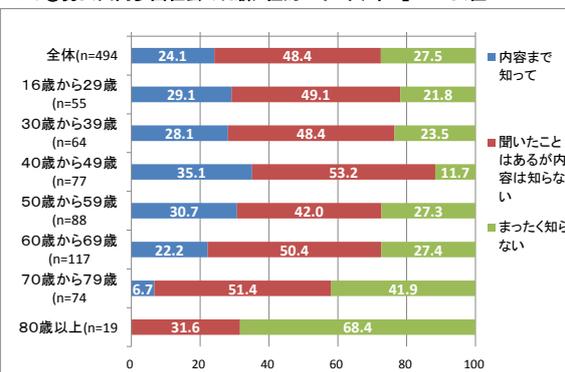
38の㉟男女共同参画社会の知識「性的マイノリティー」× 1性別

上段:度数		38の㉟男女共同参画社会の知識「性的マイノリティー」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	861	212	402	247
		100.0	24.6	46.7	28.7
	女性	494	119	239	136
		100.0	24.1	48.4	27.5
	男性	359	91	159	109
	100.0	25.3	44.3	30.4	
	答えたくない&不明	8	2	4	2
		100.0	25.0	50.0	25.0

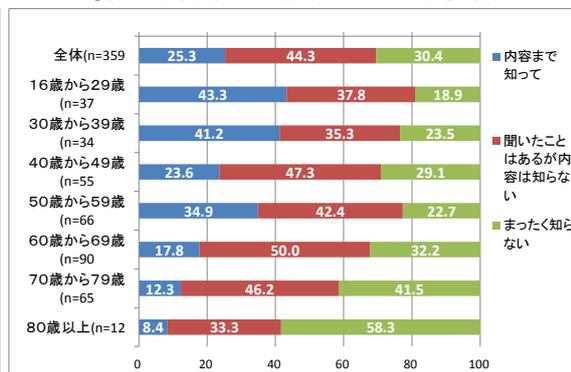
「性的マイノリティー」については、「聞いたことはあるが内容は知らない」が全体で46.7%となっている。



38の㉟男女共同参画社会の知識「性的マイノリティー」 女性



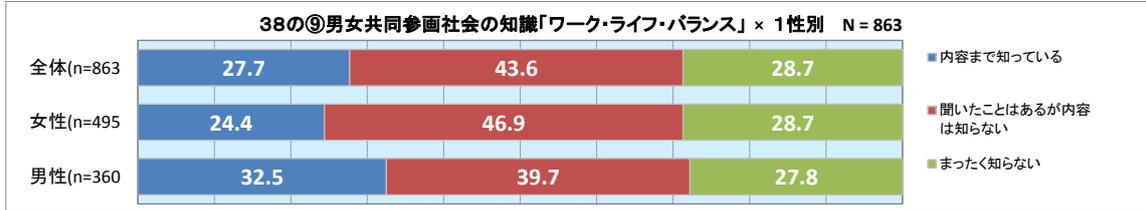
38の㉟男女共同参画社会の知識「性的マイノリティー」 男性



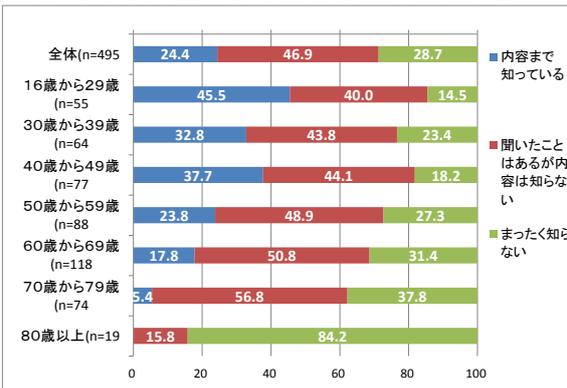
38の㊸男女共同参画社会の知識「ワーク・ライフ・バランス」× 1性別

上段:度数		38の㊸男女共同参画社会の知識「ワーク・ライフ・バランス」			
		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	863	239	376	248
		100.0	27.7	43.6	28.7
	女性	495	121	232	142
		100.0	24.4	46.9	28.7
	男性	360	117	143	100
		100.0	32.5	39.7	27.8
	答えたくない&不明	8	1	1	6
		100.0	12.5	12.5	75.0

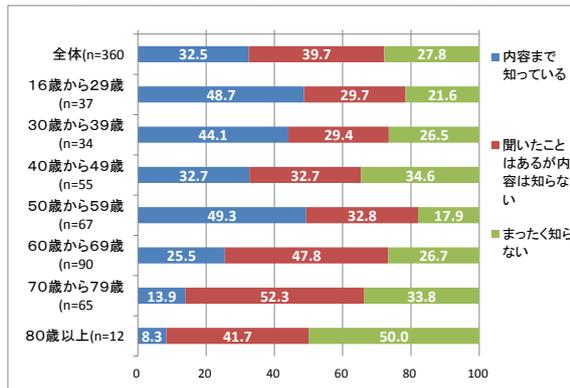
「ワーク・ライフ・バランス」については、「聞いたことはあるが内容は知らない」が多く、43.6%となっている。



38の㊸男女共同参画社会の知識「ワーク・ライフ・バランス」 女性



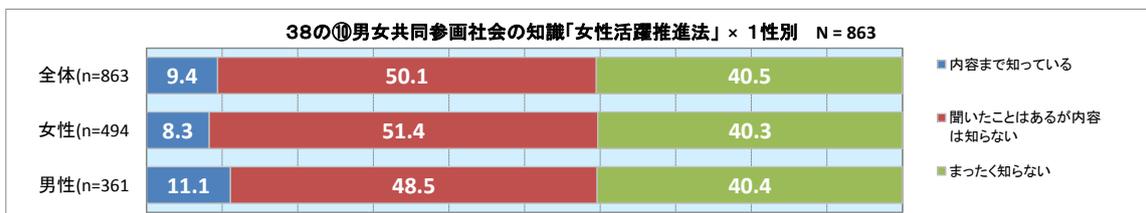
38の㊸男女共同参画社会の知識「ワーク・ライフ・バランス」 男性



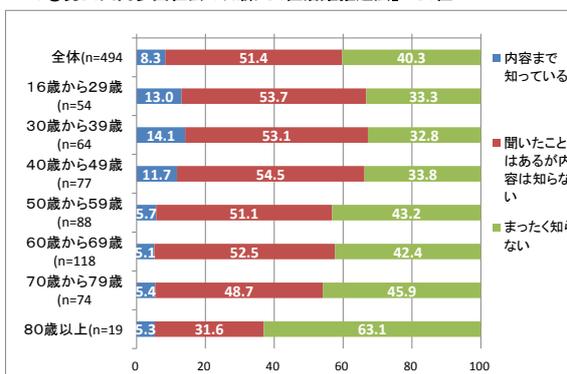
38の㊹男女共同参画社会の知識「女性活躍推進法」× 1性別

上段:度数		38の㊹男女共同参画社会の知識「女性活躍推進法」			
		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	863	81	432	350
		100.0	9.4	50.1	40.5
	女性	494	41	254	199
		100.0	8.3	51.4	40.3
	男性	361	40	175	146
		100.0	11.1	48.5	40.4
	答えたくない&不明	8	0	3	5
		100.0	0.0	37.5	62.5

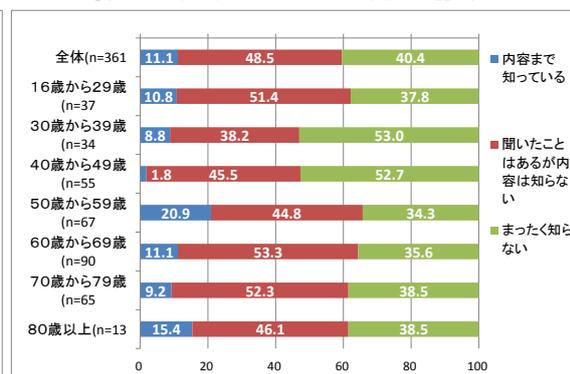
「女性活躍推進法」については、「聞いたことはあるが内容は知らない」が多く、半数を超えている。



38の㊹男女共同参画社会の知識「女性活躍推進法」 女性



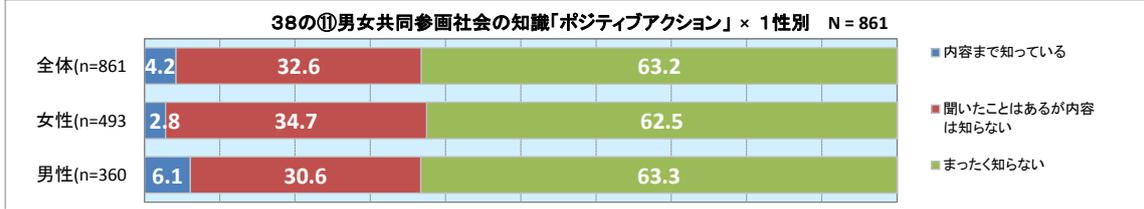
38の㊹男女共同参画社会の知識「女性活躍推進法」 男性



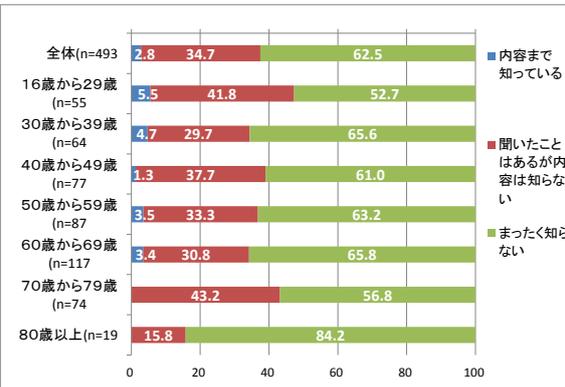
38の①男女共同参画社会の知識「ポジティブアクション」× 1性別

上段:度数		38の①男女共同参画社会の知識「ポジティブアクション」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	861	36	281	544
		100.0	4.2	32.6	63.2
	女性	493	14	171	308
		100.0	2.8	34.7	62.5
	男性	360	22	110	228
		100.0	6.1	30.6	63.3
	答えたくない&不明	8	0	0	8
		100.0	0.0	0.0	100.0

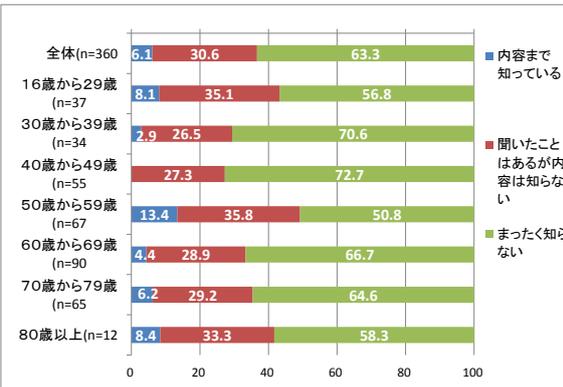
「ポジティブアクション」については、「まったく知らない」が最も多く63.2%と認知度が低い。



38の①男女共同参画社会の知識「ポジティブアクション」 女性



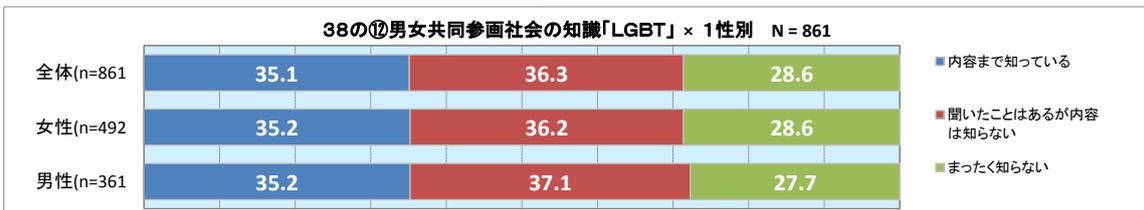
38の①男女共同参画社会の知識「ポジティブアクション」 男性



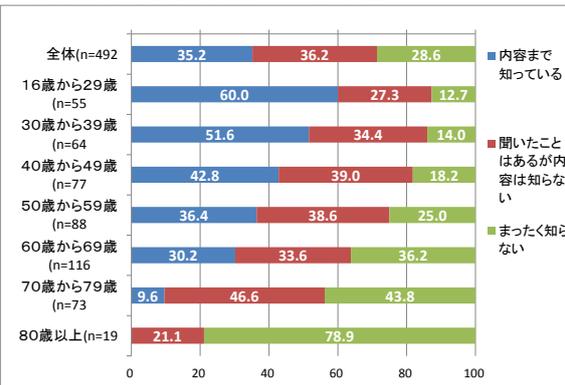
38の②男女共同参画社会の知識「LGBT」× 1性別

上段:度数		38の②男女共同参画社会の知識「LGBT」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	861	302	313	246
		100.0	35.1	36.3	28.6
	女性	492	173	178	141
		100.0	35.2	36.2	28.6
	男性	361	127	134	100
		100.0	35.2	37.1	27.7
	答えたくない&不明	8	2	1	5
		100.0	25.0	12.5	62.5

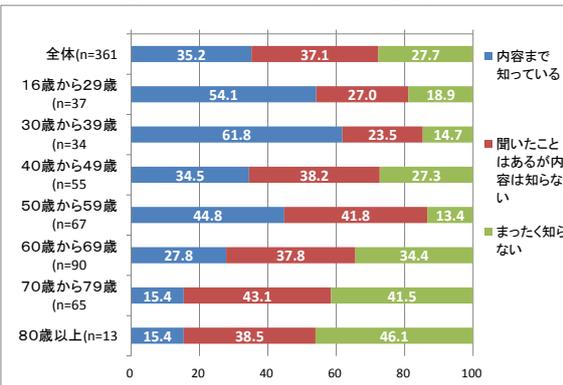
「LGBT」については、「聞いたことはあるが内容は知らない」が36.3%、「内容まで知っている」が35.1%となっている。



38の②男女共同参画社会の知識「LGBT」 女性



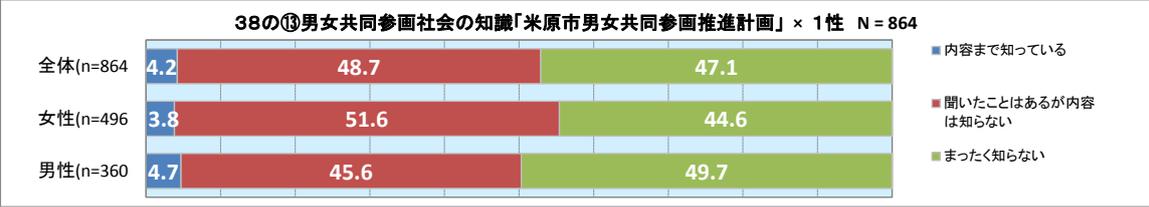
38の②男女共同参画社会の知識「LGBT」 男性



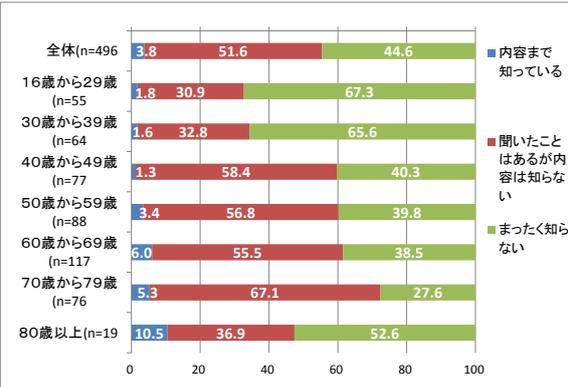
38の⑬男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画推進計画」× 1性別

上段:度数		38の⑬男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画推進計画」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	864	36	421	407
		100.0	4.2	48.7	47.1
	女性	496	19	256	221
		100.0	3.8	51.6	44.6
	男性	360	17	164	179
		100.0	4.7	45.6	49.7
	答えたくない&不明	8	0	1	7
		100.0	0.0	12.5	87.5

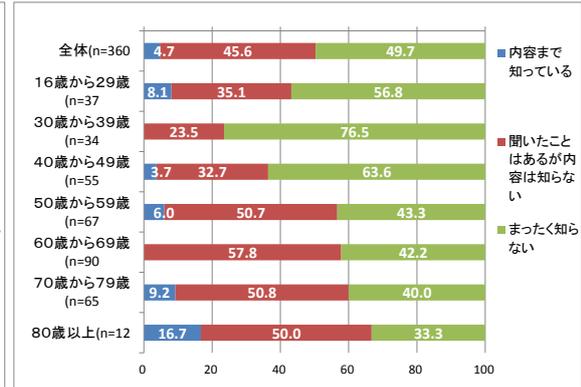
「米原市男女共同参画推進計画」については、「まったく知らない」が全体で47.1%で、認知度は低い。



38の⑬男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画推進計画」女性



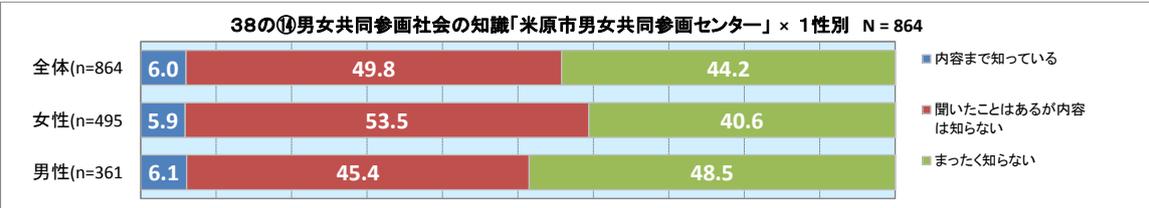
38の⑬男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画推進計画」男性



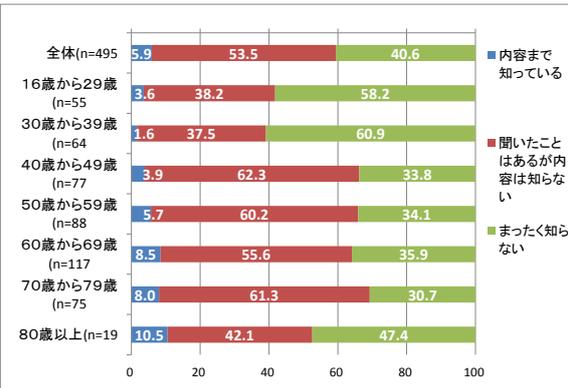
38の⑭男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画センター」× 1性別

上段:度数		38の⑭男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画センター」			
下段:%		合計	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない
1性別	全体	864	52	430	382
		100.0	6.0	49.8	44.2
	女性	495	29	265	201
		100.0	5.9	53.5	40.6
	男性	361	22	164	175
		100.0	6.1	45.4	48.5
	答えたくない&不明	8	1	1	6
		100.0	12.5	12.5	75.0

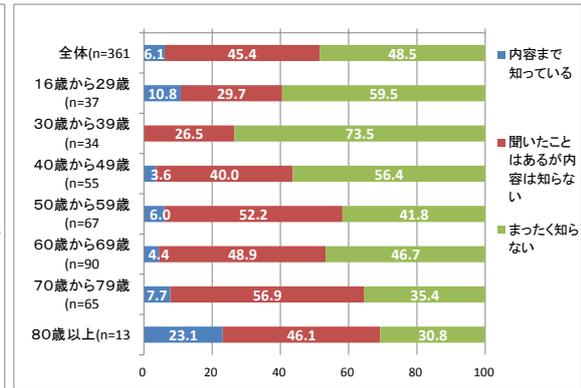
「米原市男女共同参画センター」については、「まったく知らない」が全体で44.2%で、認知度は低い。



38の⑭男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画センター」女性



38の⑭男女共同参画社会の知識「米原市男女共同参画センター」男性



問39 男女共同参画社会の実現に向けて、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか？
(○は三つまで)

全体では「男女とも育児にかかりやすい職場の体制づくりを進める」が40.4%で最も多い。次に「安心して働くための保育サービス、学童保育所を充実する」、「男女共同参画意識を育てるための学校教育を充実する」、「職場における男女の格差をなくすよう、企業に働きかける」の各項目が全体で30%を超えている。

39 男女共同参画社会の実現に向けて × 1性別

上段:度数		39 男女共同参画社会の実現に向けて							
下段:%	合計	男女共同参画意識を育てるための学校教育を充実する	生涯学習の場で男女平等と相互理解について、学習や情報提供を充実する	職場における男女の格差をなくすよう、企業に働きかける	男女とも育児にかかりやすい職場の体制づくりを進める	民間企業等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	安心して働くための保育サービス、学童保育所を充実する	高齢者や病人に対する介護サービスを充実する	
	—	32.7	17.0	30.0	40.4	7.0	34.3	28.5	
女性	462	133	66	139	206	31	149	137	
	—	28.8	14.3	30.1	44.6	6.7	32.3	29.7	
男性	341	129	71	101	120	26	126	92	
	—	37.8	20.8	29.6	35.2	7.6	37.0	27.0	
答えたくない&不明	7	3	1	3	1	0	3	2	
	—	42.9	14.3	42.9	14.3	0.0	42.9	28.6	

上段:度数		39 男女共同参画社会の実現に向けて								
下段:%	合計	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	市政の方針決定の場である審議会等の委員へ女性を積極的に登用する	広報紙やパンフレットなどで、男女共同参画社会への理解を得る啓発をする	就労や女性の自立のための相談業務を充実する	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	各種活動のリーダーとなる女性を養成する	その他	
	—	29.8	24.8	5.1	5.3	3.7	6.3	4.2	2.0	
女性	462	155	123	21	19	19	32	16	7	
	—	33.5	26.6	4.5	4.1	4.1	6.9	3.5	1.5	
男性	341	85	76	20	24	10	19	18	8	
	—	24.9	22.3	5.9	7.0	2.9	5.6	5.3	2.3	
答えたくない&不明	7	1	2	0	0	1	0	0	1	
	—	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	

